

**2009年度
大谷大学
在学生満足度アンケート調査**

－ 調査結果報告 －

2010年9月

目次

調査概要	2				
【文学部編】		【短期大学部編】		【大学院編】	
回答者の属性	4	回答者の属性	43	回答者の属性	78
1. 大谷大学への進学について		1. 大谷大学短期大学部への進学について		1. 大谷大学大学院への進学について	
1-1.大学進学理由	8	1-1.大学進学理由	47	1.大谷大学大学院への進学理由	81
1-2.大谷大学への志願理由	9	1-2.大谷大学短期大学部への志願理由	48	2. 建学の理念に対する意識と大学院での取り組み	
2. 建学の理念に対する意識と大学での取り組み		2. 建学の理念に対する意識と大学での取り組み		2-1.建学の理念認知度	
2-1.建学の理念認知度	12	2-1.建学の理念認知度		/2-2.建学の理念を感じる時	83
2-2.建学の理念を感じる時	13	/2-2.建学の理念を感じる時	51	2-3.大学院で取り組んでいること	84
2-3.入学後の自己認識・評価	14	2-3.入学後の自己認識・評価	52	2-4.専門研究の進行状況	85
2-4.身についた能力や知識・技能	15	2-4.身についた能力や知識・技能	53	2-5.入学後の自己認識・評価	86
3. 大谷大学での学業について		3. 大谷大学での学業について		3. 各カテゴリーに対する評価	
3-1.授業出席率と授業理解度	17	3-1.授業出席率と授業理解度	55	3-1.授業の評価	88
3-2.授業を欠席する理由	19	3-2.授業を欠席する理由	57	3-2.学びの環境の評価	89
3-3.授業が理解できない理由	21	3-3.授業が理解できない理由	58	3-3.教員の評価	90
4. 各カテゴリーに対する評価		4. 各カテゴリーに対する評価		3-4.進路・就職サポート体制の評価	91
4-1.授業の評価	24	4-1.授業の評価	60	3-5.福利厚生施設・設備などの評価	92
4-2.学びの環境の評価	25	4-2.学びの環境の評価	61	3-6.教育施設・設備などの評価	94
4-3.教員の評価	26	4-3.教員の評価	62	3-7.教育・学生生活のサポート体制の評価	98
4-4.進路・就職サポート体制の評価	27	4-4.進路・就職サポート体制の評価	63	3-8.その他の評価	99
4-5.福利厚生施設・設備などの評価	29	4-5.福利厚生施設・設備などの評価	64	4. 大谷大学大学院に対する満足度	
4-6.教育施設・設備などの評価	31	4-6.教育施設・設備などの評価	66	4-1.各カテゴリーの満足度	101
4-7.教育・学生生活のサポート体制の評価	35	4-7.教育・学生生活のサポート体制の評価	70	4-2.現在の満足度	102
4-8.その他の評価	36	4-8.その他の評価	71		
5. 大谷大学に対する満足度		5. 大谷大学に対する満足度		付 調査票 (文学部・短期大学部)	103
5-1.各カテゴリーの満足度	38	5-1.各カテゴリーの満足度	73	付 調査票 (大学院)	111
5-2.現在の満足度	39	5-2.現在の満足度	75		
5-3.各カテゴリーの満足度と現在の満足度(学科別)	40	5-3.入学時の満足度と現在の満足度の比較	76		
5-4.入学時の満足度と現在の満足度の比較	41				

1 調査目的

全学的・組織的な自己点検・評価活動の一環として、大学(文学部・短期大学部)および大学院の教育内容や学生生活に対する在学生の満足度を把握し、課題を明らかにするとともに、改善に向けた施策検討のための基礎資料とする。

2 調査対象

- 大谷大学 文学部在学生 全員
- 大谷大学 短期大学部在学生 全員
- 大谷大学大学院 在学生 全員

3 調査方法

- 文学部、短期大学部 学内配布・回収 (授業中に実施し(30分程度)、その場で回収。)
- 大学院 学内配布・回収 (アンケートを配布し、記入後、後日回収ボックスにて回収。)

4 調査実施時期

- 文学部、短期大学部 2009年11月1日～11月20日
- 大学院 2009年11月1日から学生へ配布。回収しめきりは11月20日。

5 依頼数、回収数、回収率、有効サンプル数

調査対象	依頼数(在 student 数)	回収数	回収率	有効サンプル数
大学 全体	3,675	2,501	68.1%	2,501
文学部	3,414	2,292	67.1%	2,292
短期大学部	261	209	80.1%	209
大学院 全体	140	65	46.4%	65
修士課程	95	49	51.6%	49
博士後期課程	45	16	35.6%	16

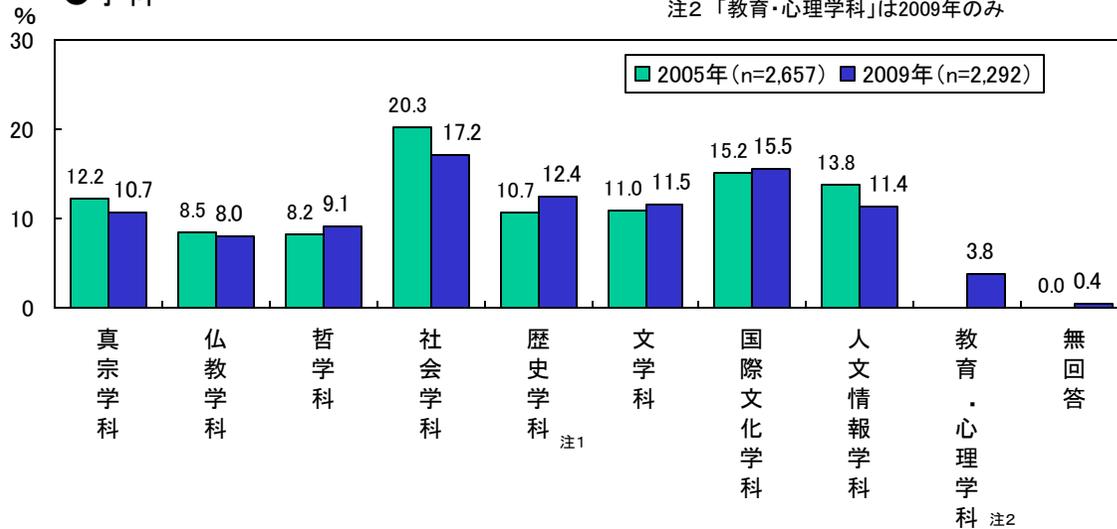
参考) 2005年度

調査対象	依頼数(在 student 数)	回収数	回収率	有効サンプル数
大学 全体	4,084	3,085	75.5%	3,085
文学部	3,603	2,657	73.7%	2,657
短期大学部	481	409	85.0%	409
大学院 全体	160	39	24.4%	39
修士課程	102	22	21.6%	22
博士後期課程	58	17	29.3%	17

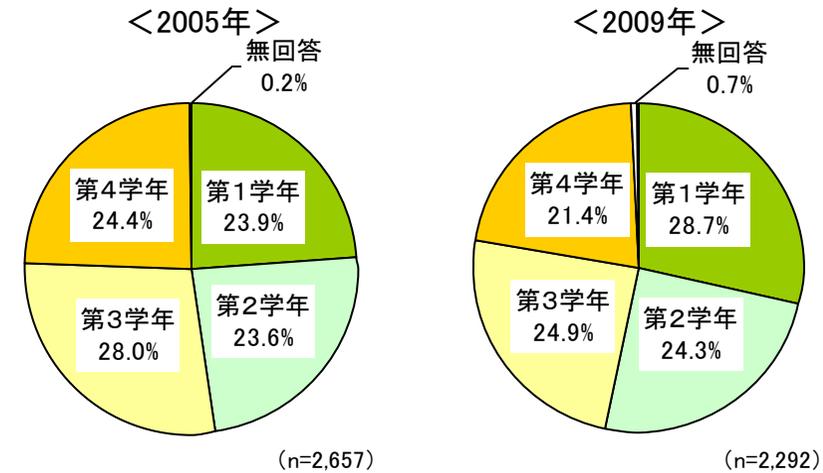
【 文 学 部 編 】

● 学科

注1 2005年は「史学科」
注2 「教育・心理学科」は2009年のみ

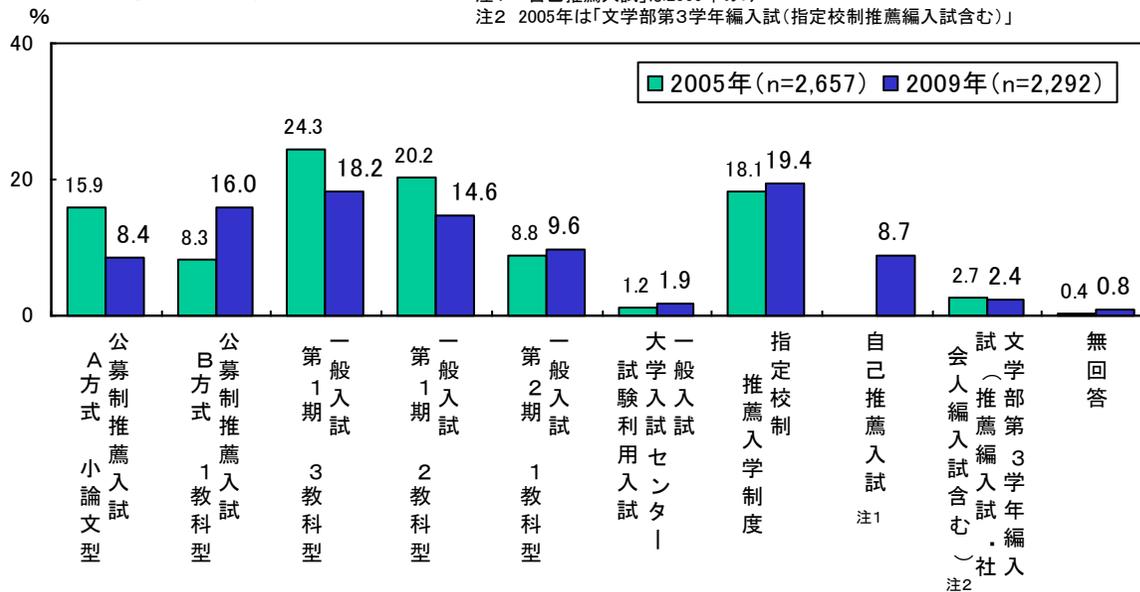


● 学年

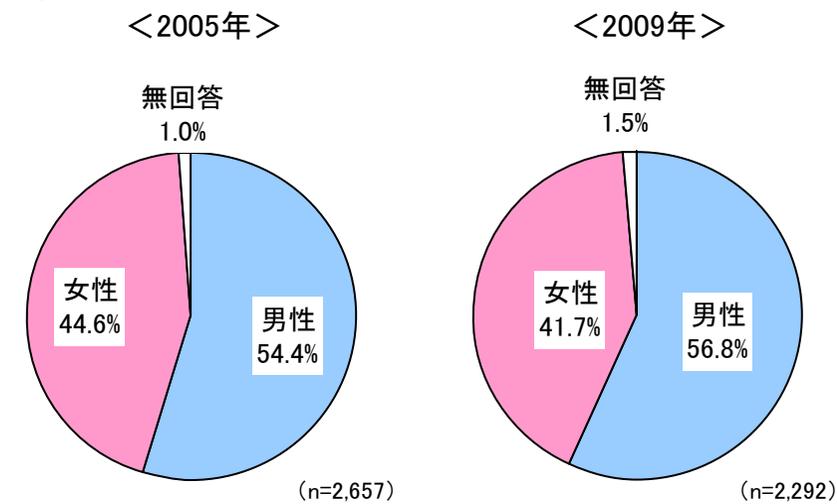


● 入学した入試方式

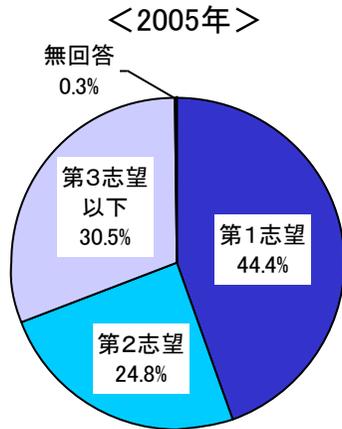
注1 「自己推薦入試」は2009年のみ
注2 2005年は「文学部第3学年編入試(指定校制推薦編入試合む)」



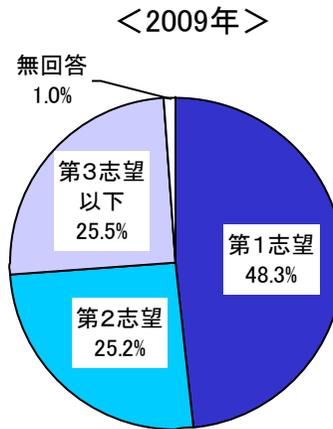
● 性別



● 受験時の志望順位



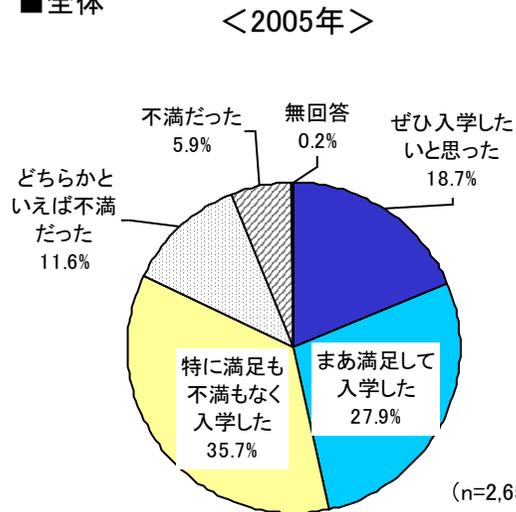
(n=2,657)



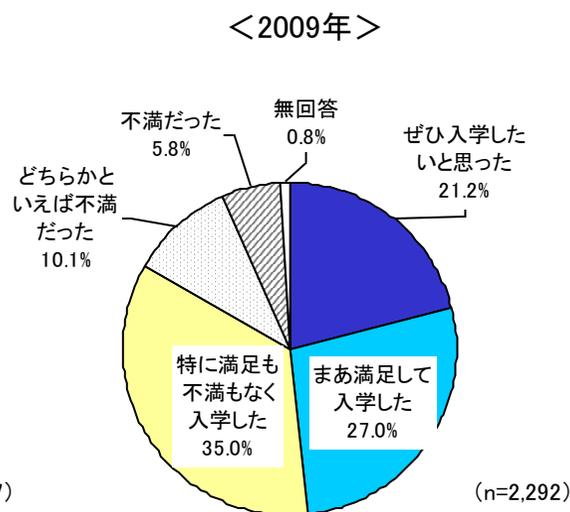
(n=2,292)

● 入学した時の気持ち

■ 全体



(n=2,657)



(n=2,292)

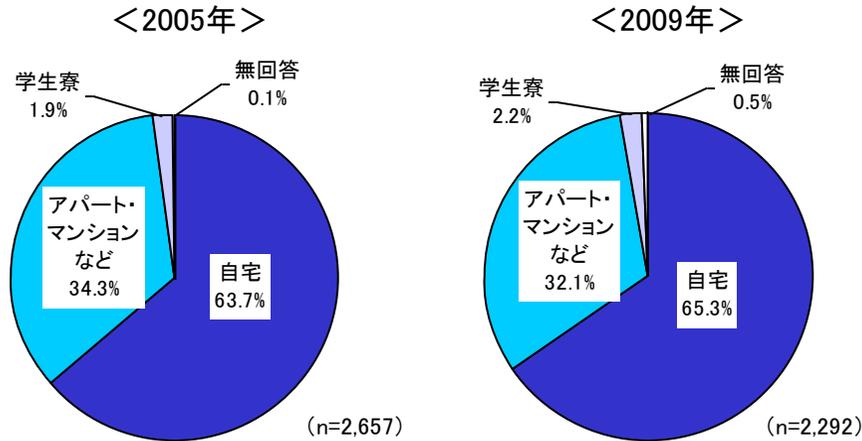
■ 学科別

		09年: %		
		回答者数		入学時の満足度
年度		05年	09年	09年 05年との差
全体		2,657	2,292	48.3 +1.7
学科別	真宗学科	325	245	48.6 -3.7
	仏教学科	227	183	46.4 -9.5
	哲学科	219	209	54.1 +9.4
	社会学科	539	395	43.0 -1.2
	歴史学科	284	284	57.0 +7.7
	文学科	293	264	48.9 -0.2
	国際文化学科	403	355	41.4 +2.4
	人文情報学科	367	261	49.4 +4.7
	教育・心理学科	—	86	60.5 —

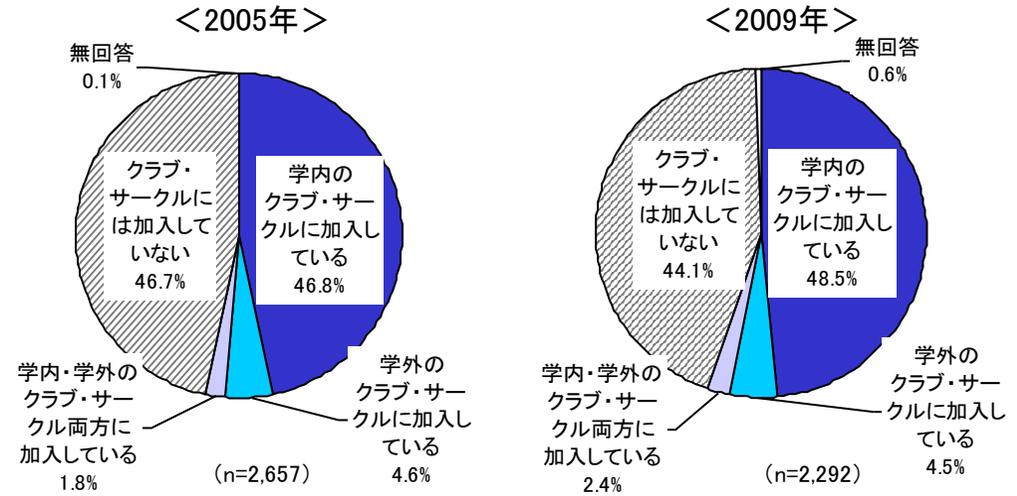
■ 全体より5ポイント以上高い
 ■ 全体より5ポイント以上低い

注) 入学時の満足度 = 「ぜひ入学したいと思った」 + 「まあ満足して入学した」の合計値。

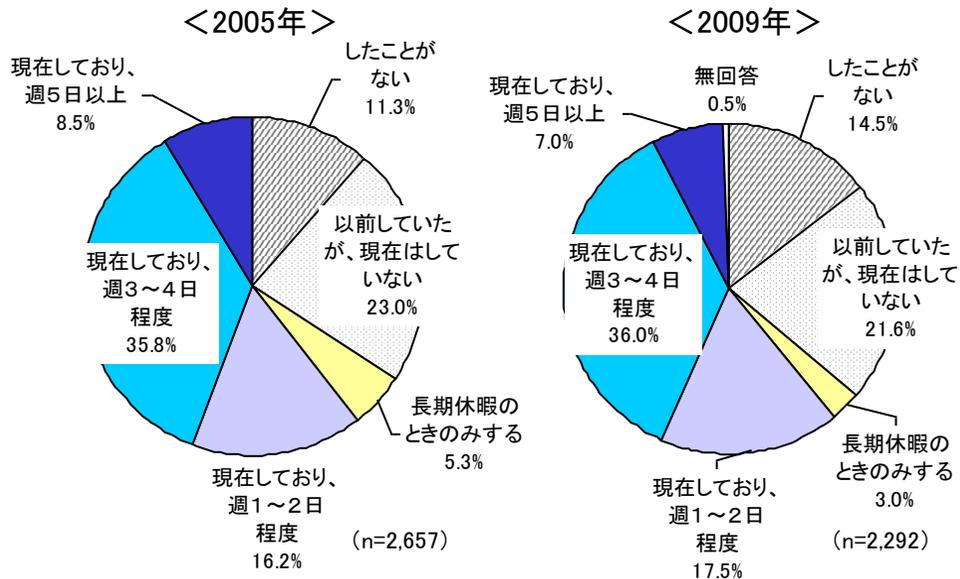
● 居住形態



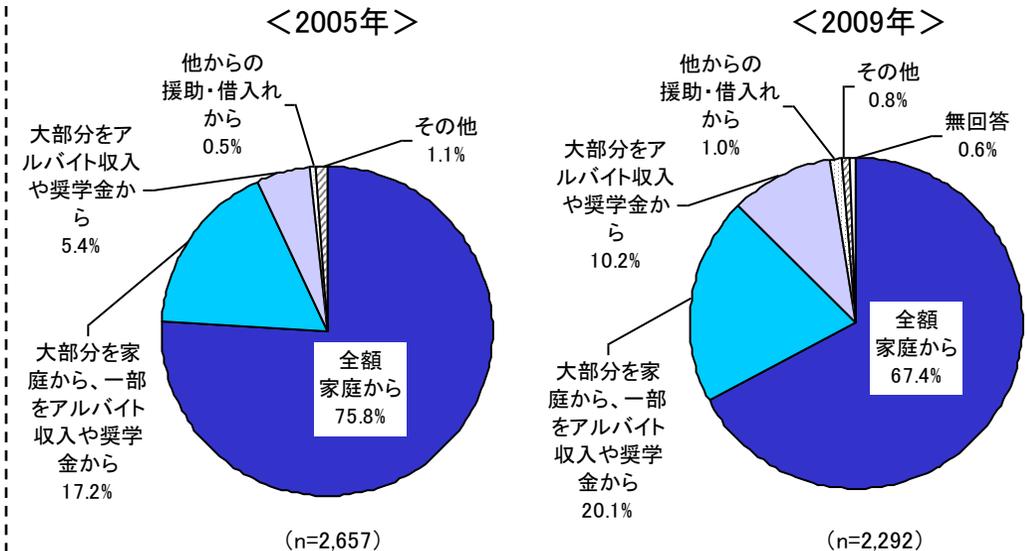
● クラブ・サークル活動参加



● アルバイト経験



● 学費の負担者



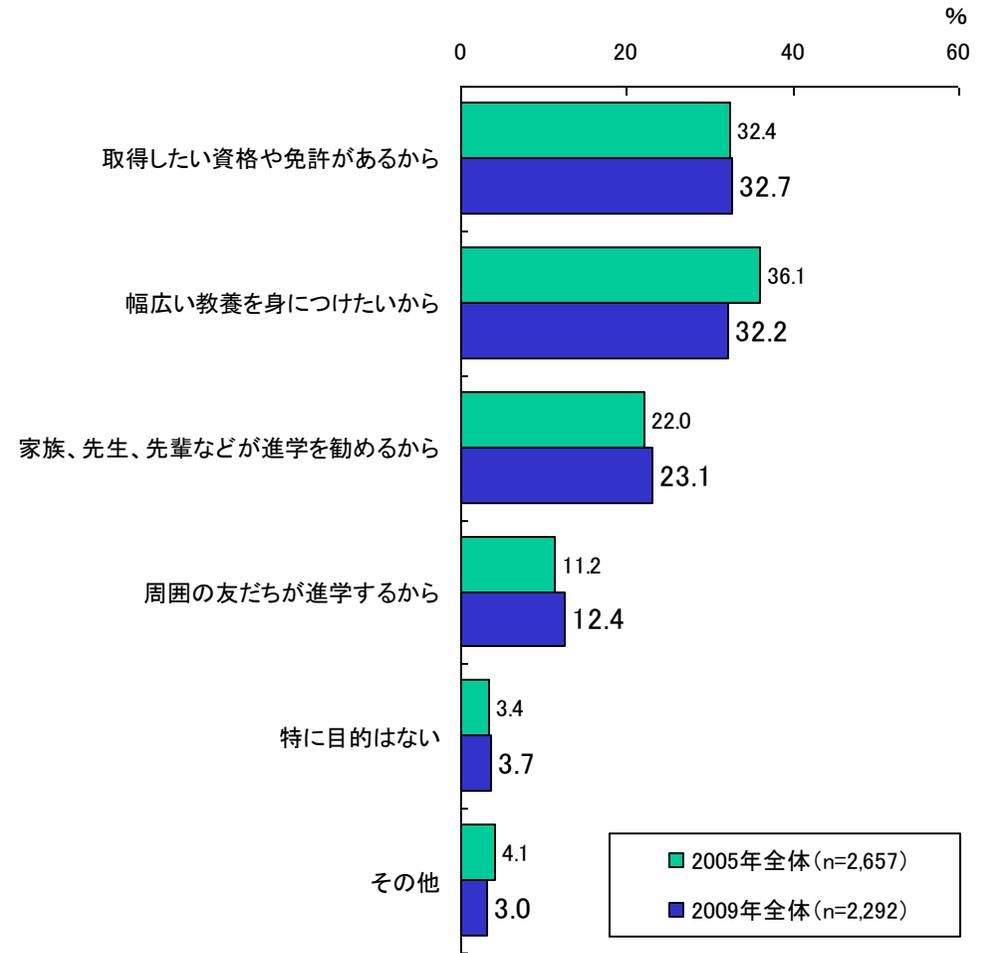
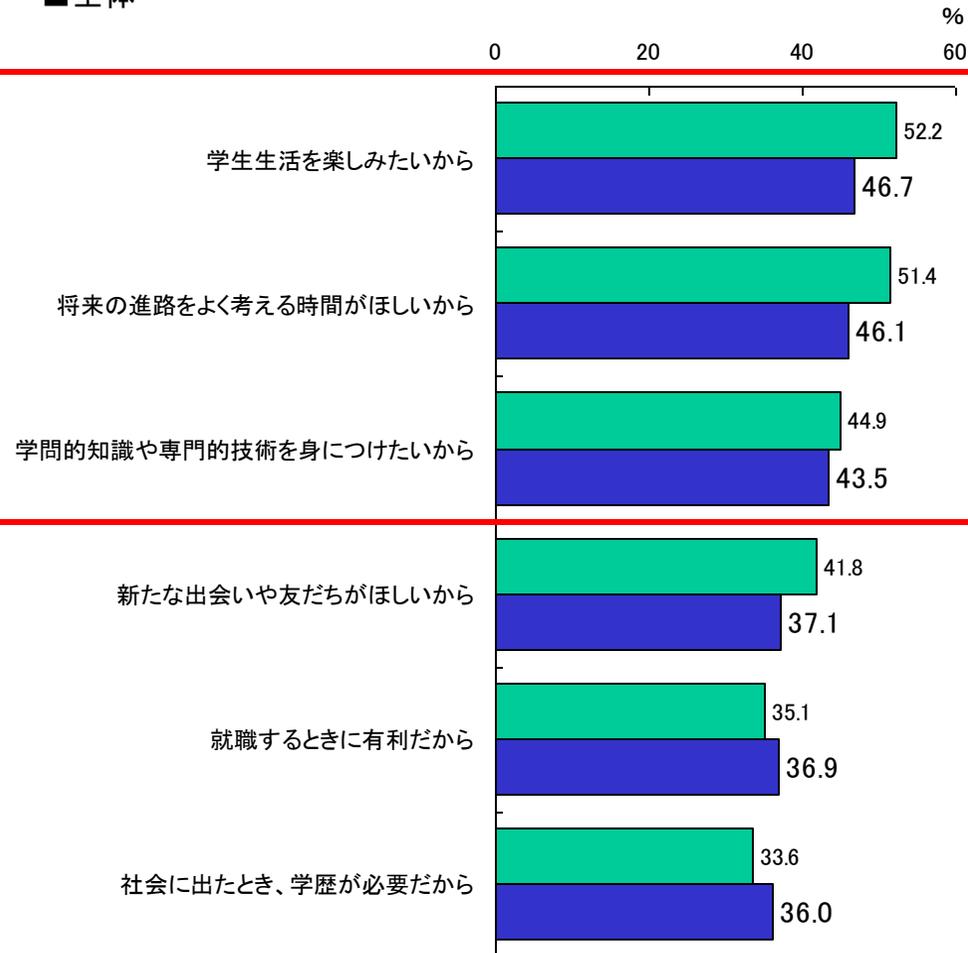
1. 大谷大学への進学について

■ 2005年よりも数値が低下している項目が多いが、順位に大きな変化はみられず、「学生生活を楽しみたいから」「将来の進路をよく考える時間がほしいから」「学問的知識や専門的技術を身につけたいから」が上位を占める。

→ 学生の多くが、大学進学を『将来を考える準備期間』と位置づけ、『キャンパスライフ』と『学び』両方の充実を大学に求めている様子うかがえる。

Q1 あなたが大学に進学しようと思った理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■ 全体



■ 2005年全体 (n=2,657)
■ 2009年全体 (n=2,292)

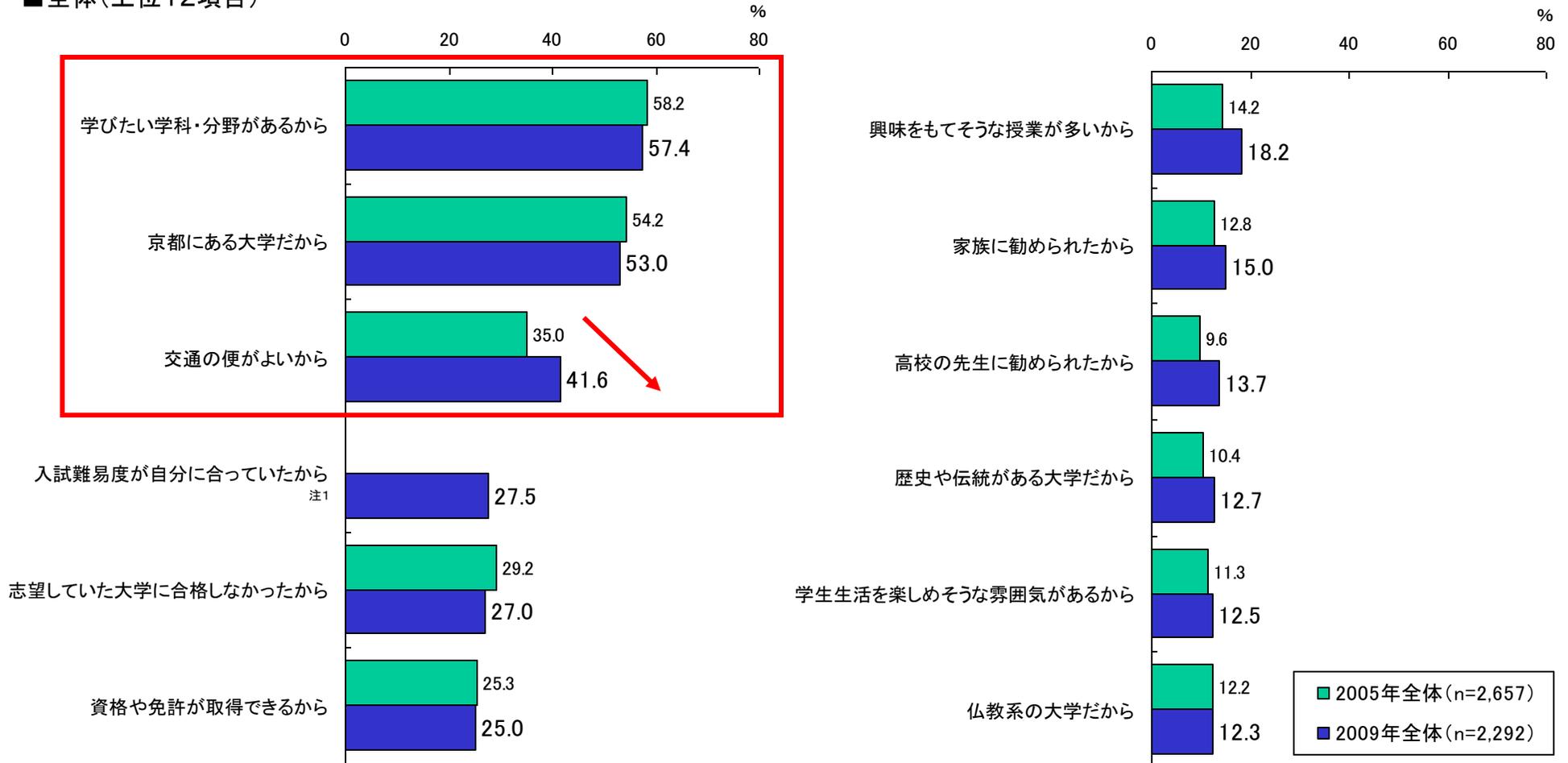
1-2. 大谷大学への志願理由

■ 2005年に引き続き、「学びたい学科・分野があるから」「京都にある大学だから」「交通の便がよいから」が大谷大学志願理由の上位。特に「交通の便がよいから」は2005年より6.6ポイント上昇。

→『大学の立地』と『学びの内容』に対する高い評価が、大谷大学への志望動機につながっていると考えられる。

Q2-1 あなたが大谷大学を志願した理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■ 全体(上位12項目)



注1は2009年に新しく追加された項目

1-2. 大谷大学への志願理由（学科別）

■ 学科別にみると、志願理由にはやや差がみられる。

- 歴史学科、哲学科：「学びたい学科・分野があるから」が7割を超え、『学びの内容』に対するこだわりが他学科より強いと考えられる。
- 教育・心理学科：「学びたい学科・分野があるから」に加えて「資格や免許が取得できるから」も高い。他学科より資格志向が強いといえる。
- 文学科、国際文化学科：『大学の立地』と『学びの内容』の両方を同程度重視。
- 社会学科、人文情報学科：『大学の立地』が主な志願理由。志望校選択時における大谷大学での『学びの内容』に対する意識はやや低い。
- 真宗学科、仏教学科：「仏教系の大学だから」「家族に勧められたから」が全体より高く、他学科とは異なる傾向がみられる。

■ 学科別（上位12項目）

09年：%

学科別	年度	回答者数（n）		学びたい学科・分野があるから		京都にある大学だから		交通の便がよいから		入試難易度が自分にとっていたから		志望しなかった大学に合格しなかったから		資格や免許が取得できるから		興味をもてそうな授業が多いから		家族に勧められたから		高校の先生に勧められたから		歴史や伝統がある大学だから		学生生活を楽しめるから		仏教系の大学だから	
		05年	09年	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差
全体		2,657	2,292	57.4	-0.8	53.0	-1.2	41.6	+6.6	27.5	-	27.0	-2.2	25.0	-0.3	18.2	+4.0	15.0	+2.2	13.7	+4.1	12.7	+2.3	12.5	+1.2	12.3	+0.1
真宗学科	真宗学科	325	245	49.4	+3.6	30.2	+6.5	10.6	+0.4	15.5	-	15.5	+6.0	50.6	-0.8	10.6	-4.2	50.6	+5.4	6.1	+0.9	12.7	+4.7	8.2	-1.0	58.8	+6.8
	仏教学科	227	183	41.0	+0.0	48.6	-2.9	31.1	-0.6	25.7	-	16.4	+2.7	21.3	-3.4	20.2	+0.8	21.9	+1.2	11.5	+1.8	14.2	+1.9	9.8	-5.6	31.1	-2.4
	哲学科	219	209	76.1	+12.6	57.4	+3.1	33.5	+3.4	32.5	-	26.3	-3.8	12.9	-1.7	23.4	+7.9	9.6	+3.7	9.1	+1.8	10.0	-2.3	10.0	+2.2	8.6	+4.9
	社会学科	539	395	51.1	-15.3	55.9	-0.7	51.9	+11.1	33.9	-	31.1	-5.1	17.7	-3.8	15.4	+3.9	12.4	+5.5	13.9	+4.1	10.1	+4.0	12.2	-1.0	2.5	-1.2
	歴史学科	284	284	78.2	-1.4	58.1	-9.5	38.7	+8.8	23.6	-	22.2	-2.1	33.1	-4.2	22.2	+10.9	10.2	+2.8	19.0	+9.8	25.7	+9.5	13.0	+7.0	8.5	+3.2
	文学科	293	264	58.7	-3.8	59.8	+4.5	47.7	+12.9	32.6	-	36.7	+4.6	38.3	+0.8	15.9	+4.3	6.4	-0.8	16.7	+1.3	11.4	-2.9	12.1	+1.9	3.4	-1.4
	国際文化学科	403	355	52.7	-1.9	58.6	-5.4	49.0	+5.8	27.0	-	36.1	-6.6	10.4	-0.8	18.0	+3.9	9.3	+4.1	15.2	+5.5	11.8	+0.4	16.6	+3.9	2.3	-0.7
	人文情報学科	367	261	44.8	-3.7	55.2	-1.7	58.2	+10.0	31.0	-	23.8	-8.4	8.8	-1.8	19.2	+1.5	8.4	-0.6	11.1	+1.3	9.2	+1.8	15.3	+1.9	1.9	-0.8
	教育・心理学科	-	86	87.2	-	37.2	-	37.2	-	15.1	-	26.7	-	66.3	-	26.7	-	11.6	-	26.7	-	2.3	-	11.6	-	5.8	-

全体より5ポイント以上高い

全体より5ポイント以上低い

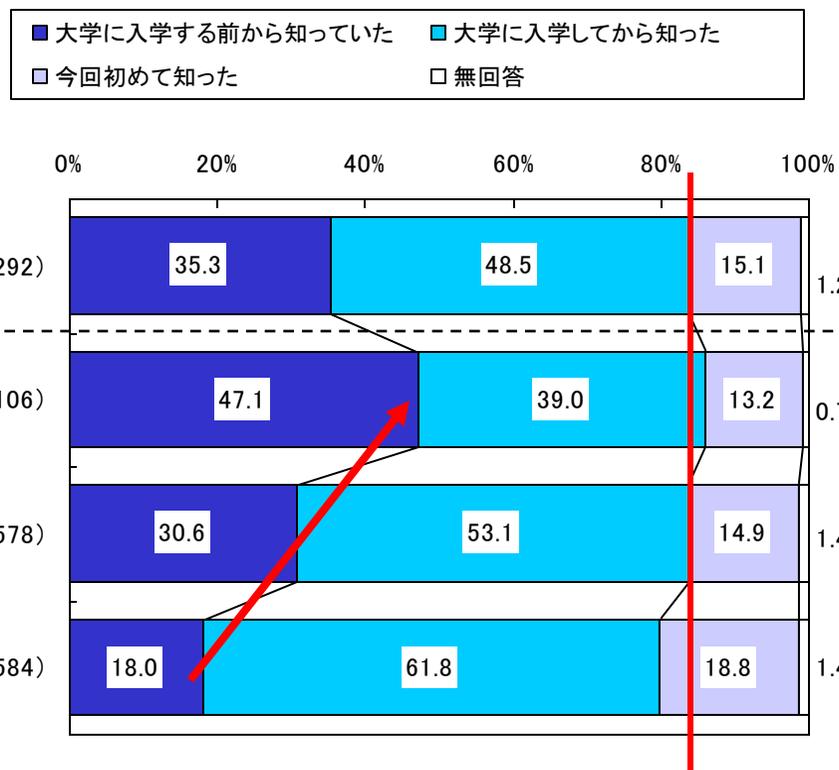
2. 建学の理念に対する意識と大学での取り組み

- 大学入学前と入学後を合わせると、建学の理念認知度は高く、8割を超える。
- 大谷大学の志望順位の高かった学生ほど、建学の理念を「大学に入学する前から知っていた」の割合が高く、第1志望で受験した学生では5割近くを占める。しかし、「大学に入学してから知った」まで含めると、どの層も認知度に大きな差はみられない。
- 学科別にみても、認知度に大きな差はみられないが、真宗学科、哲学科、教育・心理学科では「大学に入学する前から知っていた」が4割を超えており、他の学科と比べるとやや高い。

大谷大学には、【人間が大好きです。】というキャッチフレーズでうたわれるように、「仏教精神にもとづいた人間と人間の関係(自分との関係、他者との関係)を重視した教育を行い、仏教ないし人間にかかわる諸学問の研究成果を広く社会に公開する」という建学の理念があります。これについて、以下の設問に教えてください。

Q10-1 あなたは、上記のような建学の理念について知っていましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

■ 全体／志望順位別



■ 学科別

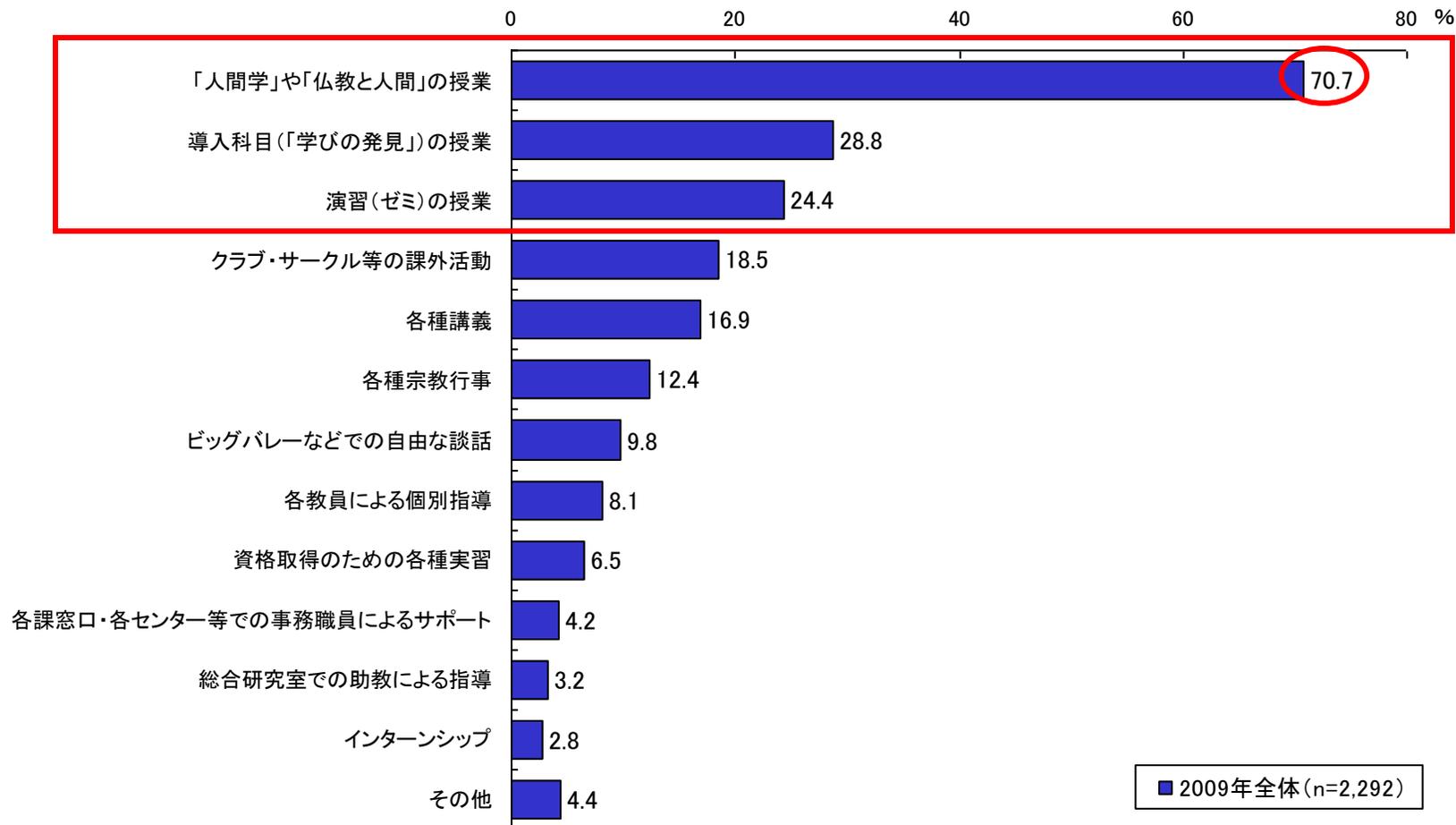
		回答者数 (n)	前大学に入学する前から知っていた (%)	大学に入学してから知った (%)	今回初めて知った (%)	無回答 (%)
全体		2,292	35.3	48.5	15.1	1.2
学科別	真宗学科	245	40.4	46.5	12.7	0.4
	仏教学科	183	38.3	43.2	16.4	2.2
	哲学科	209	40.2	47.8	11.0	1.0
	社会学科	395	33.4	50.1	14.4	2.0
	歴史学科	284	34.5	52.1	11.6	1.8
	文学科	264	33.0	48.9	17.0	1.1
	国際文化学科	355	32.1	51.0	16.9	0.0
	人文情報学科	261	33.0	47.1	19.2	0.8
	教育・心理学科	86	41.9	40.7	17.4	0.0

■ 全体より5ポイント以上高い
 ■ 全体より5ポイント以上低い

- 建学の理念を感じるときは、「人間学」や「仏教と人間」の授業」が突出して高い。
- 上位3項目すべてが『授業』と関連した項目であり、学生の多くは『授業』の中で建学の理念に触れているものと考えられる。

Q10-2 あなたは、建学の理念で言われる本学の人間関係重視の姿勢を、どのような機会に感じるがありますか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■ 全体

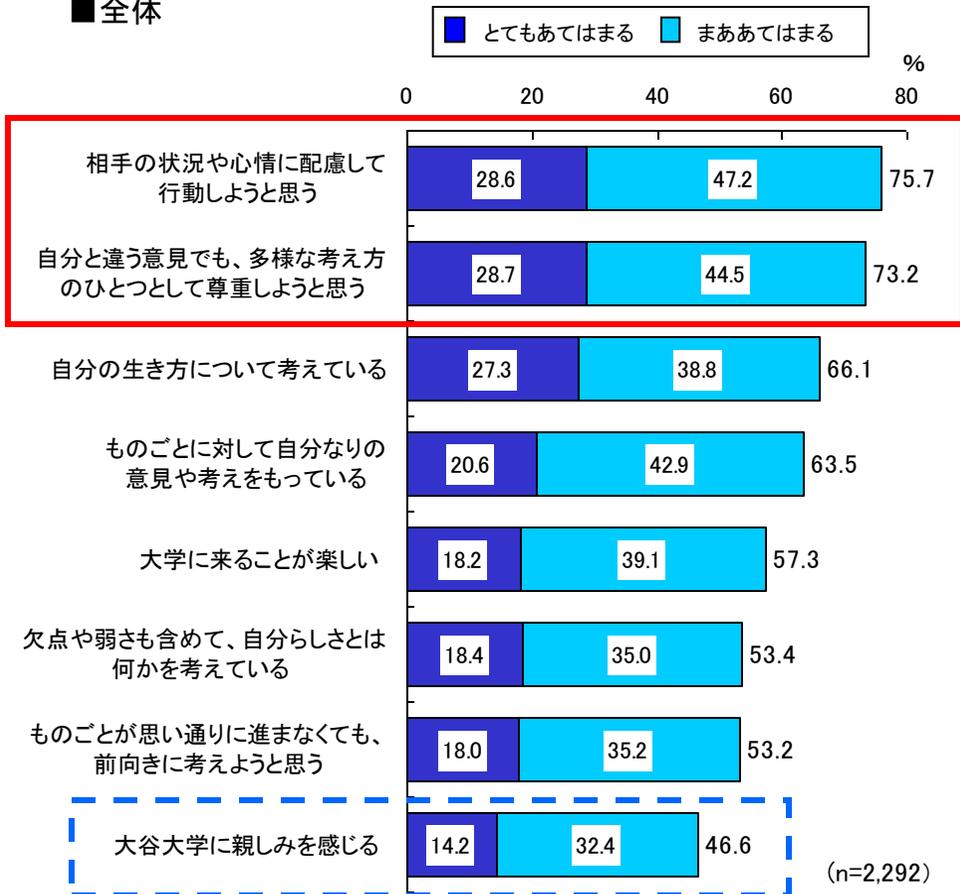


2-3. 入学後の自己認識・評価

- 入学後の自己認識・評価では、「相手の状況や心情に配慮して行動しようと思う」「自分と違う意見でも、多様な考え方のひとつとして尊重しようと思う」といった、『コミュニケーション能力』と関連する項目が上位。一方、「大谷大学に親しみを感じる」は評価が5割に満たず、最も低い。
- すべての項目で、建学の理念を入学前から知っていた学生や大学入学後に知った学生の方が、今回初めて知った学生よりも評価が高い。
→ 大学入学前・入学後を問わず、建学の理念を認知・理解することによって、大学に対する愛着や大学のめざす人間像への共感が高まると考えられる。

Q4 大谷大学に入学してからこれまでの間において、あなたは以下の項目についての程度自分にあてはまると感じますか。それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

■ 全体



■ 建学の理念認知度別

建学の理念認知度別	回答者数 (n)	項目							
		相手の状況や心情に配慮して行動しようと思う	自分と違う意見でも、多様な考え方のひとつとして尊重しようと思う	自分の生き方について考えている	ものごとに対して自分なりの意見や考えをもっている	大学に来ることが楽しい	欠点や弱さも含めて、自分らしさとは何かを考えている	ものごとが思い通りに進まなくても、前向きに考えようと思う	大谷大学に親しみを感じる
全体	2,292	75.7	73.2	66.1	63.5	57.3	53.4	53.2	46.6
大学入学前から知っていた	809	79.9	77.3	71.9	71.2	62.4	60.8	58.7	54.0
大学入学後に知った	1,111	75.2	74.5	64.2	61.1	57.2	52.3	51.5	45.5
今回初めて知った	345	68.4	59.7	59.1	54.2	46.4	40.3	46.4	32.8

■ 全体より5ポイント以上高い ■ 全体より5ポイント以上低い

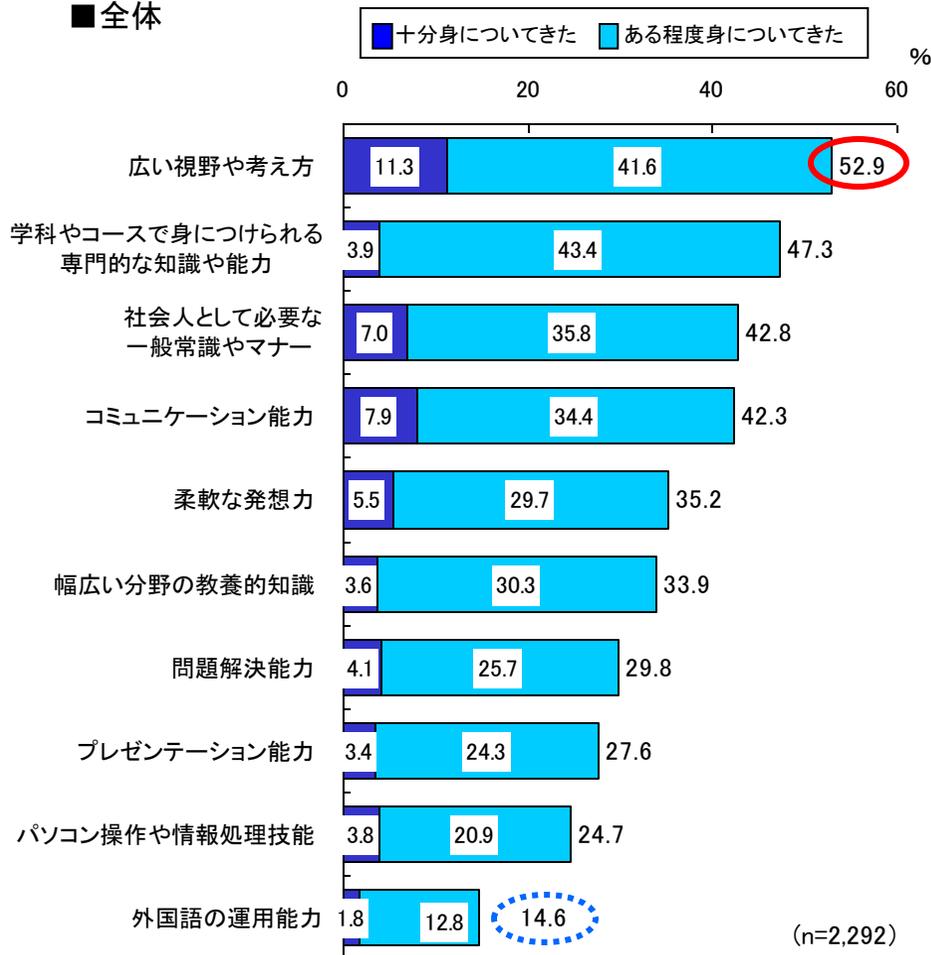
注) グラフの右側及び表中に記載されている数値は、各項目に対する「評価」(「評価」=「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の合計値)を示す。

2-4. 身についた能力や知識・技能

- 「身についた」という評価が5割を超えているのは、第1位の「広い視野や考え方」のみで、全体的に能力や知識・技能の修得感は低い。
特に「外国語の運用能力」については、評価が2割に届かず、多くの学生にとって身についた実感が薄いといえる。
- 出席率の高い学生や授業理解度の高い学生ほど、能力や知識・技能の修得感が高い。
→授業への取り組み方と各種能力の修得状況には一定の関連があると推測される。

Q3 あなたは、以下の能力や知識・技能について、大谷大学に入学してからこれまでの間にどの程度身についてきたと思いますか。それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

■全体



■授業への出席率別／授業の理解度別

		回答者数 (n)	広い視野や考え方	学科やコースで身につけられる専門的な知識や能力	社会人として必要な一般常識やマナー	コミュニケーション能力	柔軟な発想力	幅広い分野の教養的知識	問題解決能力	プレゼンテーション能力	パソコン操作や情報処理技能	外国語の運用能力
全体		2,292	52.9	47.3	42.8	42.3	35.2	33.9	29.8	27.6	24.7	14.6
授業への出席率別	ほとんど出席	794	54.0	53.3	43.1	45.0	35.3	38.2	31.6	28.6	24.1	17.6
	8～9割程度出席	806	53.6	50.0	45.9	43.8	34.7	34.0	30.0	27.9	26.2	13.0
	6～7割程度出席	501	52.5	39.5	42.1	39.9	36.3	29.9	29.1	26.5	25.3	13.0
	半分程度～半分以下の出席	188	46.3	31.9	30.9	30.9	34.0	25.5	23.4	25.0	19.1	12.2
授業の理解度別	ほぼすべての授業が理解できる	131	63.4	68.7	45.0	49.6	46.6	49.6	44.3	38.9	29.0	24.4
	だいたいの授業は理解できる	967	62.6	60.4	50.2	49.1	43.3	45.1	38.2	33.3	27.1	17.6
	半分くらいの授業は理解できる	914	47.7	39.9	39.7	39.4	29.8	25.9	23.9	24.6	24.0	12.3
	理解できない授業が多い+ほとんどの授業が理解できない	274	30.7	15.7	25.9	23.7	18.6	12.8	13.1	12.0	16.4	6.9

全体より5ポイント以上高い (ピンク) 全体より5ポイント以上低い (青)

注) グラフの右側及び表中に記載されている数値は「十分身についてきた」+「ある程度身についてきた」の合計値。

3. 大谷大学での学業について

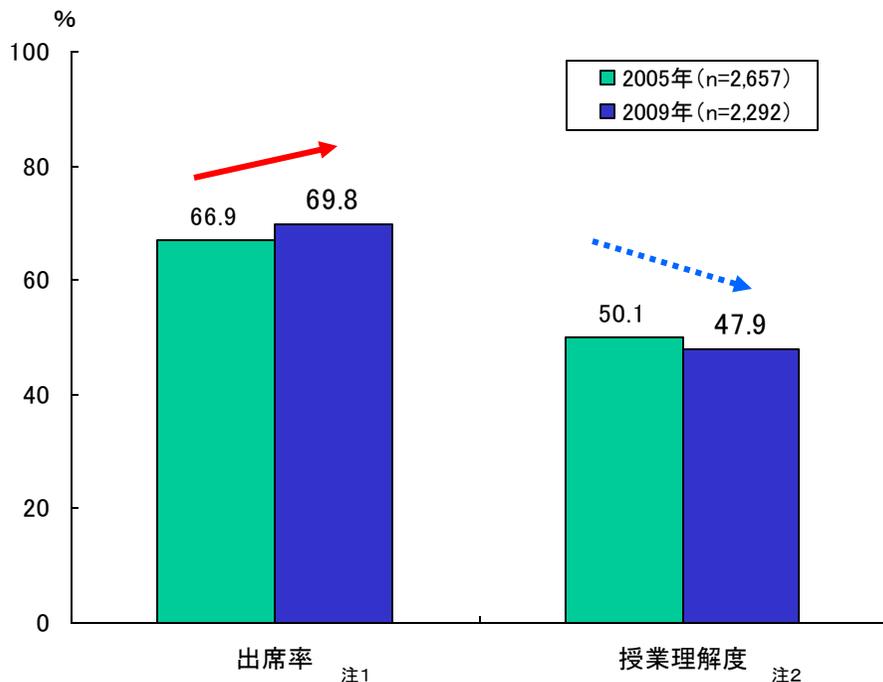
3-1. 授業出席率と授業理解度

- 2005年と2009年を比較すると、出席率は若干上昇(+2.9ポイント)しているのに対して、授業理解度はわずかではあるが低下(-2.2ポイント)。
- 出席率別に授業理解度を比較すると、授業への出席率が高いほど授業理解度も高いという相関がみられる。
ただし、授業にほとんど出席している学生の授業理解度は、2005年に比べ5.5ポイント低下している。
→授業に出席はしているものの、授業が理解できない学生が、若干ではあるが増加傾向にある可能性が推測される。

Q5 今年度のあなたの授業への平均出席率は何の程度ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

Q7 あなたは、現在受講している授業の内容をどの程度理解できていると思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

■ 授業出席率と授業理解度の変化



■ 授業への出席率別 授業理解度

		09年: %		05年との差
		05年	09年	
年度		05年	09年	09年
全体		2,657	2,292	47.9
出席率別の	ほとんど出席	908	794	59.5
	8~9割程度出席	869	806	50.1
	6~7割程度出席	585	501	35.3
	半分程度~半分以下の出席	294	188	23.4

59.5 全体より5ポイント以上高い
 -5.5 全体より5ポイント以上低い

注1 出席率=「ほとんど出席している」+「8~9割程度出席している」

注2 授業理解度=「ほぼすべての授業が理解できる」+「だいたい授業は理解できる」

3-1. 授業出席率と授業理解度（学科別）

■ 授業出席率、および授業理解度を学科別にみると

- 歴史学科、教育・心理学科：出席率、授業理解度ともに全体より5ポイント以上高い。
- 真宗学科、仏教学科：出席率、授業理解度とも全体より5ポイント前後低いが、2005年と比較すると上昇している。
- 社会学科、国際文化学科、人文情報学科：出席率、授業理解度とも、やや低下傾向。

Q5 今年度のあなたの授業への平均出席率は何の程度ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

Q7 あなたは、現在受講している授業の内容をどの程度理解できていると思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

■ 学科別

09年：%

	回答者数 (n)	出席率		授業理解度			
		注1		注2			
年度	05年	09年	09年	05年との差	09年	05年との差	
全体	2,657	2,292	69.8	+2.9	47.9	-2.2	
学科別	真宗学科	325	245	63.7	+8.9	32.7	+1.3
	仏教学科	227	183	66.1	+13.2	39.3	+6.3
	哲学科	219	209	63.1	+6.5	53.1	-4.9
	社会学科	539	395	71.6	-1.0	46.6	-5.5
	歴史学科	284	284	82.0	+8.4	57.4	-4.9
	文学科	293	264	74.6	+3.3	56.8	-2.5
	国際文化学科	403	355	68.7	-2.3	51.5	-7.5
	人文情報学科	367	261	61.7	-9.1	38.0	-4.5
	教育・心理学科	—	86	81.4	—	61.6	—

■ 全体より5ポイント以上高い ■ 全体より5ポイント以上低い

注1 出席率＝「ほとんど出席している」＋「8～9割程度出席している」

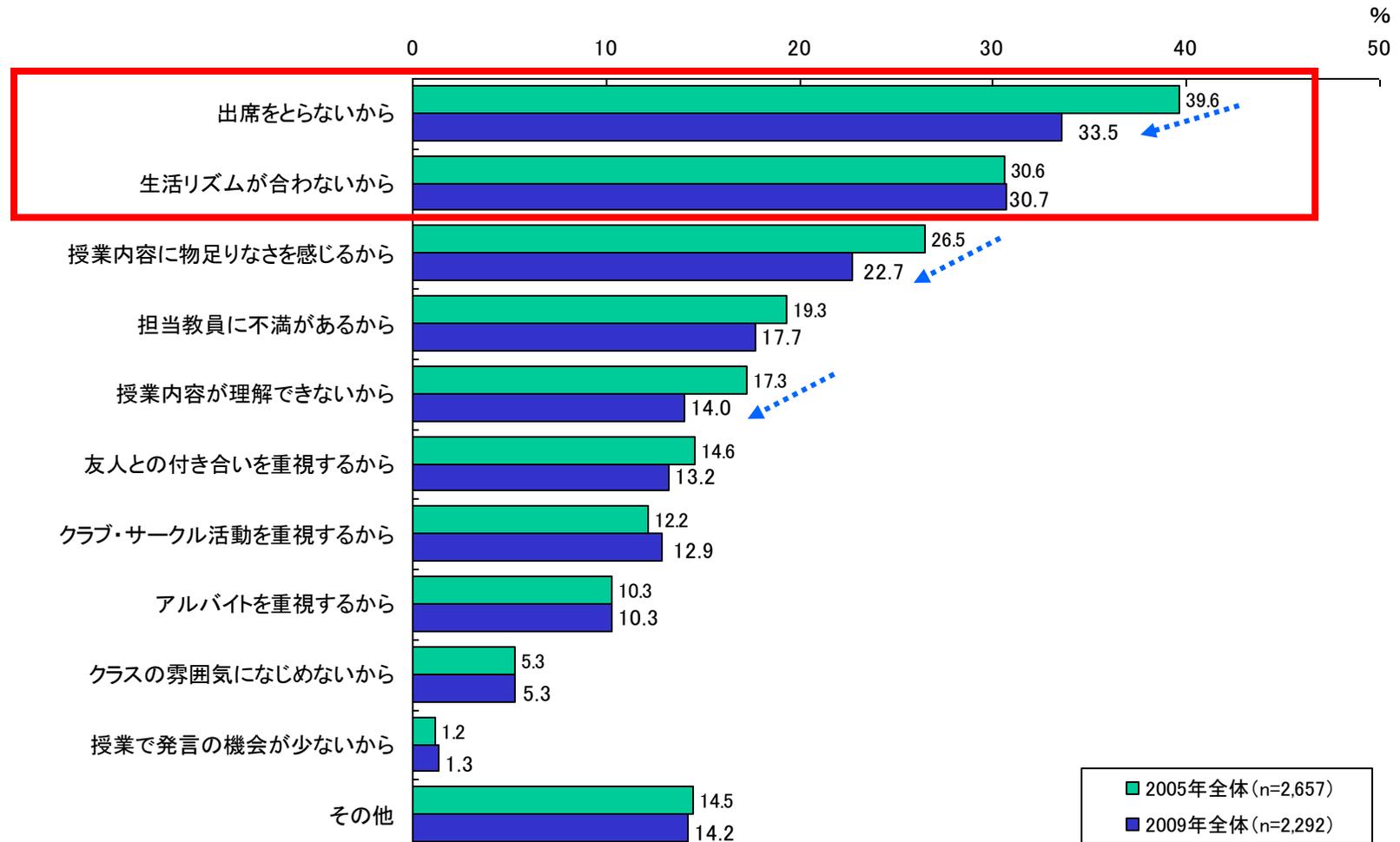
注2 授業理解度＝「ほぼすべての授業が理解できる」＋「だいたい授業は理解できる」

3-2. 授業を欠席する理由

- 授業を欠席する理由の第1位は「出席をとらないから」で、次いで「生活リズムが合わないから」が続く。
- 欠席理由の順位に大きな変化はみられないが、「出席をとらないから」や「授業内容に物足りなさを感じるから」「授業内容を理解できないから」の値は若干ではあるが、低下している。

Q6 あなたが、健康状態以外で授業を欠席する理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■ 全体



3-参考2. 授業を欠席する理由（学科別）

■授業への出席率別／学科別

09年：%

	回答者数 (n)		出席をとらないから		生活リズムから合わない		授業内容に物足りなさを感じるから		担当教員から不満がある		授業内容が理解できないから		友人との付き合いから		クラブ・サークル活動から		アルバイトから		クラスの雰囲気から		授業で発言の機会が少ないから		その他		
	05年	09年	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	
全体	2,657	2,292	33.5	-6.1	30.7	+0.1	22.7	-3.8	17.7	-1.6	14.0	-3.3	13.2	-1.4	12.9	+0.7	10.3	+0.0	5.3	+0.0	1.3	+0.1	14.2	-0.3	
学科別	真宗学科	325	245	34.3	-0.5	33.5	-3.7	14.7	-6.2	16.3	-2.8	17.1	-5.7	13.5	-0.7	17.6	+3.8	9.0	-0.8	4.9	-0.9	1.6	+0.7	16.3	+3.4
	仏教学科	227	183	36.1	+1.3	30.6	-5.1	20.2	+2.6	20.2	-1.4	23.0	-4.3	10.4	-4.6	10.4	-1.1	12.6	-1.5	4.4	-0.9	1.1	-1.1	11.5	-0.4
	哲学科	219	209	36.4	-2.0	36.8	+6.2	31.6	+1.0	20.1	+0.9	15.8	+0.3	9.6	-2.7	12.0	+1.0	9.6	-0.9	4.3	-3.9	2.4	+0.1	17.7	-4.2
	社会学科	539	395	41.0	-3.7	27.1	-1.3	24.8	-4.9	14.2	-1.2	9.4	-3.0	14.7	-2.6	13.2	-0.3	12.4	+2.4	6.3	+0.9	1.0	+0.8	11.6	-1.8
	歴史学科	284	284	26.4	-7.4	27.8	-1.4	19.4	-2.8	16.5	-0.8	12.3	-4.2	10.9	-4.2	12.3	-3.2	10.2	-0.4	4.9	+0.3	1.4	+0.0	15.5	-4.6
	文学科	293	264	26.5	-14.8	28.8	+1.2	24.2	-2.8	21.2	-3.4	14.0	-2.0	12.9	-1.8	14.0	+2.4	8.3	-0.9	4.9	-0.2	0.8	-0.2	18.2	+2.5
	国際文化学科	403	355	34.4	-6.8	30.7	+4.6	27.3	-7.4	21.1	+2.2	15.2	+0.6	15.8	+3.6	12.7	+3.3	9.3	-0.1	7.6	+4.4	1.4	-0.1	11.5	-0.9
	人文情報学科	367	261	35.6	-6.1	36.4	+2.9	17.2	-6.8	14.2	-7.3	13.0	-5.8	16.9	+2.2	14.6	+3.7	11.9	+1.8	5.4	-0.3	1.1	-0.3	11.1	-0.3
	教育・心理学科	-	86	18.6	-	24.4	-	22.1	-	16.3	-	8.1	-	7.0	-	2.3	-	5.8	-	0.0	-	0.0	-	23.3	-

全体より5ポイント以上高い (ピンク)

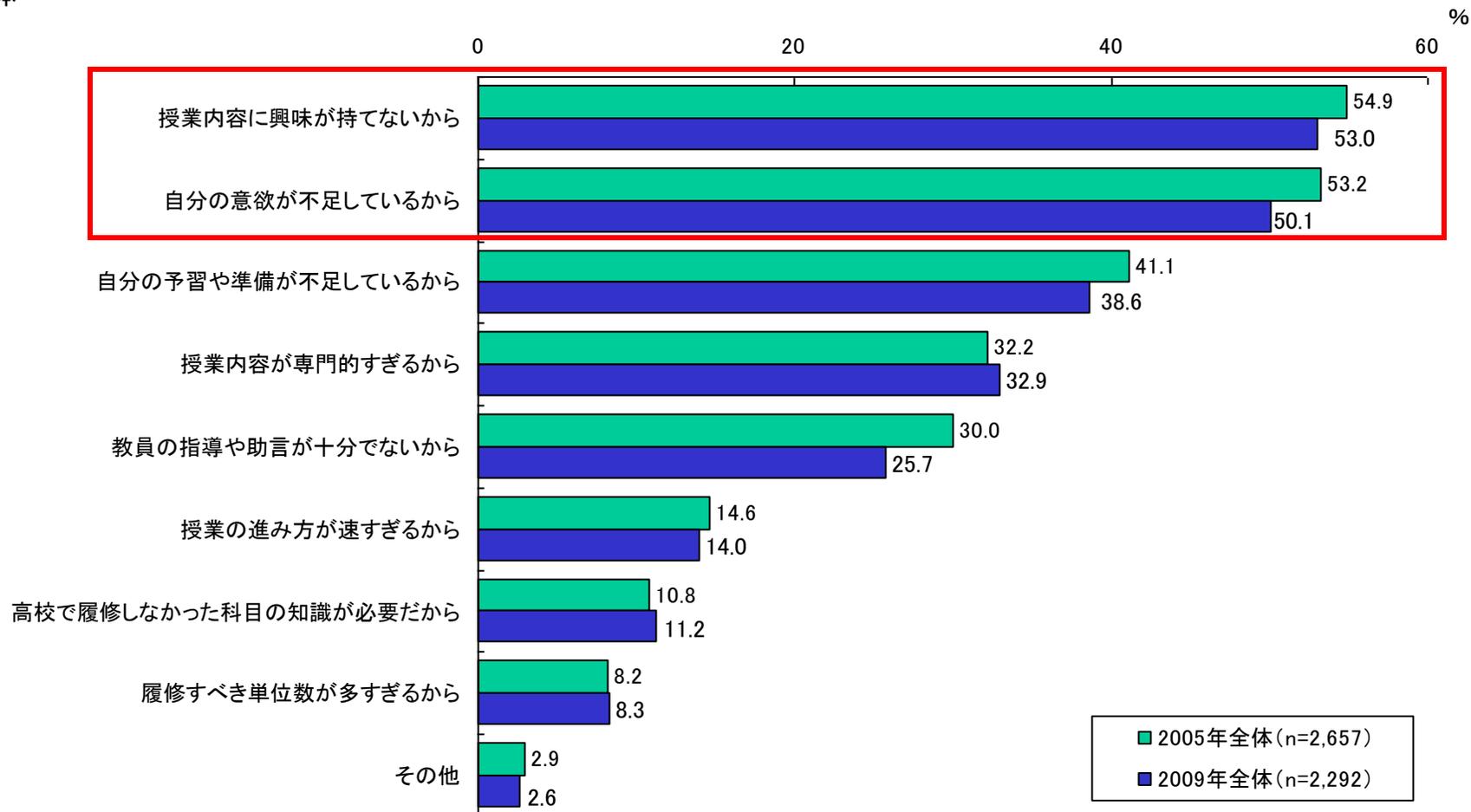
全体より5ポイント以上低い (青)

3-3. 授業が理解できない理由

■ 授業が理解できない理由としては、2005年同様、「授業内容に興味がないから」「自分の意欲が不足しているから」をあげる学生が多く、それぞれ5割を超えている。

Q8 あなたが受講している授業を理解できない場合、その理由は何だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■全体



3-参考3. 授業が理解できない理由（学科別）

■ 学科別

09年：%

	回答者数 (n)		興味がないから授業内容に		自分の不足から意欲		自分の準備が足りない		専門的すぎる		教員の言いが導		授業の進み		高校で履修した		履修すべき		その他		
	05年	09年	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	
全体	2,657	2,292	53.0	-1.9	50.1	-3.1	38.6	-2.5	32.9	+0.7	25.7	-4.3	14.0	-0.6	11.2	+0.4	8.3	+0.1	2.6	-0.3	
学科別	真宗学科	325	245	44.1	-3.3	56.3	-1.2	42.9	-8.5	45.7	+9.7	19.6	-5.0	11.4	-2.8	15.5	+1.3	10.6	-2.6	1.2	-1.0
	仏教学科	227	183	48.6	+4.1	49.7	-4.0	42.6	+2.5	41.0	+5.3	26.2	+1.1	16.4	-3.4	13.7	-1.3	8.7	-7.6	3.8	+1.6
	哲学科	219	209	48.8	-4.6	52.6	-8.6	48.3	-7.4	30.6	+4.1	23.9	-3.5	7.7	-3.3	8.6	-3.3	7.7	-1.9	4.8	-1.1
	社会学科	539	395	57.2	+1.5	47.3	-6.5	36.7	-0.2	33.2	+1.7	27.1	-3.0	13.4	+0.0	10.6	+2.1	7.8	+1.1	1.8	-0.6
	歴史学科	284	284	53.9	-1.4	44.4	-0.7	37.7	-4.2	36.3	+4.3	25.0	-3.2	12.3	-3.2	16.5	+0.7	7.0	+2.4	3.5	-1.1
	文学科	293	264	54.9	-5.2	53.8	+0.2	46.6	-0.5	28.4	+0.4	28.8	-5.0	14.4	+0.1	9.5	+0.6	8.7	+1.9	2.3	+0.3
	国際文化学科	403	355	60.6	+2.3	51.8	+1.7	32.1	-1.4	27.6	+0.3	27.3	-4.7	13.2	+0.5	6.8	+0.8	6.8	+2.6	2.3	+0.8
	人文情報学科	367	261	50.6	-8.8	52.1	-0.8	33.0	+0.3	29.5	-10.3	21.1	-14.6	21.8	+4.4	8.8	-2.1	9.2	+1.0	1.9	-1.6
	教育・心理学科	—	86	46.5	—	37.2	—	29.1	—	20.9	—	37.2	—	16.3	—	15.1	—	11.6	—	3.5	—

全体より5ポイント以上高い

全体より5ポイント以上低い

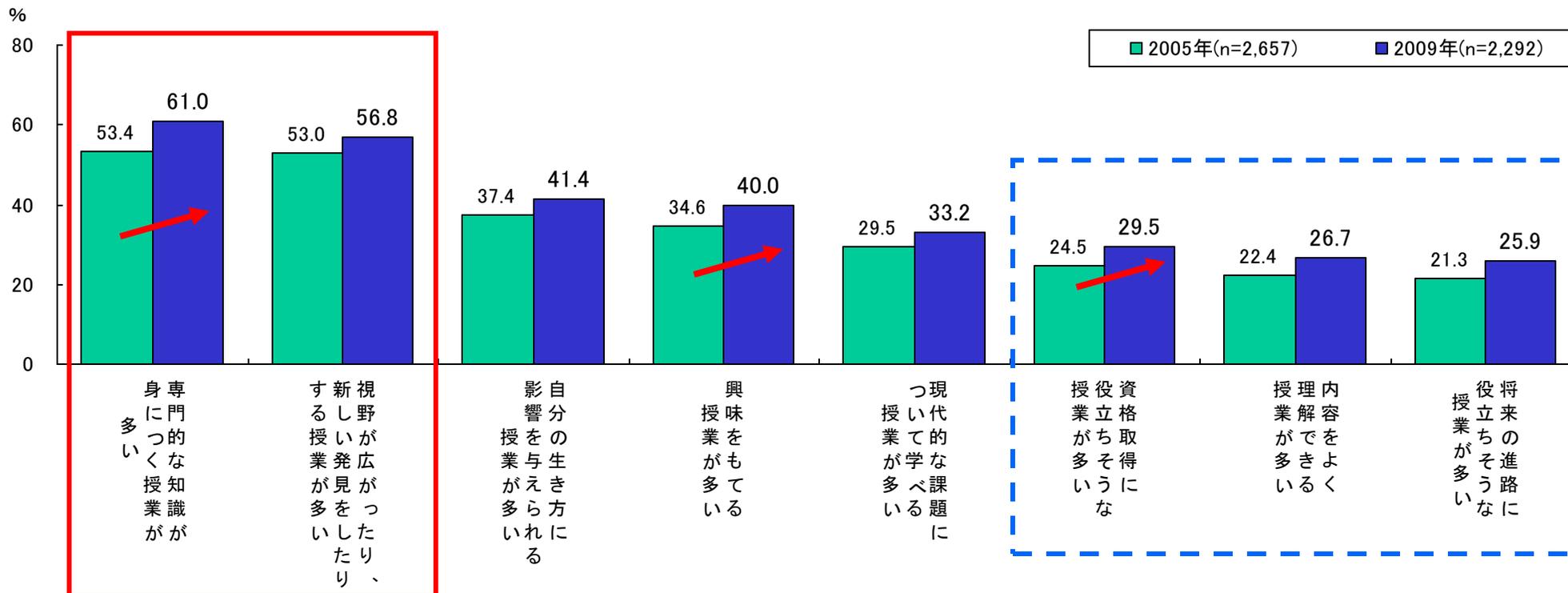
4. 各カテゴリーに対する評価

- 授業に関する8項目の中では、「専門的な知識が身につく授業が多い」「視野が広がったり、新しい発見をしたりする授業が多い」に対する評価が5割を超え、比較的高い。また、これら2項目は、「身についた能力や知識・技能」の上位項目と共通性がみられ、授業を通じてこれらの能力・知識が修得されていることがうかがわれる。
- 2005年と比べると、すべての項目で評価は上昇。特に「専門的な知識が身につく授業が多い」「興味をもてる授業が多い」「資格取得に役立つような授業が多い」の3項目の評価は、2005年に比べ5ポイント以上高くなっている。
- ただし、資格取得や卒業後の進路と授業との関連についての項目、授業理解に関する項目では、上昇したとはいえ、評価は2割台にとどまっている。

Q9 大谷大学について、以下の項目に関して5段階で評価してください。それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

【A 大谷大学での授業について】

■ 全体



注) グラフの数値は各評価項目に対する「評価」を示す。評価とは「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の合計人数が回答者数(n)に占める割合である。

Q9は以下同様。

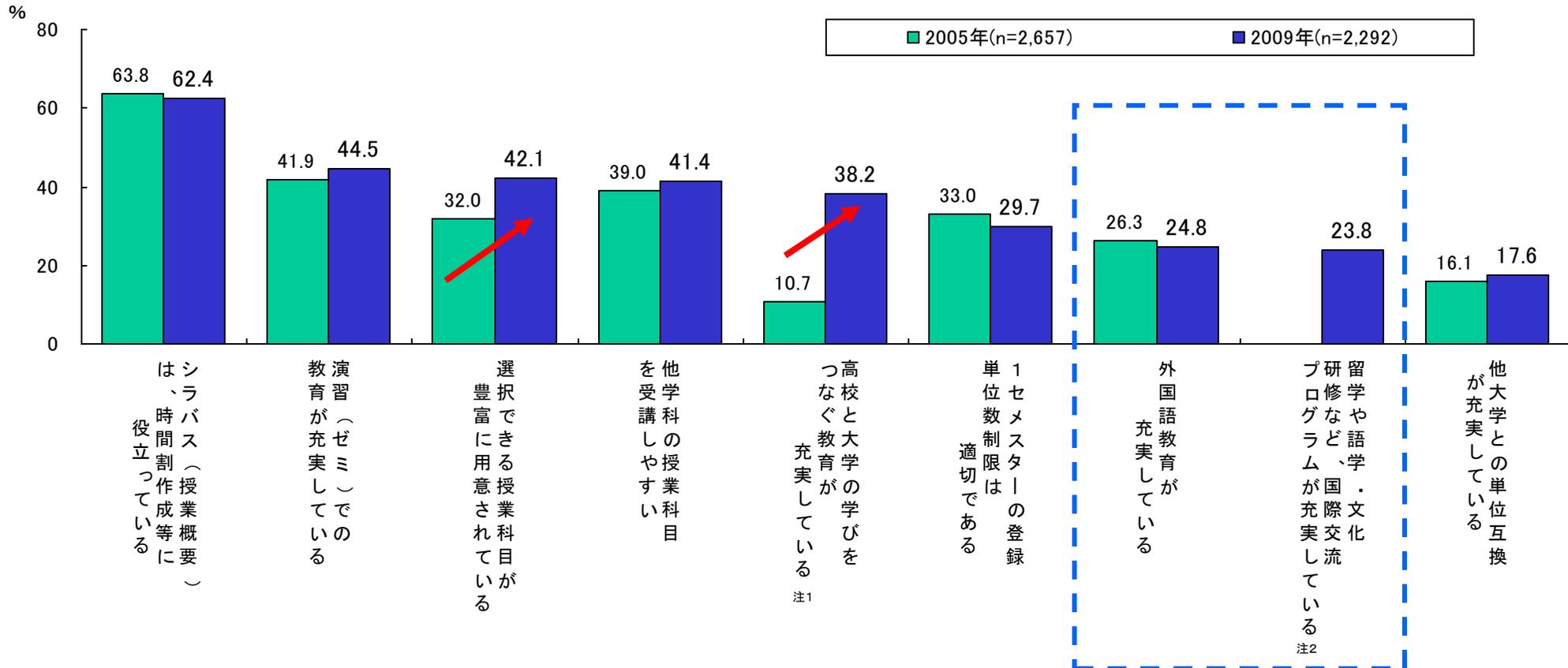
■ 学びの環境に関する9項目の中では、「シラバス(授業概要)は、時間割作成等に役立っている」が62.4%で最も高い。

一方、外国語教育や国際交流に関する項目に対しては、評価は2割台で比較的低い。

■ 2005年と比べると、「選択できる授業科目が豊富に用意されている」「高校と大学の学びをつなぐ教育が充実している」は、10ポイント以上評価が上昇。

【B 大谷大学での学びの環境について】

■ 全体



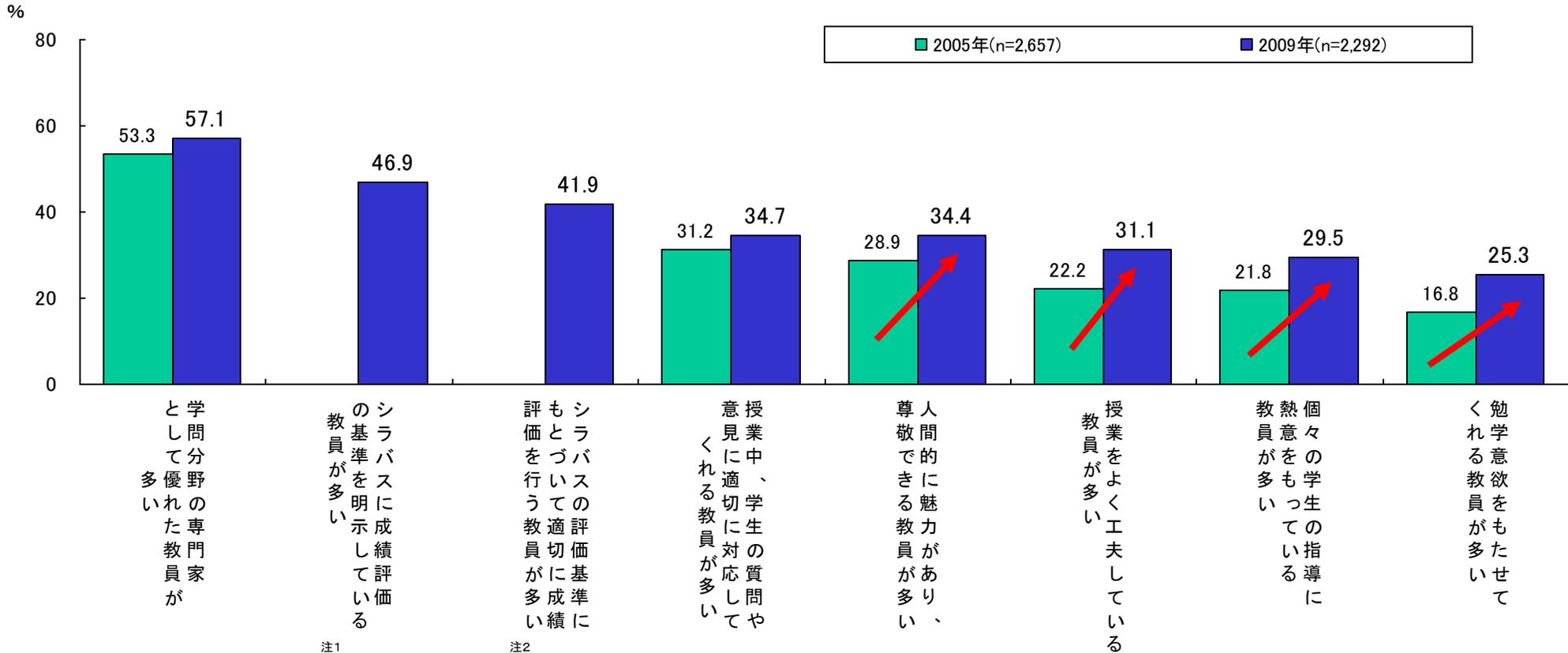
注1 2005年は「高校の勉強と大学の学びをスムーズにつなぐ教育が充実している」

注2は2009年に新しく追加された項目

- 教員に対する評価項目のうち、最も評価が高いのは「**学問分野の専門家として優れた教員が多い**」。
- 「**人間的に魅力があり、尊敬できる教員が多い**」「**授業をよく工夫している教員が多い**」「**個々の学生の指導に熱意をもっている教員が多い**」「**勉学意欲をもたせてくれる教員が多い**」に対する評価は2～3割台と、高いとはいえませんが、2005年と比較すると5ポイント以上上昇。
→教員に対する評価は全体的に上昇傾向。

【C 大谷大学の教員について】

■ 全体



注1

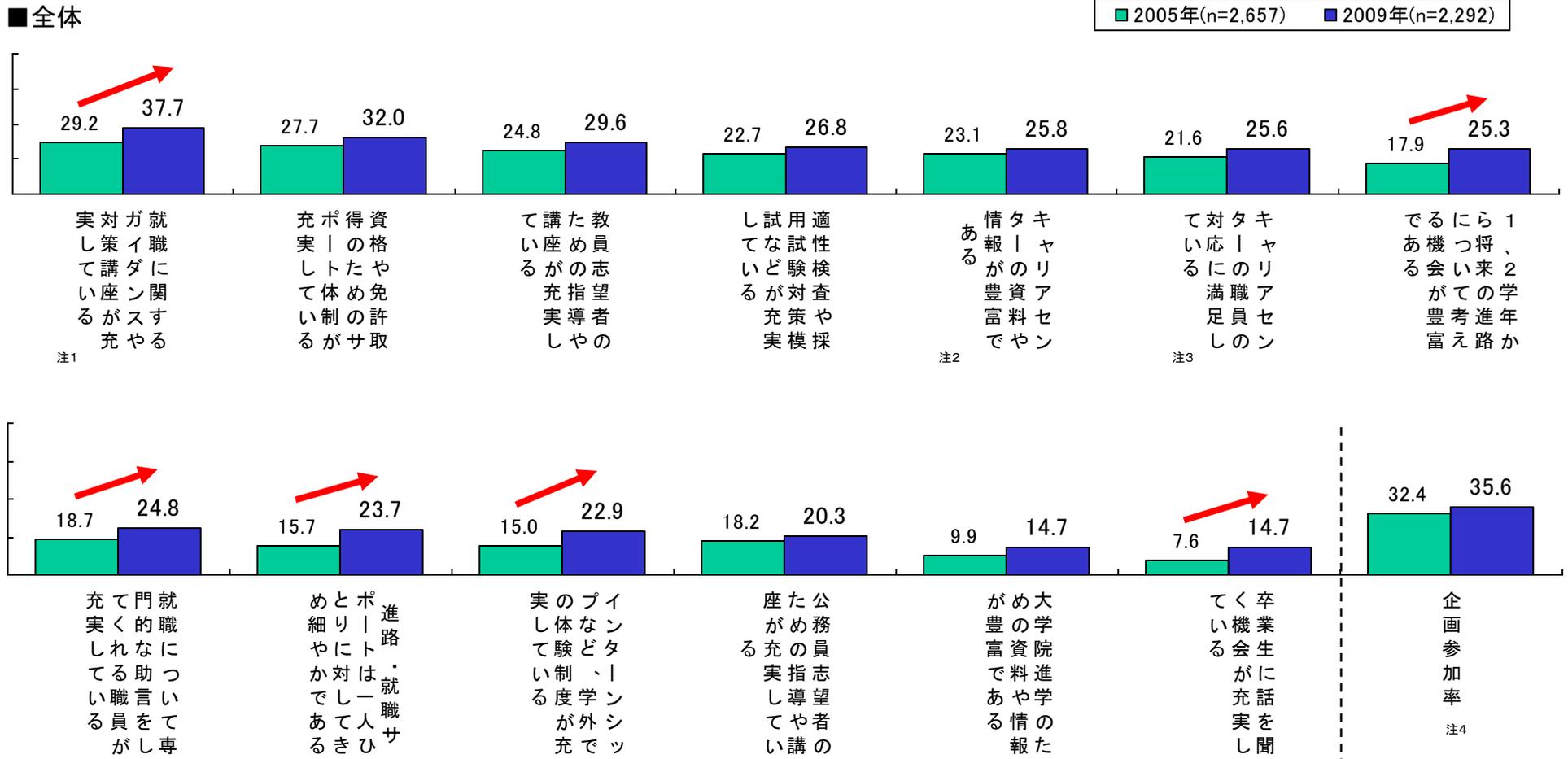
注2

注1、注2は2009年に新しく追加された項目

4-4. 進路・就職サポート体制の評価

- 全学年を含めた在学生全体の結果をみると、評価が4割を超える項目はないが、2005年と比べると、13項目すべてで評価が上昇し、うち6項目の評価は5ポイント以上上昇している。
- 進路・就職サポート企画への参加率もやや上昇。

【E 大谷大学の進路・就職サポート体制について】



注1 2005年は「就職に関するガイダンスが充実している」

注2 2005年は「進路就職センターの資料や情報が豊富である」

注3 2005年は「進路就職センターの職員の対応に満足している」

注4 企画参加率＝進路・就職サポート企画に「ほとんど参加している」+「ある程度参加している」

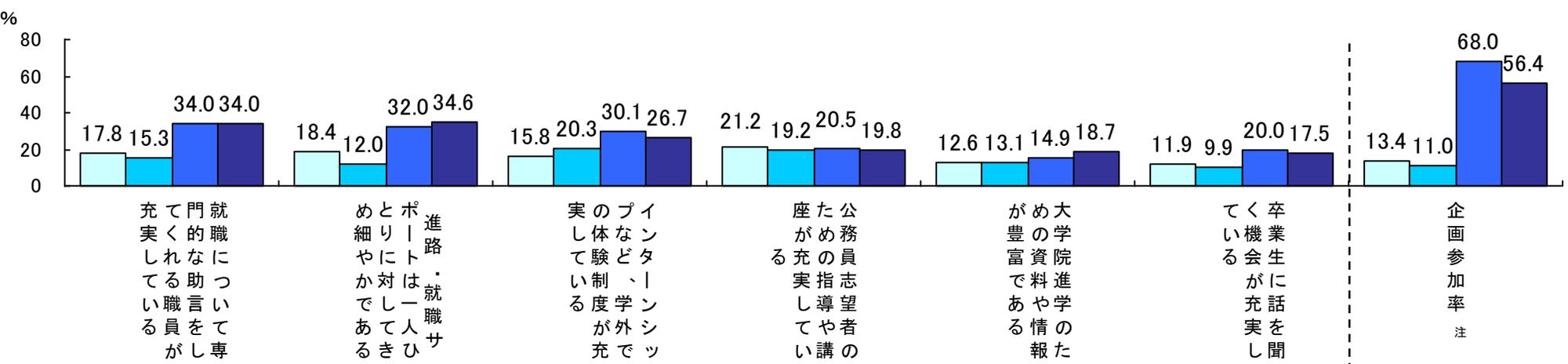
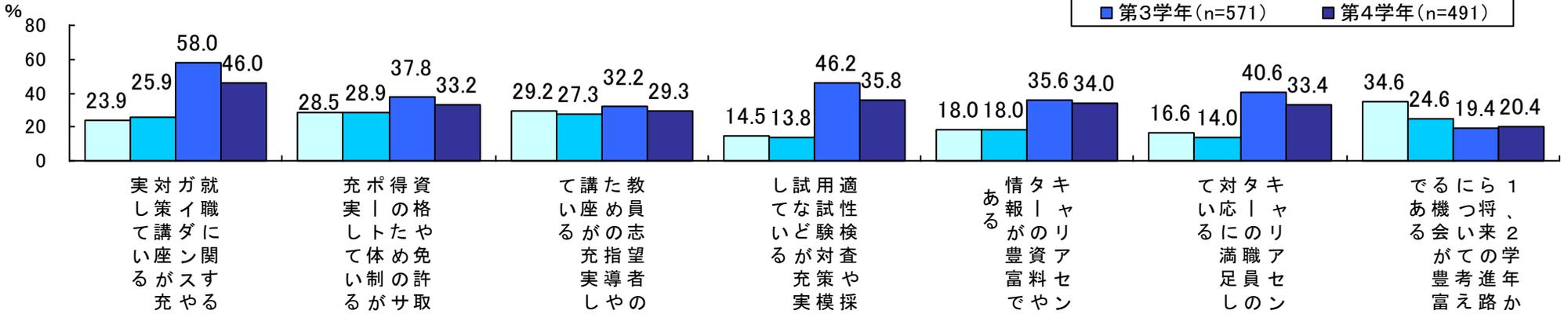
4-4. 進路・就職サポート体制の評価（学年別）

- ほとんどの項目で、低学年よりも、就職活動が本格化する第3・4学年の方が評価が高い。
- 進路・就職サポート企画への参加率は第3学年で最も高く、続く第4学年でも5割を超える。一方、低学年の参加率は1割台。

【E 大谷大学の進路・就職サポート体制について】

■学年別

第1学年 (n=657) 第2学年 (n=557)
 第3学年 (n=571) 第4学年 (n=491)

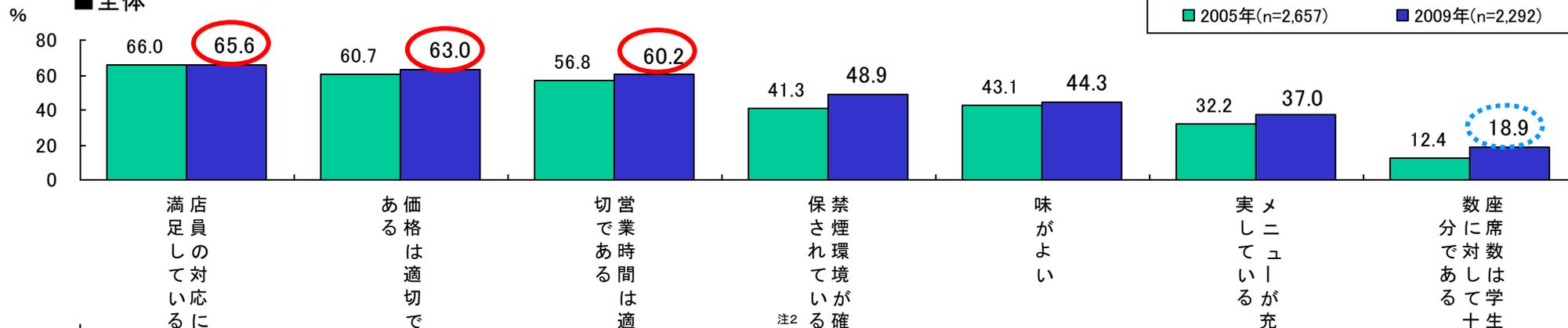


注 企画参加率=進路・就職サポート企画に「ほとんど参加している」+「ある程度参加している」

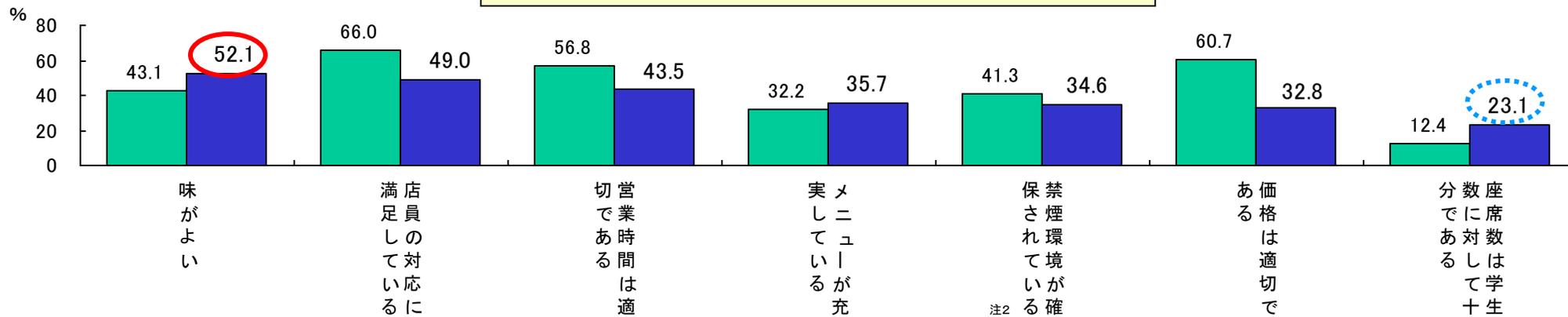
4-5. 福利厚生施設・設備などの評価

- 各施設ごとの項目別評価の平均値を比較すると、最も評価の高い施設は《学内コンビニエンスストア》(平均60.2%)、2位は《食堂》(平均48.3%)。反対に評価の低い施設は《学内書店》(平均33.7%)。
- 《食堂》については、「店員の対応」「価格」「営業時間」の評価が5割を超えているが、「座席数」に対する評価は低い。
- 《ビッグバレー》は「味」に対する評価が比較的高い。一方、「座席数」に対する評価は《食堂》同様に低い。

■全体



《食堂》 評価の平均値(05年:44.6%→09年:48.3%) 注1



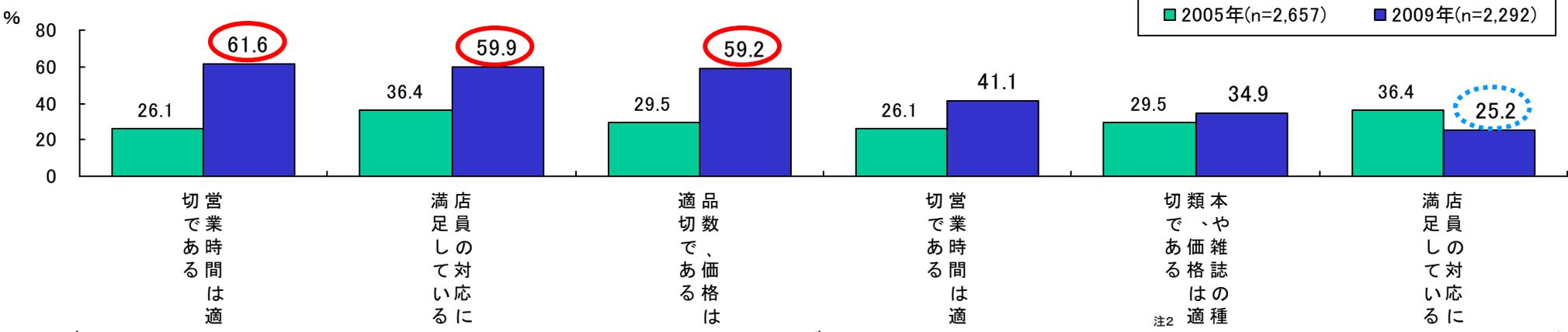
《ビッグバレー》 評価の平均値(05年:44.6%→09年:38.7%) 注1

注1 2005年は「食堂・ビッグバレー」を一つの項目として質問した。 注2 2005年は「禁煙スペースが確保されている」

4-5. 福利厚生施設・設備などの評価

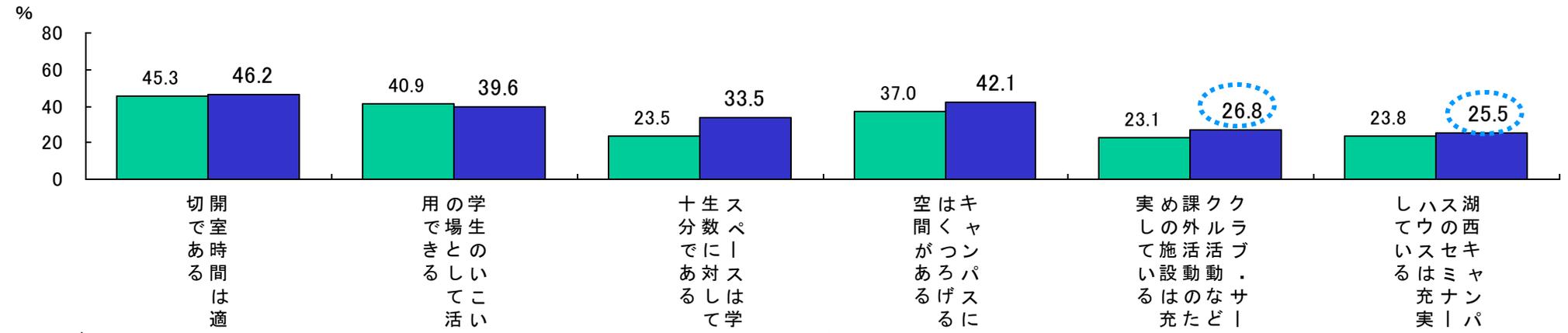
■《学内書店》においては、「店員の対応」に対する評価が特に低い。
 ■また、「クラブ・サークル活動など課外活動のための施設は充実している」「湖西キャンパスのセミナーハウスは充実している」も評価が低い。

■全体



《学内コンビニエンスストア》 評価の平均値(05年:30.7%→09年:60.2%)^{注1}

《学内書店》 評価の平均値(05年:30.7%→09年:33.7%)^{注1}



《談話室1号館1階》 評価の平均値(05年:36.6%→09年:39.8%)

その他

注1 2005年は「購買部・書店」を一つの項目として質問した。

注2 2005年は「品数、価格は適切である」

4-6. 教育施設・設備などの評価

■《図書館》の利用率は72.1%で、2005年(74.2%)とほとんど変わらない。一方、利用者の評価は上昇。

■《総合研究室》の利用率は53.6%で、2005年(60.5%)に比べ、6.9ポイント低下。

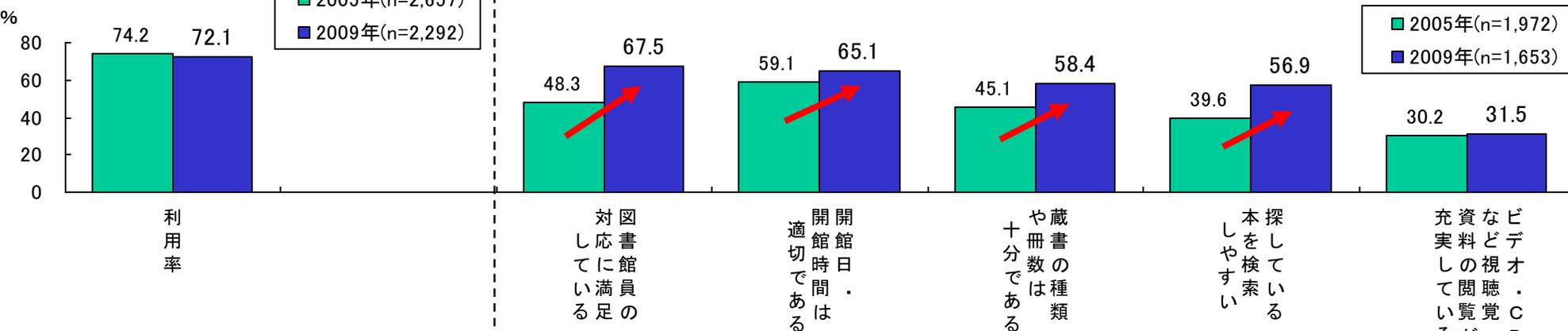
利用者の評価をみると、「利用できるパソコンの台数は十分である」は2005年に比べ13.7ポイント上昇。一方、『助教』に関連する項目の評価はいずれも30%前後で、あまり高いとはいえない。

《図書館》 ■ 全体

問. あなたは《図書館》をよく利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

■ 2005年(n=2,657)
■ 2009年(n=2,292)

■ 2005年(n=1,972)
■ 2009年(n=1,653)

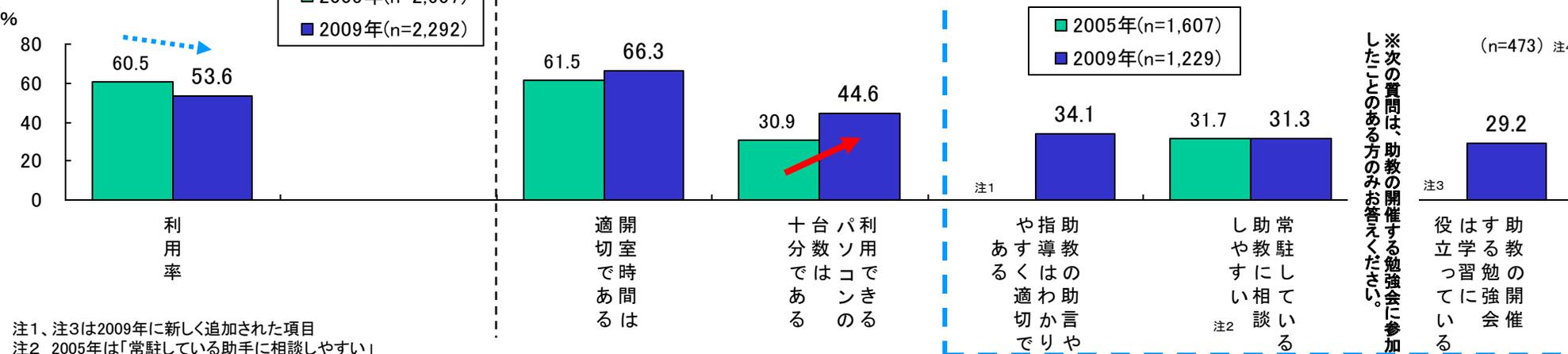


《総合研究室》 ■ 全体

問. あなたは《総合研究室》をよく利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

■ 2005年(n=2,657)
■ 2009年(n=2,292)

■ 2005年(n=1,607)
■ 2009年(n=1,229)



※次の質問は、助教の開催する勉強会に参加したことのある方のみお答えください。
(n=473) 注4

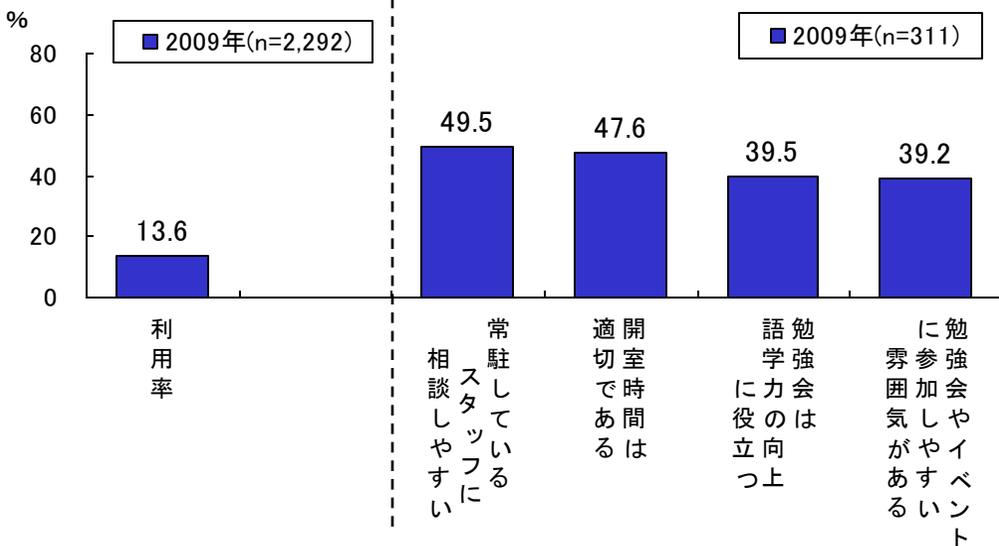
注1、注3は2009年に新しく追加された項目
注2 2005年は「常駐している助手に相談しやすい」
注4 「助教の開催する勉強会は学習に役立っている」については回答者ベースで満足度を算出

- 《GLOBAL SQUARE》の利用率は低く、13.6%。利用者の評価は4割弱～5割弱。
自由記述から《GLOBAL SQUARE》を利用しない理由をみると、「施設そのものを知らない」「聞いたことがない」という記述が600件を超える。
→《GLOBAL SQUARE》を知らない学生が多数存在していると考えられる。
- 《教職支援センター》の利用率は24.9%。利用者の評価は各項目とも5割前後と比較的高い。
自由記述から《教職支援センター》を利用しない理由をみると、「教職をとっていない」「教職に興味がない」という記述があわせて500件を超える。
→学生からは、教職支援センターは“教員志望の学生だけが利用する施設”と認識されている可能性。

問. あなたは《GLOBAL SQUARE》をよく利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。 問. あなたは《教職支援センター》をよく利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

《GLOBAL SQUARE》

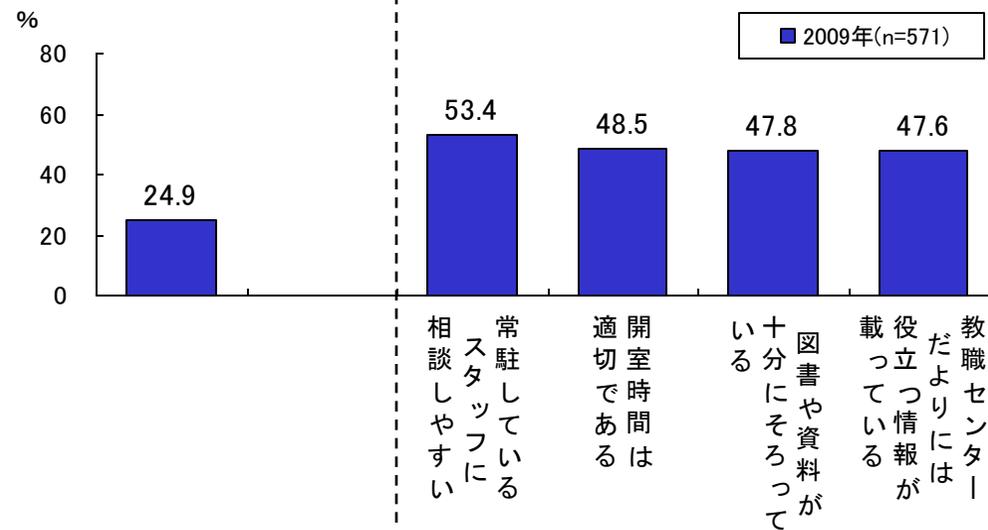
■全体



GLOBAL SQUAREを利用しない理由	件数
存在自体知らない・聞いたことがない	638
興味がないから・関心がないから	197
利用する機会がないから	153
行く必要がないから	101
利用する用事や目的がないから	93
どこにあるか知らないから	67
行きにくいから・入りにくいから	63

《教職支援センター》

■全体

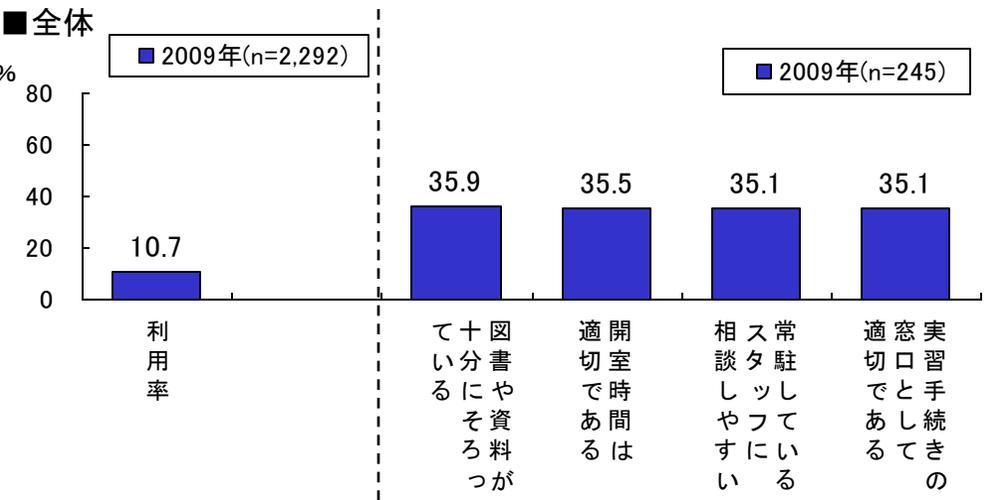


教職支援センターを利用しない理由	件数
教職をとっていないから	399
存在自体知らない・聞いたことがない	149
教職に興味がないから・関心がないから	123
行く必要がないから	115
利用する機会がないから	93
利用する用事や目的がないから	76

- 《実習支援センター》の利用率は低く、10.7%。利用者の評価も4項目とも3割台で、他の施設に比べ全体的に評価が低い。自由記述から《実習支援センター》を利用しない理由をみると、「施設そのものを知らない、聞いたことがない」「どこにあるか知らない」などの記述が多数みられ、《実習支援センター》について認知や理解が不足している学生が多い可能性がうかがえる。
- 短期大学の《一般研究室》の利用率は8.8%で、2005年(8.2%)に引き続き低い。《一般研究室》を利用しない理由としては、「一般研究室の存在そのものを知らない」「場所を知らない」とともに「短期大学部ではないから」という意見が多く、「一般研究室は短期大学の施設である」という意識が浸透している様子が見られる。

問. あなたは《実習支援センター》をよく利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

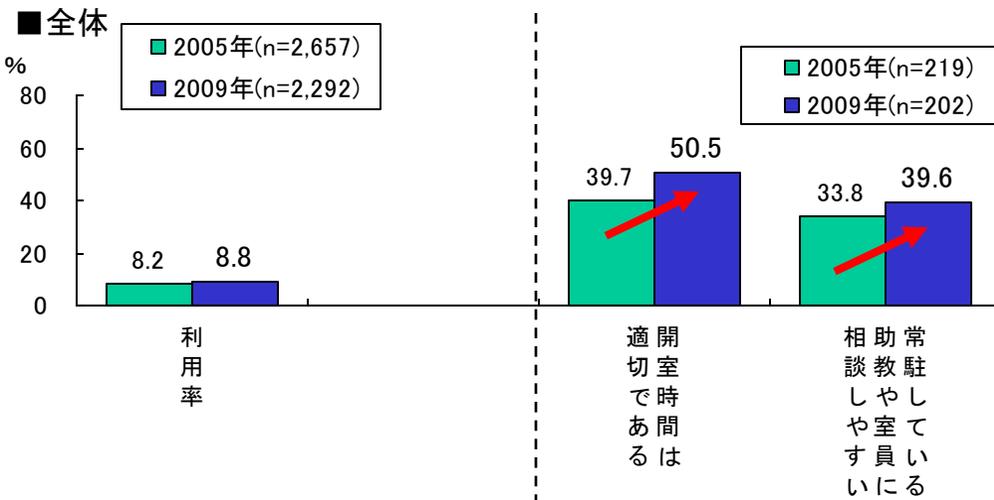
《実習支援センター》



実習支援センターを利用しない理由	件数
存在自体知らない・聞いたことがない	518
利用する機会がないから	148
行く必要がないから	130
実習がないから・教職をとっていないから	129
どこにあるか知らないから	115
利用する用事や目的がないから	101
行かないから・利用したことがないから	75
実習に興味がないから・関心がないから	63

問. あなたは、短期大学の《一般研究室》をよく利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

《一般研究室》



一般研究室を利用しない理由	件数
存在自体を知らないから	319
短期大学部ではないから・文学部だから	315
行く機会がないから	138
場所を知らないから	121
行ったことがない・行かないから	112
利用する用事・目的がないから	104
行く必要がないから	94
他の施設を利用しているから	60

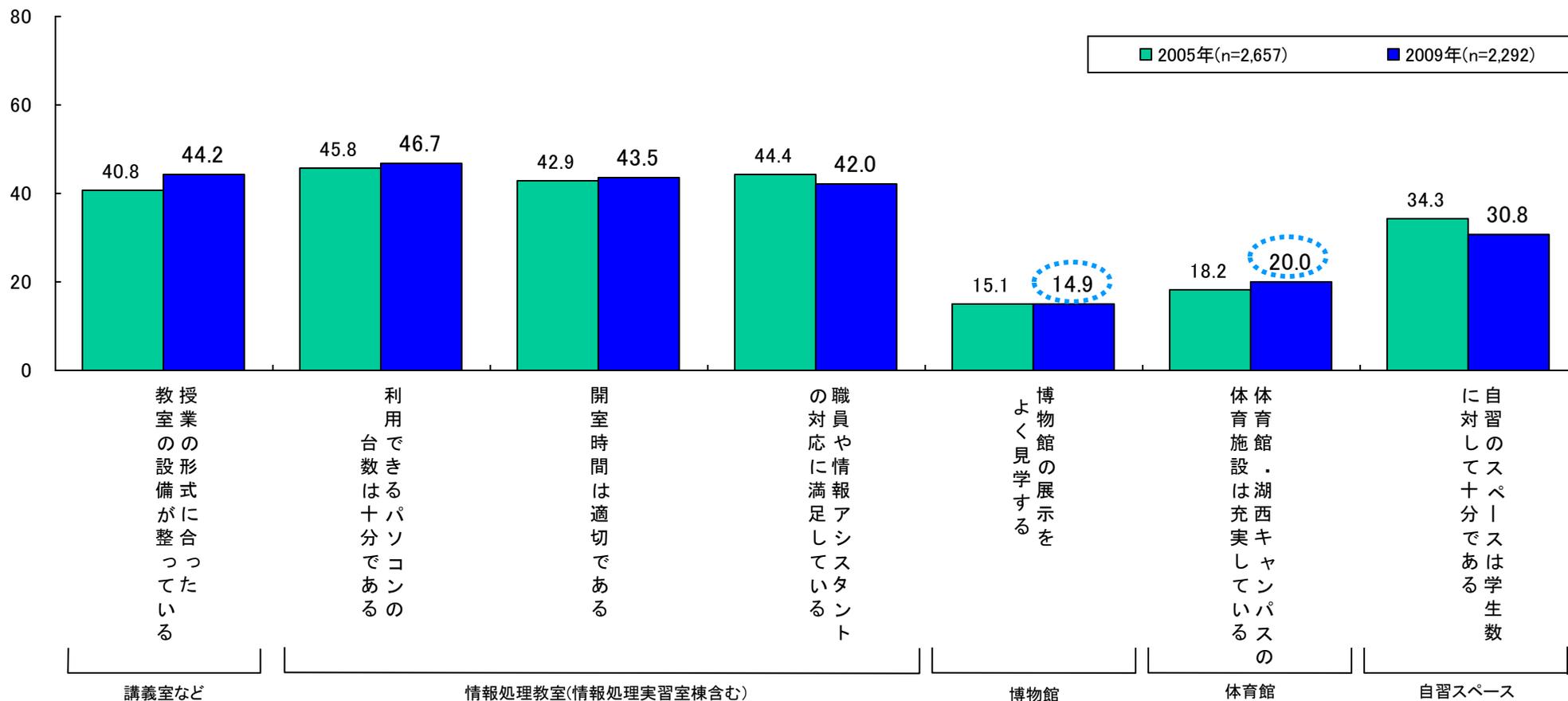
4-6. 教育施設・設備などの評価

■教育施設・設備の中では、《講義室など》と《情報処理教室(情報処理実習室棟含む)》の評価が比較的高い。
一方、《博物館》《体育館》に対する評価は非常に低く、利用者が限定されている可能性がある。

【G 大谷大学の教育施設・設備などについて】

■全体

%



4-7. 教育・学生生活のサポート体制の評価

<教育に関するサポート体制>

■ 学生に対する情報提供に関連した項目が上位。一方、TA制度や外国語習得サポートに関する項目の評価は2割台と低い。

■ 2005年と比べると、すべての項目で評価は上昇。

<学生生活に関するサポート体制>

■ ほとんどの項目で評価は上昇しているものの、2割以下の低い評価にとどまっている項目が多い。

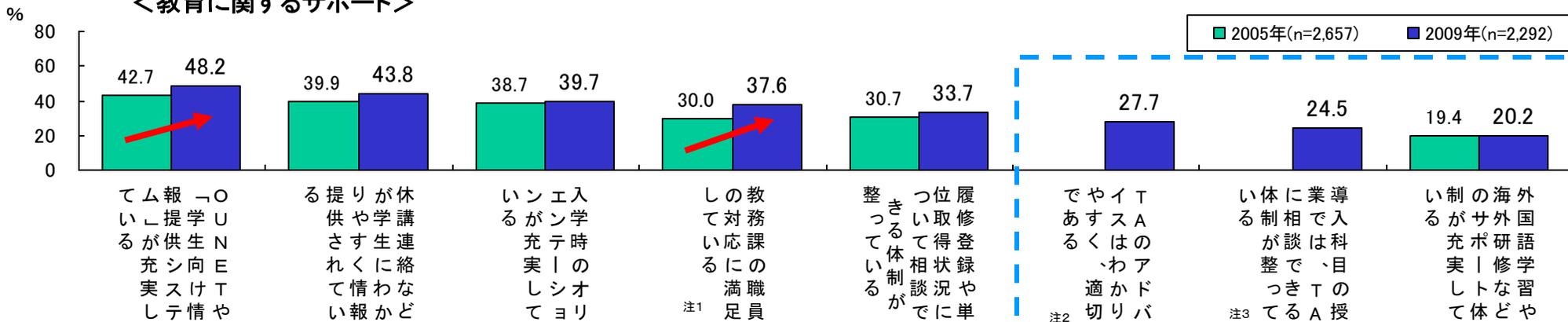
→ 学生生活に関するサポート制度の存在自体が、学生に認知されていない可能性も考えられる。

【D 大谷大学の教育・学生生活のサポート体制について】

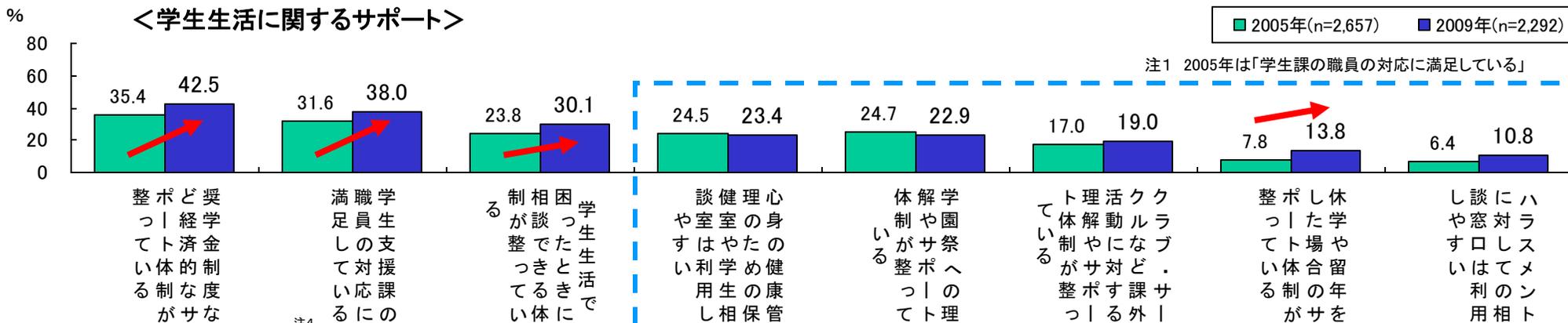
■ 全体

注1 2005年は「教務部の職員の対応に満足している」
 注2、注3は2009年に新しく追加された項目
 注4 2005年は「学生課の職員の対応に満足している」

<教育に関するサポート>



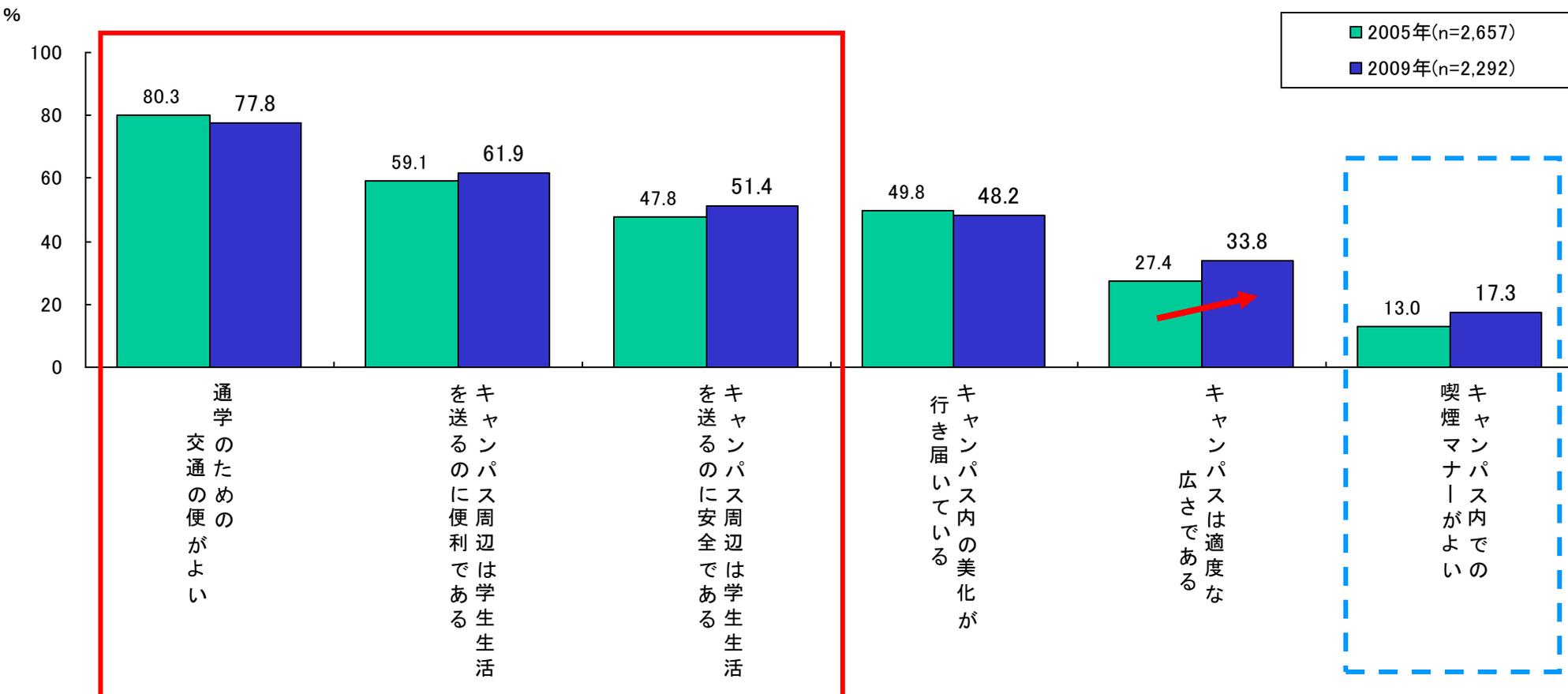
<学生生活に関するサポート>



- 「通学のための交通の便がよい」「キャンパス周辺は学生生活を送るのに便利である」「キャンパス周辺は学生生活を送るのに安全である」など、大谷大学への志願理由として上位にあげられていた『大学の立地』と関連する項目の評価が高い。
- 『喫煙マナー』については、2005年に比べると若干改善されてはいるものの、評価は1割台と低い。

【H その他】

■全体



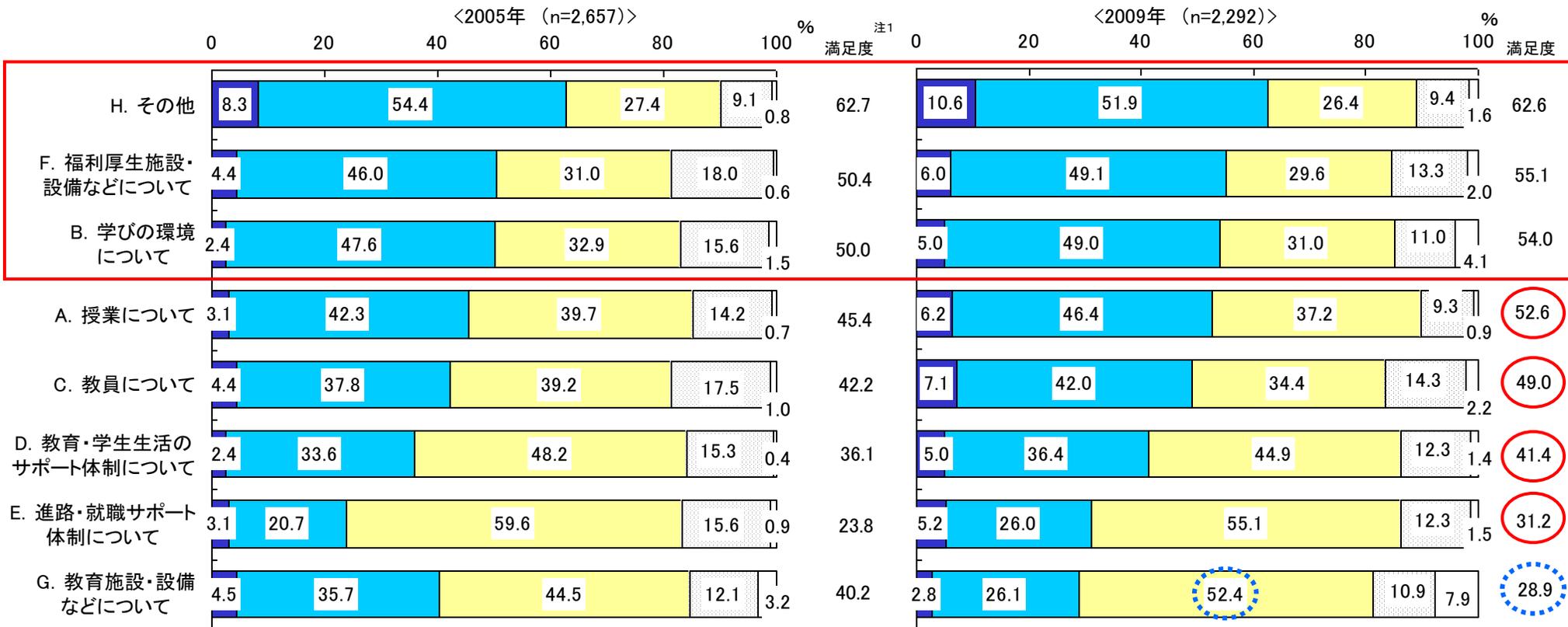
5. 大谷大学に対する満足度

5-1. 各カテゴリーの満足度

- 満足度上位の3カテゴリーは、2005年と同じく「H. その他」「F. 福利厚生施設・設備など」「B. 学びの環境」。
- 項目別評価が全体的に上昇していた「A. 授業」「C. 教員」「D. 教育・学生生活のサポート体制」「E. 進路・就職サポート体制」では、満足度も2005年に比べ5ポイント以上上昇。
- 唯一、「G. 教育施設・設備など」の満足度が低下。

→2009年に評価対象として追加した施設(GLOBAL SQUAREや実習支援センターなど)が、多くの学生にとってあまり身近でなかったことが影響し、「どちらともいえない」の増加につながったためと考えられる。「満足していない」が減少していることから、教育施設・設備に明確な不満をもつ学生が大幅に増えたとは考えにくい。

■ 全体



注1 満足度＝「とても満足している」＋「まあ満足している」

注2 「満足していない」＝「あまり満足していない」＋「まったく満足していない」

5-2. 現在の満足度

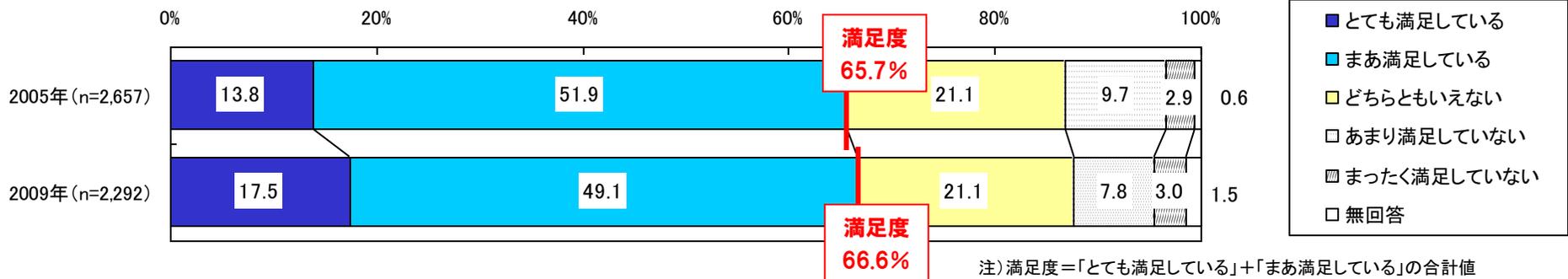
■大谷大学に対する現在の満足度は、66.6%で、2005年(65.7%)とほぼ同程度。

■学科別にみると、

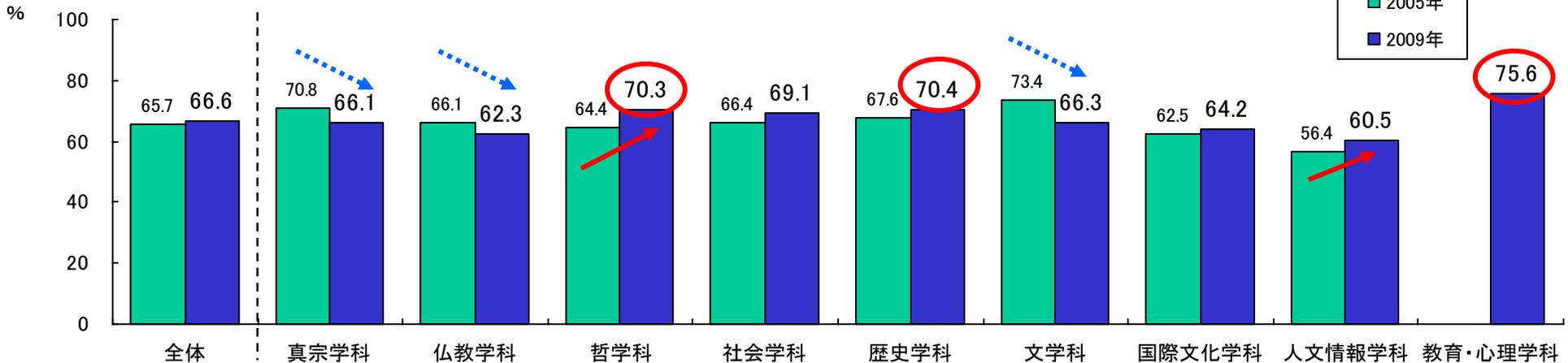
- 哲学科、歴史学科、教育・心理学科：満足度が7割を超え、比較的高い。特に、教育・心理学科は75.6%と、9学科中最も高い。また、哲学科の満足度は2005年から5.9ポイント上昇。
- 人文情報学科：満足度は2005年から4.1ポイント上昇しているが、全体平均には届かず。
- 真宗学科、仏教学科、文学科：2005年と比べて満足度は低下。特に文学科は7.1ポイントと低下の幅が大きい。

Q11 あなたは大谷大学に入学してよかったと思いますか。次の中から、あなたの気持ちに最も近いもの1つに○をつけてください。

■全体



■学科別 現在の満足度の経年比較



注) グラフ中の数値は各年の「現在の満足度」。

5-3. 各カテゴリーの満足度と現在の満足度（学科別）

■現在の満足度とカテゴリーに対する満足度との関係を学科別にみると、現在の満足度が最も高い教育・心理学科(75.6%)では、ほとんどのカテゴリーの満足度が全体を大きく上回っている。

→各カテゴリーに対する高い評価が現在の満足度(の高さ)につながっていると考えられる。

■反対に、現在の満足度が最も低い人文情報学科(60.5%)では、「A. 授業」「B. 学びの環境」「C. 教員」「G. 教育施設・設備」に対する満足度が全体より10ポイント前後低くなっている。

→『学び』と関連する分野への満足度が現在の満足度に影響している様子が見られる。

■学科別

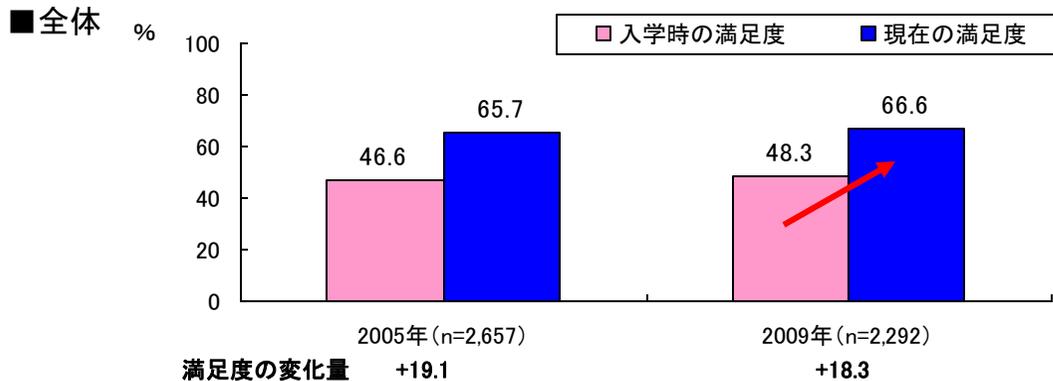
学科別		回答者数 (n)		現在の満足度 注1		注2																			
						A 授業について		B 学びの環境について		C 教員について		E 進路・就職サポート		F 福利厚生施設・設備		G 教育施設・設備など		D ポート・学生生活について		H その他					
						09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差		
全体		2,657	2,292	66.6	+0.9	52.6	+7.2	54.0	+4.0	49.0	+6.8	31.2	+7.4	55.1	+4.7	28.9	-11.3	41.4	+5.3	62.6	-0.1				
学科別	真宗学科	325	245	66.1	-4.7	53.5	+1.2	51.0	+1.5	58.0	+5.7	19.2	+4.4	52.2	+4.5	27.3	-15.2	37.6	+3.8	53.5	-2.2				
	仏教学科	227	183	62.3	-3.8	52.5	+4.9	55.2	+7.2	53.0	+10.3	22.4	+1.7	56.8	+5.3	32.8	-8.6	45.4	+9.3	62.8	+0.7				
	哲学科	219	209	70.3	+5.9	56.5	+9.0	50.2	+1.8	52.6	+1.0	30.6	+6.9	49.3	+1.8	24.4	-12.6	37.3	+3.1	61.7	+4.2				
	社会学科	539	395	69.1	+2.7	54.7	+8.5	53.2	+1.4	46.8	+6.9	34.7	+8.9	58.5	+11.0	29.6	-9.2	42.3	+3.9	66.1	+0.4				
	歴史学科	284	284	70.4	+2.8	60.2	+7.7	61.3	+5.0	53.9	+8.8	31.3	+8.4	52.5	+2.1	33.1	-18.3	37.7	+0.7	63.4	-3.5				
	文学科	293	264	66.3	-7.1	55.7	+2.1	59.5	+2.8	48.5	-1.3	32.2	+4.6	62.5	+4.8	32.2	-25.1	42.8	+4.6	64.4	-0.4				
	国際文化学科	403	355	64.2	+1.7	45.9	+8.2	54.6	+1.7	41.1	+4.1	37.5	+10.9	51.8	-1.1	27.0	-9.7	38.6	-2.6	63.7	-4.8				
	人文情報学科	367	261	60.5	+4.1	39.8	+8.2	44.4	+7.6	40.6	+12.3	28.7	+3.1	56.7	+7.1	19.5	-3.1	44.8	+17.3	60.5	+4.1				
教育・心理学科		-	86	75.6	-	64.0	-	59.3	-	62.8	-	47.7	-	54.7	-	46.5	-	59.3	-	70.9	-				

注1 現在の満足度 = 「とても満足している」+「まあ満足している」の合計値
 注2 A~Hの各カテゴリーの満足度 = 「とても満足している」+「まあ満足している」の合計値
 全体より5ポイント以上高い
 全体より5ポイント以上低い

5-4. 入学時の満足度と現在の満足度の比較

- 現在の満足度(66.6%)と、入学時の満足度(48.3%)を比較すると、現在の満足度は20ポイント近く大きく上昇。
- 学科別にみても、すべての学科で、現在の満足度は入学時の満足度より10ポイント以上上昇。
- 入学時の満足度別に現在の満足度をみると、入学時の満足度が高い学生ほど、現在の満足度も高くなる傾向。入学時の満足度が高い(「ぜひ入学したいと思った」「まあ満足して入学した」)学生は、現在の満足度も8割台と高い。一方、入学時の満足度が低い(「どちらかといえば不満だった」「不満だった」)学生では、現在の満足度も5割に達せず低い。
→入学時の満足度が低い学生でも、学生生活に前向きに取り組めるような支援・指導の充実が必要。

<入学時の満足度と現在の満足度の比較>

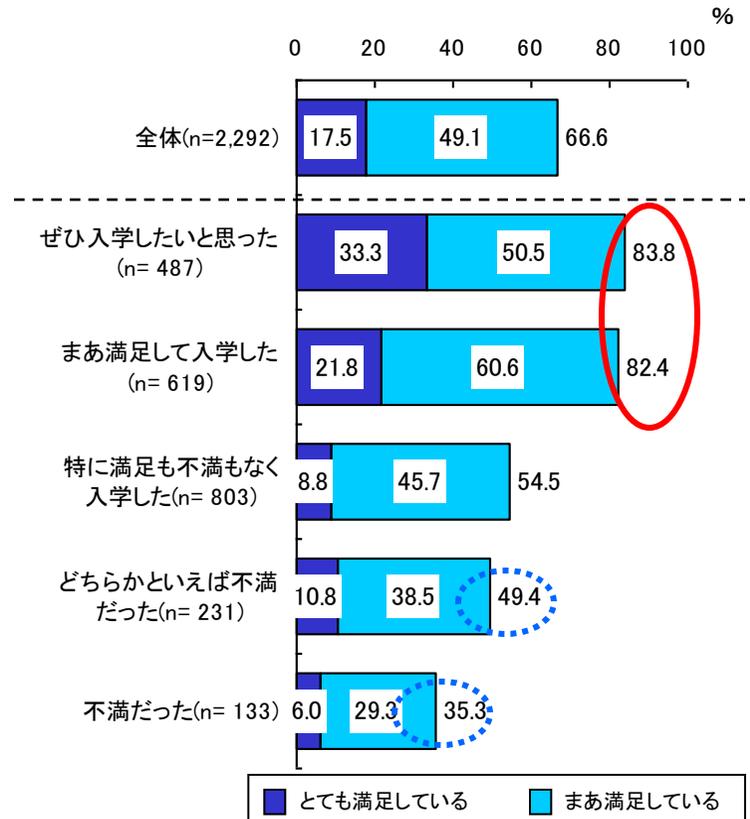


■学科別

学科名	回答者数(n)	入学時の満足度	現在の満足度	満足度の変化量
真宗学科	245	48.6%	66.1%	+17.5
仏教学科	183	46.4%	62.3%	+15.9
哲学科	209	54.1%	70.3%	+16.2
社会学科	395	43.0%	69.1%	+26.1
歴史学科	284	57.0%	70.4%	+13.4
文学科	264	48.9%	66.3%	+17.4

学科名	回答者数(n)	入学時の満足度	現在の満足度	満足度の変化量
国際文化学科	355	41.4%	64.2%	+22.8
人文情報学科	261	49.4%	60.5%	+11.1
教育・心理学科	86	60.5%	75.6%	+15.1

■入学時の満足度別 現在の満足度



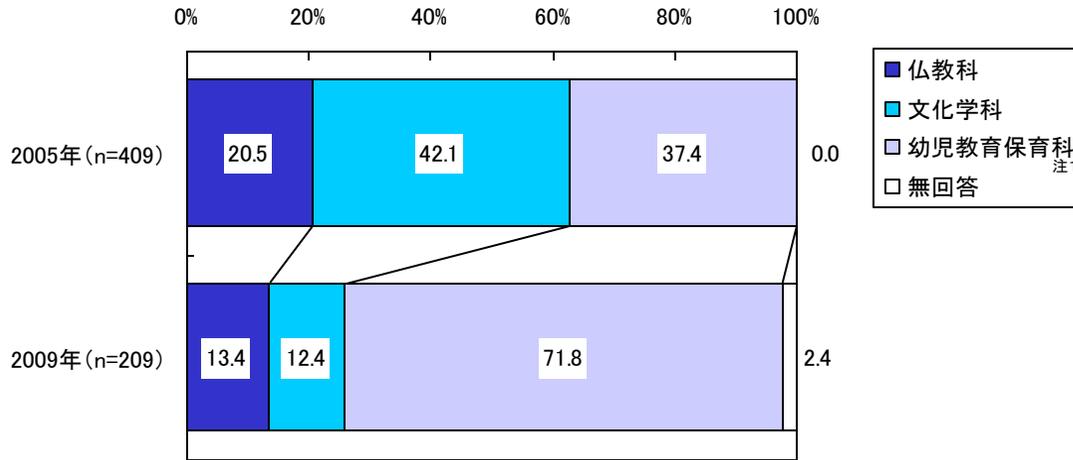
注1 入学時の満足度とは、入学した時の気持ちとして「ぜひ入学したいと思った」もしくは「まあ満足して入学した」と回答した人の割合
 注2 現在の満足度とは、現在、大谷大学に対して「とても満足している」もしくは「まあ満足している」と回答した人の割合
 注3 満足度の変化量＝「現在の満足度」－「入学時の満足度」

【短期大学部編】

※経年比較の際の注意点

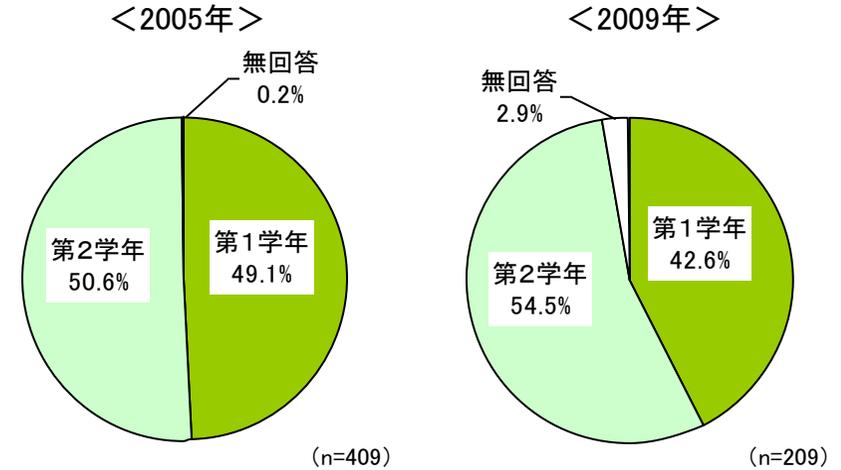
文化学科の募集停止に伴い、2005年と2009年では回答者の学科別構成比が大きく変化している。このことが、全体結果の変化にも影響していると考えられ、結果の読み取りの際には注意が必要。

●学科

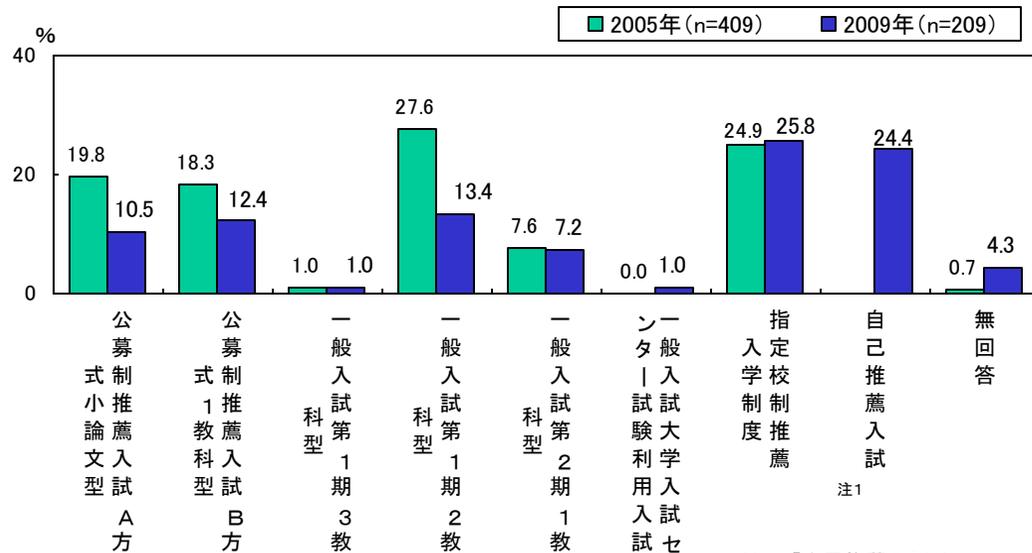


注1 2005年は「幼児教育科」

●学年



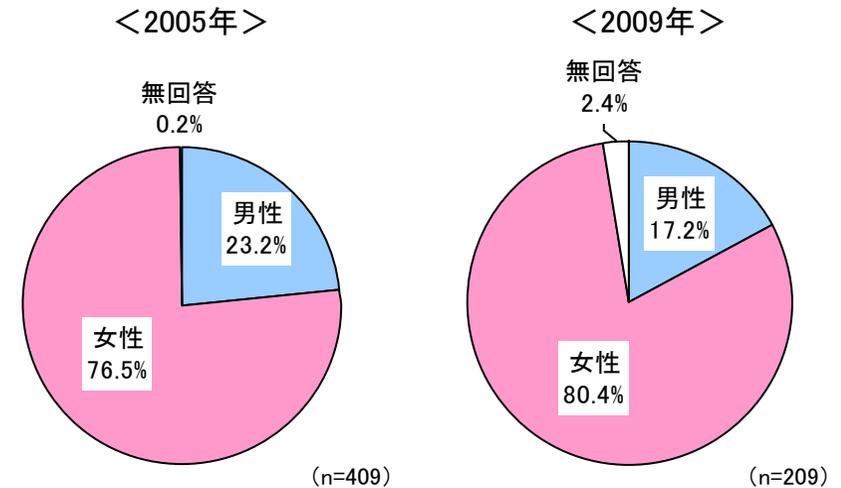
●入学した入試方式



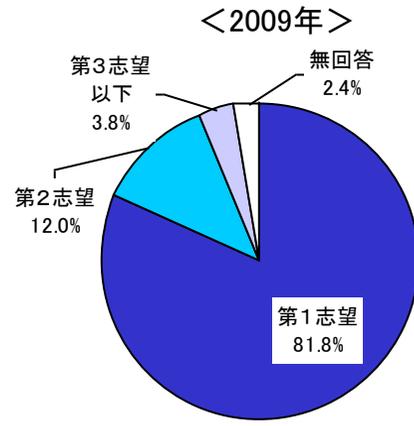
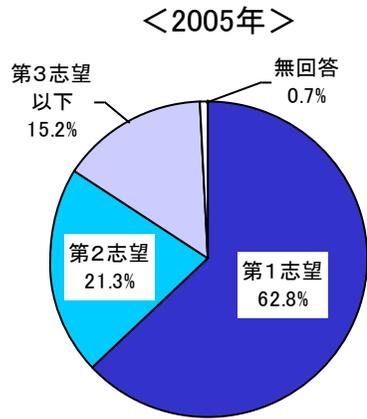
注1

注1 「自己推薦入試」は2009年のみ

●性別

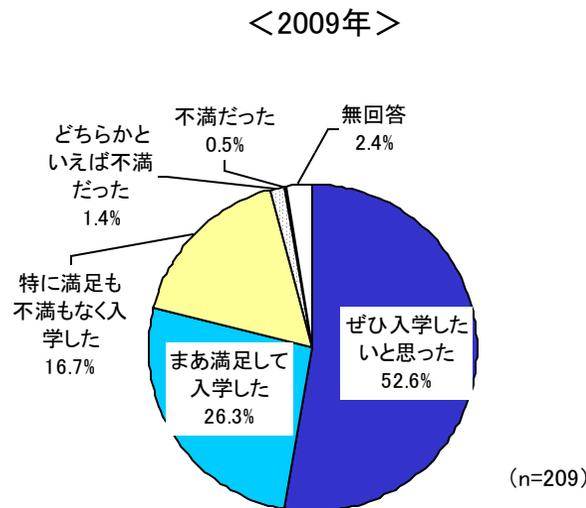
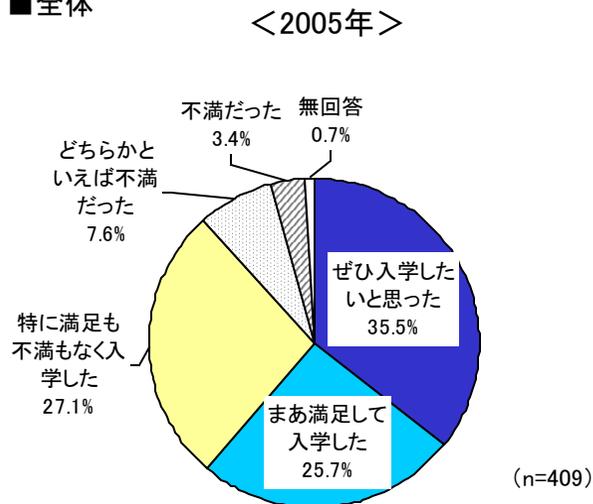


●受験時の志望順位



●入学した時の気持ち

■全体



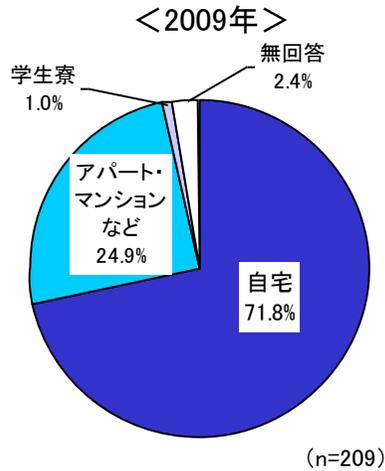
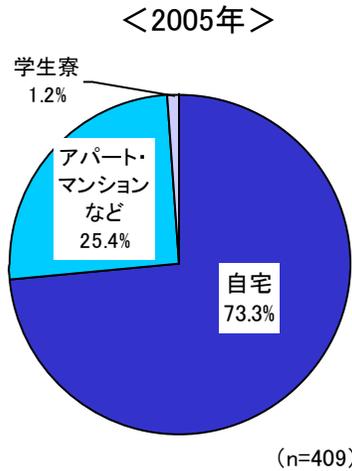
■学科別

		09年: %			
		回答者数 (n)		入学時の満足度 注1	
年度	05年	09年	09年	05年との差	
全体	409	209	78.9	+17.8	
学科別	仏教科	84	28	78.6	+27.4
	文化学科	172	26	50.0	+5.2
	幼児教育保育科	153	150	86.7	+1.7

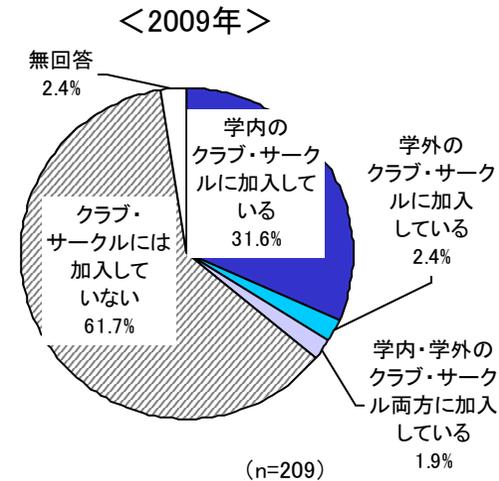
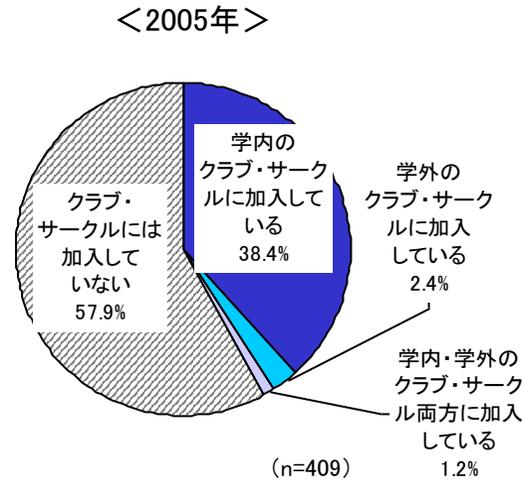
■ 全体より10ポイント以上高い
 ■ 全体より10ポイント以上低い

注1 入学時の満足度 = 「ぜひ入学したいと思った」 + 「まあ満足して入学した」の合計値。

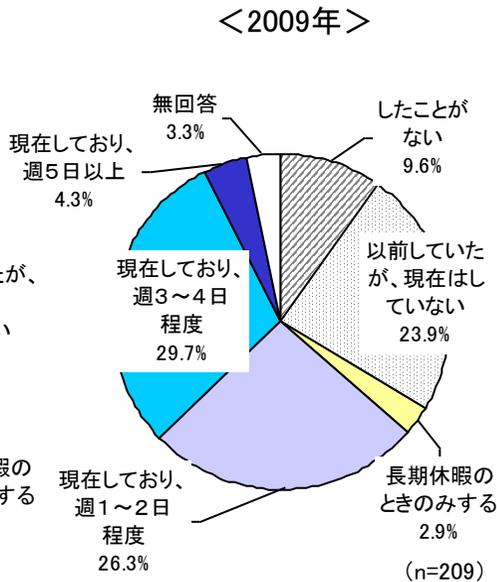
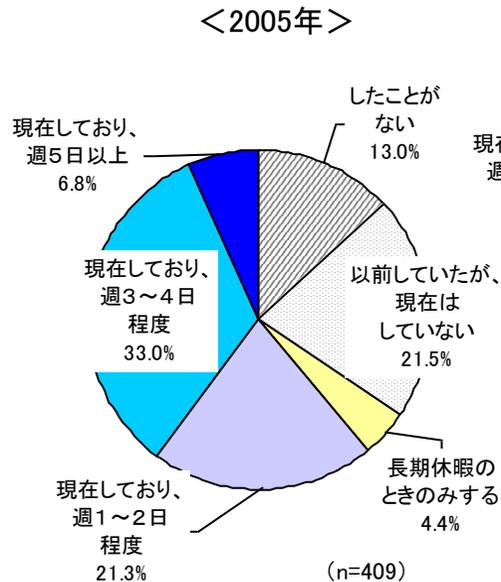
● 居住形態



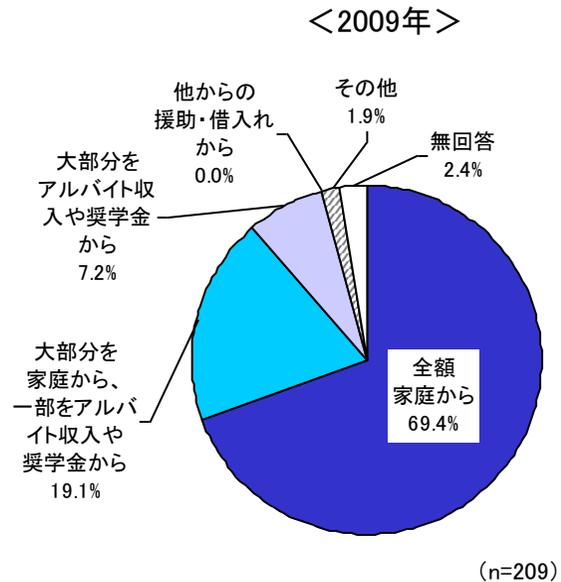
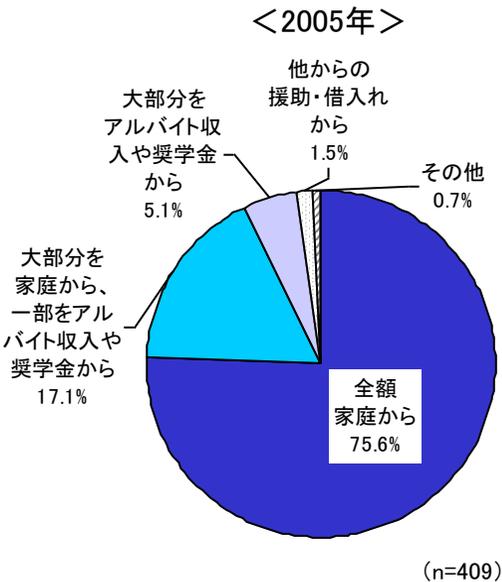
● クラブ・サークル活動参加



● アルバイト経験



● 学費の負担者

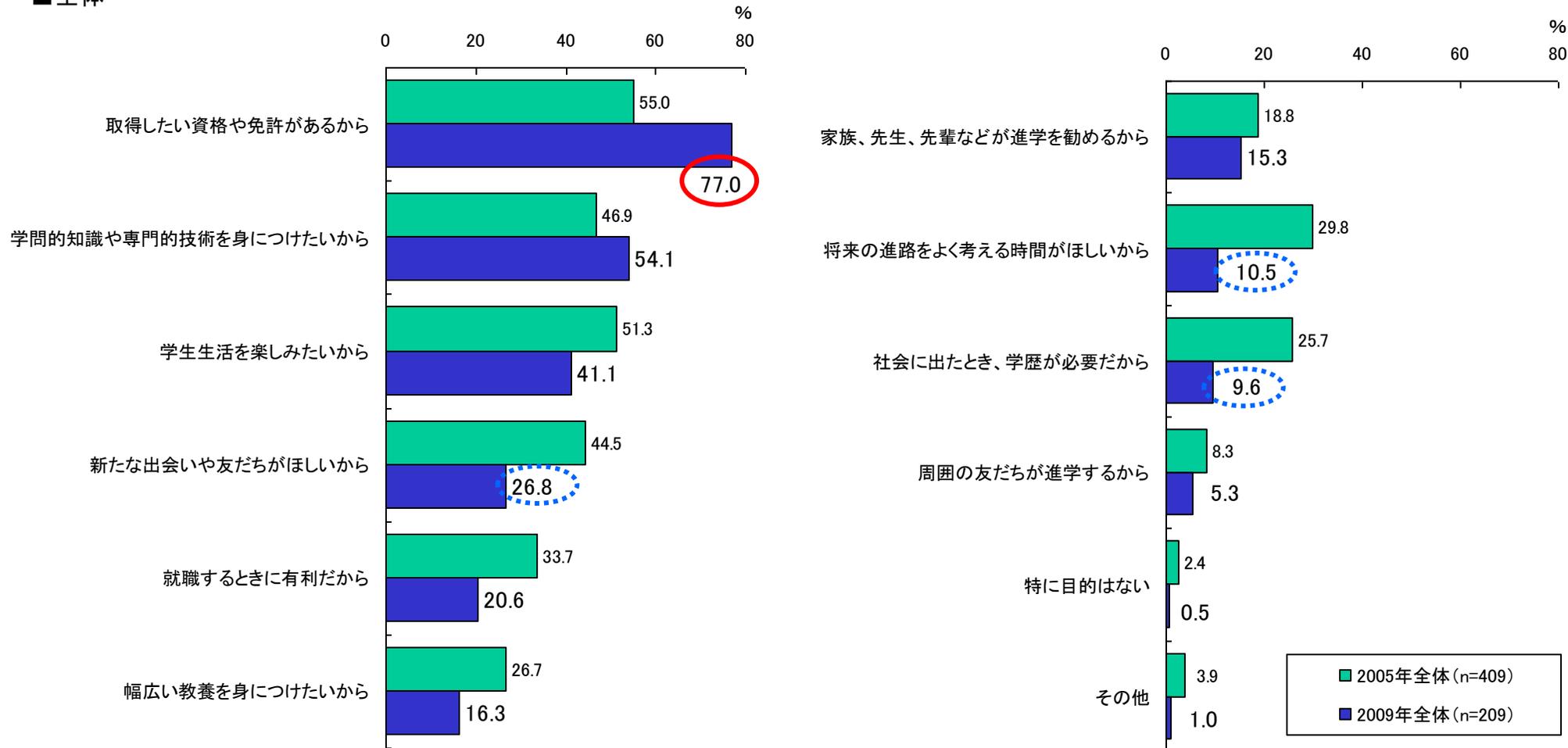


1. 大谷大学短期大学部への進学について

■ 大学進学理由としては、8割近い学生が「取得したい資格や免許があるから」をあげており、短期大学部学生の資格取得に対する関心の高さがうかがえる。次いで「学問的知識や専門的技術を身につけたいから」「学生生活を楽みたいから」が大学進学理由の上位にあがっている。

Q1 あなたが大学に進学しようと思った理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■ 全体

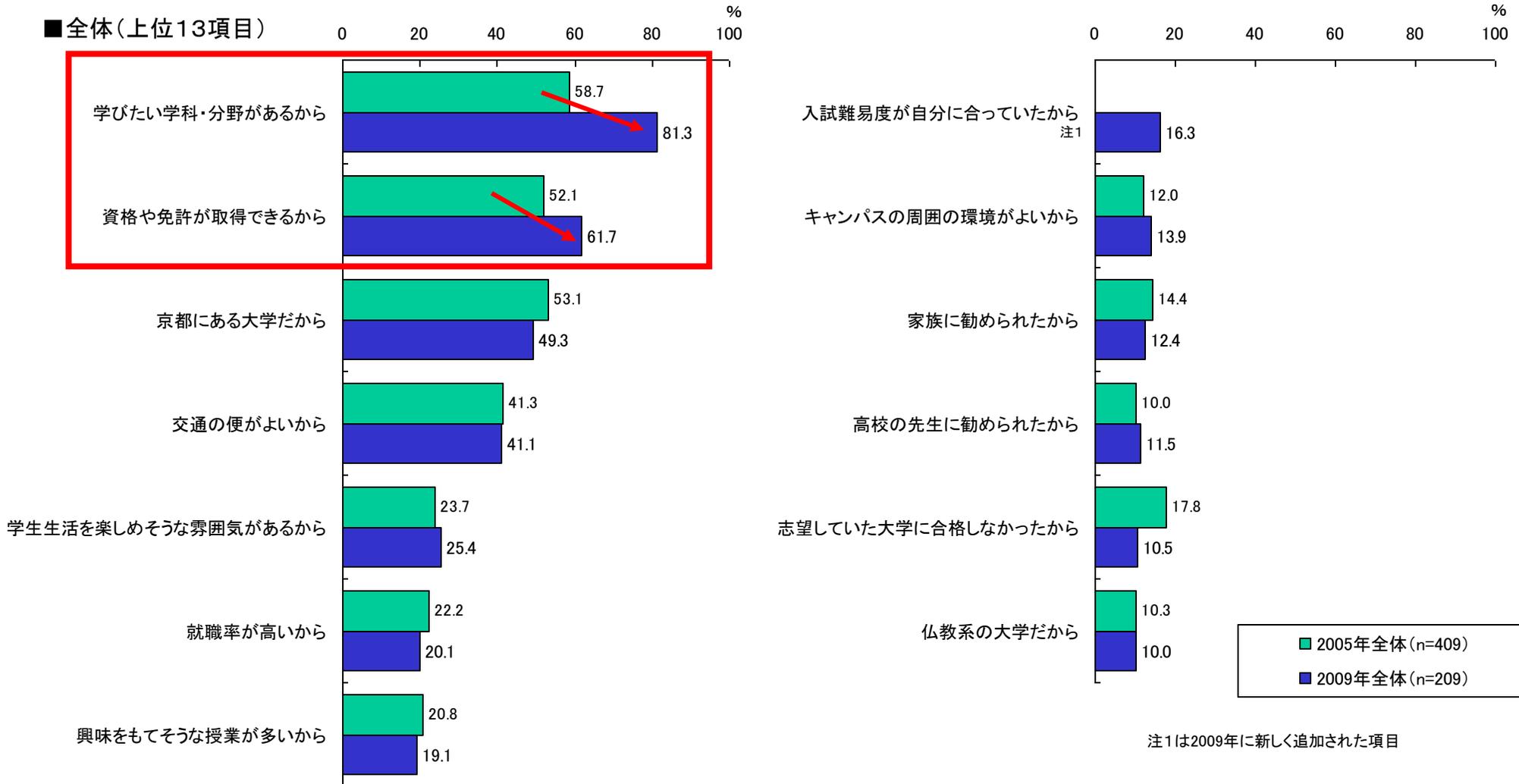


1-2. 大谷大学短期大学部への志願理由

■大谷大学への志願理由は、「学びたい学科・分野があるから」「資格や免許が取得できるから」が上位を占め、2005年に比べ大きく増加。
 →短期大学部生の進学、大学選択においては『学びの内容』とその先にある『資格・免許の取得』が重要な要素となっていると考えられる。

Q2-1 あなたが大谷大学を志願した理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■全体(上位13項目)



注1は2009年に新しく追加された項目

1-2. 大谷大学短期大学部への志願理由（学科別）

■大谷大学への志願理由は、学科間で顕著な差がみられる。

- 仏教科:「仏教系の大学だから」が志願理由第1位。「家族に勧められたから」も重要なポイント。
- 文化学科:「京都にある大学だから」「交通の便がよいから」が上位で、『大学の立地』を評価。また「志望していた大学に合格しなかったから」も2割強あげられており、他学科より高い。
- 幼児教育保育科:「学びたい学科・分野があるから」「資格や免許が取得できるから」が高く、『学びの内容』と『資格・免許取得』に対する期待が大きい。

■学科別(上位13項目)

09年: %

年度	回答者数 (n)		科学 か・び ら分 たい が学 あ		ら取 得 で や 免 許 か が		学京 都 だ か ら あ る 大		い交 通 の 便 が よ		ら困 し 学 生 が そ う な を か		か就 職 率 が 高 い		い興 味 を も て 多 そ		
	05年	09年	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	
全体	409	209	81.3	+22.6	61.7	+9.6	49.3	-3.8	41.1	-0.2	25.4	+1.7	20.1	-2.1	19.1	-1.7	
学科別	仏教科	84	28	57.1	+11.9	39.3	-4.7	39.3	+2.4	17.9	+2.4	17.9	+0.0	0.0	-2.4	10.7	-9.5
	文化学科	172	26	46.2	+9.0	7.7	-15.6	69.2	+8.2	46.2	+9.0	26.9	+7.1	0.0	-2.3	23.1	+7.4
	幼児教育保育科	153	150	92.7	+2.5	77.3	-11.6	46.7	-6.2	45.3	-14.8	26.0	-5.4	28.0	-27.6	20.0	-6.8

年度	回答者数 (n)		い自 入 分 試 か に 難 易 つ 度 が		よ周 い 困 ヤ の 環 パ 境 ス が		れ家 族 に 勧 め ら		ら勤 め 校 の 先 生 か		な大 志 か 学 望 つ に し た 合 て か 格 い ら した		だ仏 教 系 の 大 学		
	05年	09年	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	
全体	409	209	16.3	-	13.9	+1.9	12.4	-2.0	11.5	+1.5	10.5	-7.3	10.0	-0.3	
学科別	仏教科	84	28	7.1	-	10.7	+4.7	28.6	-5.9	7.1	-3.6	3.6	-2.4	67.9	+26.2
	文化学科	172	26	34.6	-	7.7	-4.5	15.4	+4.9	15.4	+4.4	23.1	-5.4	3.8	+1.5
	幼児教育保育科	153	150	13.3	-	15.3	+0.3	9.3	+1.5	12.0	+3.5	10.0	-2.4	0.7	-1.3

■ 全体より10ポイント以上高い
■ 全体より10ポイント以上低い

2. 建学の理念に対する意識と大学での取り組み

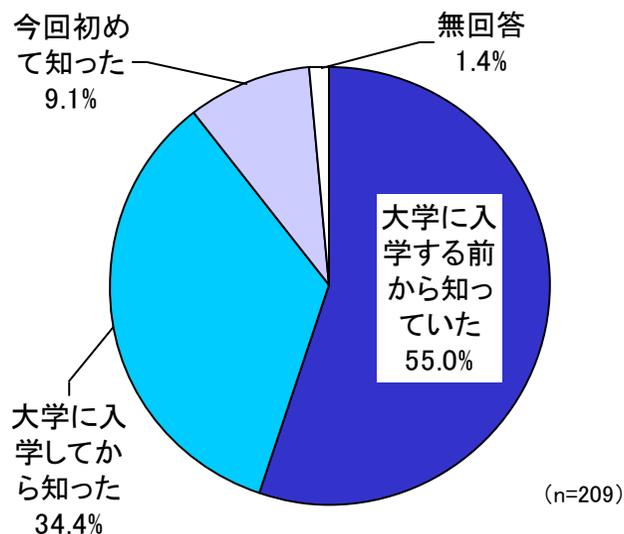
- 建学理念の認知度は、大学入学前と入学後を合わせると9割近くに達し、非常に高い。
- 建学の理念を感じる時は、「人間学」や「仏教と人間」の授業」が67.5%と突出して高い。また、上位3項目すべてが『授業』と関連した項目であり、短期大学部学生の多くは主に『授業』の中で建学の理念に触れていると思われる。

大谷大学には、【人間が大好きです。】というキャッチフレーズでうたわれるように、「仏教精神にもとづいた人間と人間の関係（自分との関係、他者との関係）を重視した教育を行い、仏教ないし人間にかかわる諸学問の研究成果を広く社会に公開する」という建学の理念があります。これについて、以下の設問に教えてください。

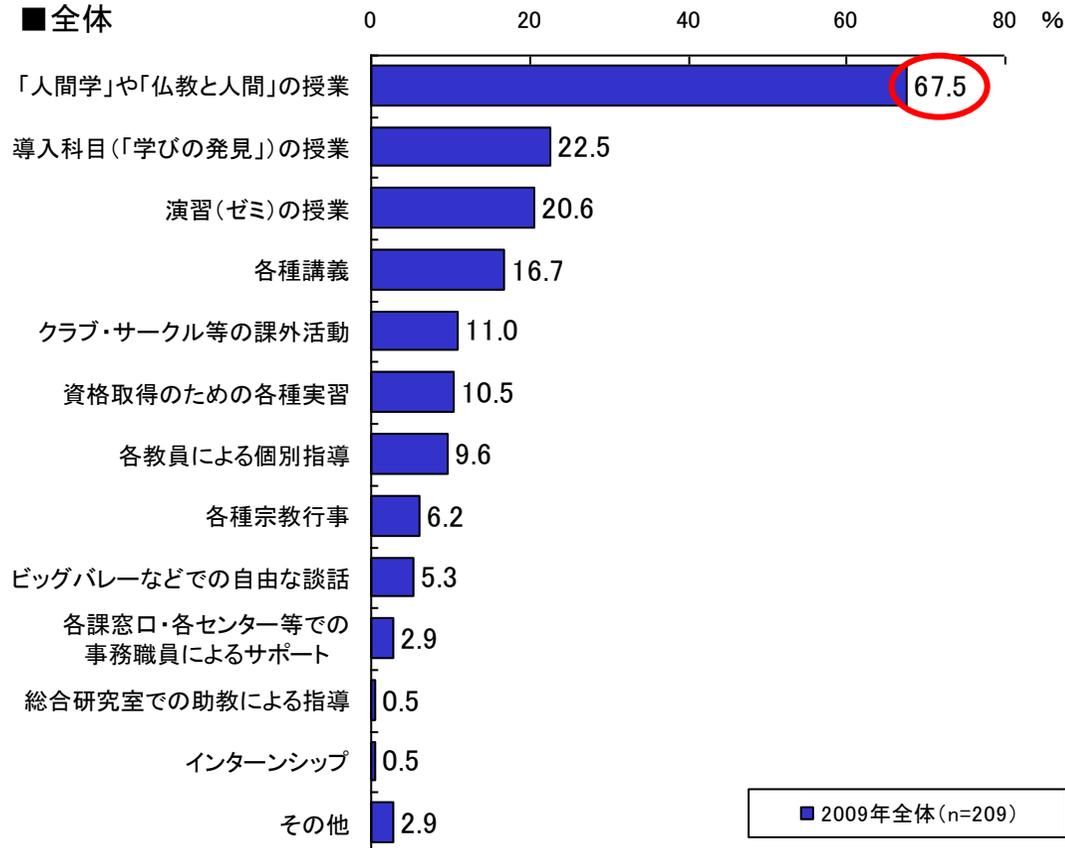
Q10-1 あなたは、上記のような建学の理念について知っていましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

Q10-2 あなたは、建学の理念で言われる本学の人間関係重視の姿勢を、どのような機会に感じるがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■全体



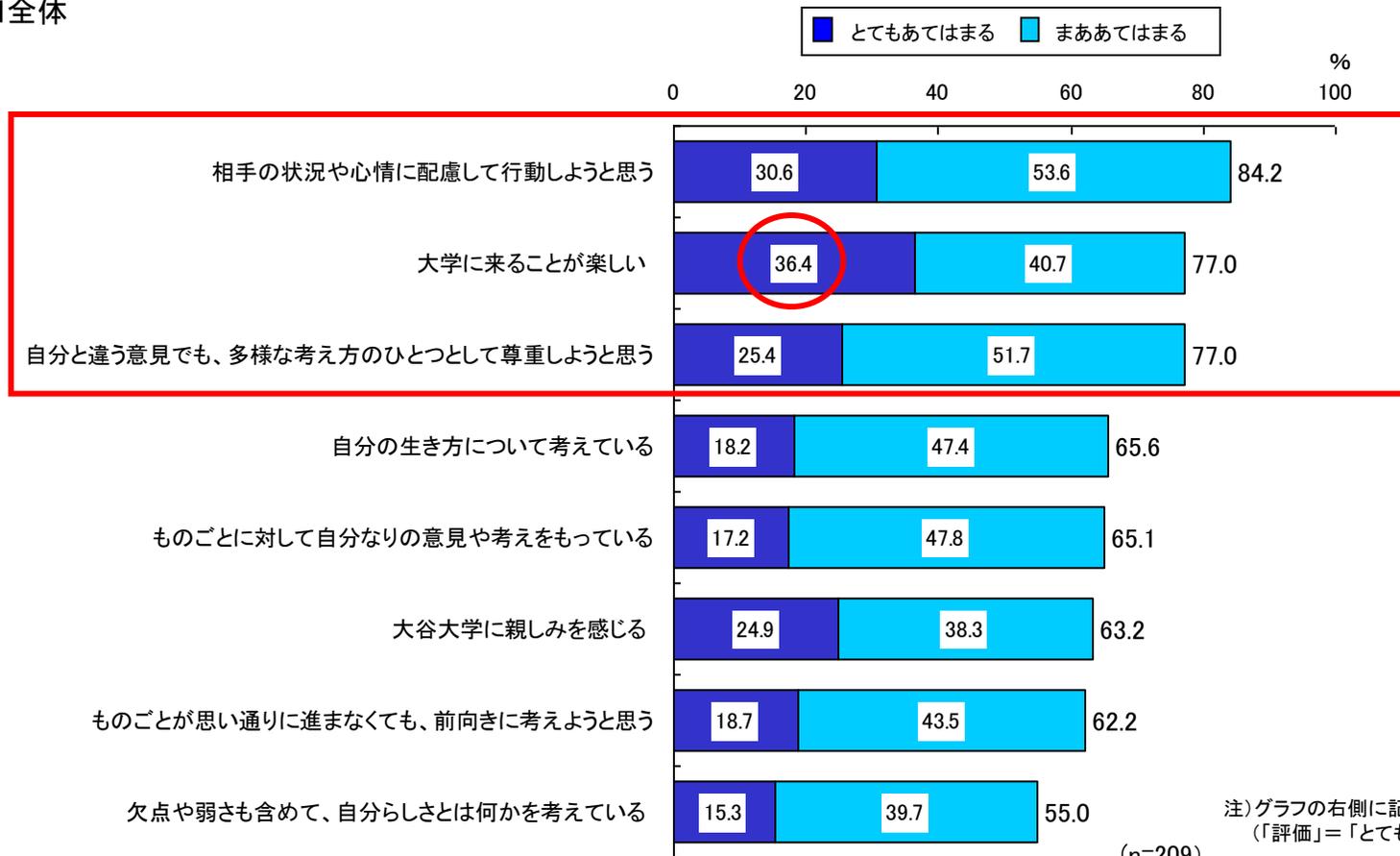
■全体



- 入学後の自己認識・評価では、「相手の状況や心情に配慮して行動しようと思う」「大学に来ることが楽しい」「自分と違う意見でも、多様な考え方のひとつとして尊重しようと思う」の3項目が7割を超える高評価。特に「大学に来ることが楽しい」は、「とてもあてはまる」という強い肯定的評価が36.4%と、8項目中最も高い。
- すべての項目で評価が5割を超えていることから、学生生活を通じて大谷大学に愛着を持ち、大学のめざす人間像につながる考え方や資質を身につけている学生が多いと考えられる。

Q4 大谷大学に入学してからこれまでの間において、あなたは以下の項目についてどの程度自分にあてはまると感じますか。それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

■ 全体



注) グラフの右側に記載されている数値は、各項目に対する「評価」(「評価」=「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の合計値)を示す。

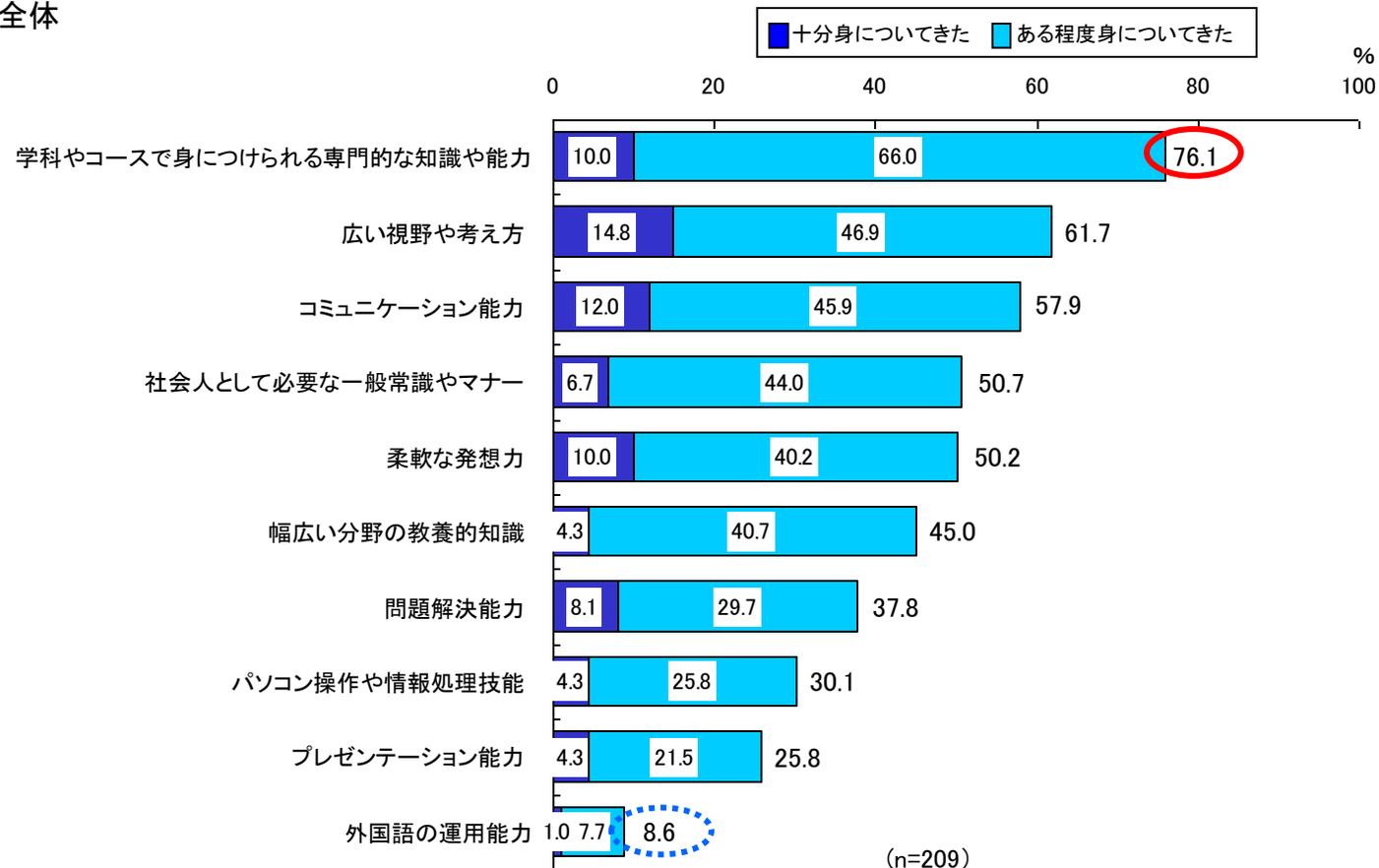
(n=209)

2-4. 身についた能力や知識・技能

- 受験・入学の段階から『学びの内容』や『資格・免許の取得』に対する関心・意欲の高い学生が多いためか「学科やコースで身につけられる専門的な知識や能力」が身についたと考える学生が最も多く、7割を超えている。
- 一方、「外国語の運用能力」については肯定的評価が1割にも満たず、多くの学生にとって修得感が低いと考えられる。

Q3 あなたは、以下の能力や知識・技能について、大谷大学に入学してからこれまでの間にどの程度身につけてきたと思いますか。それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

■全体



(n=209)

注) グラフの右側に記載されている数値は「十分身につけてきた」+「ある程度身につけてきた」の合計値。

3. 大谷大学での学業について

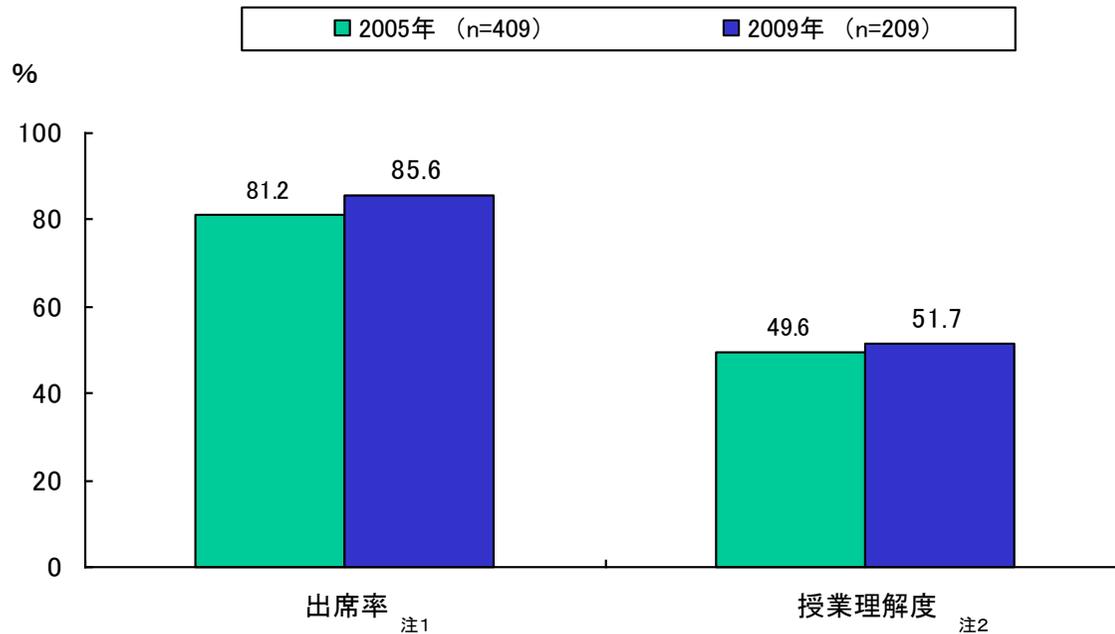
3-1. 授業出席率と授業理解度

- 授業出席率は2005年より4.4ポイント上昇し、8割を大きく上回っている。一方、授業理解度はわずかに上昇しているものの、5割台にとどまっている。
 - 授業理解度と授業出席率との関係を見ると、授業出席率が高くなるほど授業理解度も高くなるという関係がみられる。
- ただし、ほとんど出席している学生の授業理解度は2005年より6.5ポイント低下しており、授業に出席しているものの、授業を理解できないと感じている学生が増加している可能性がうかがえる。

Q5 今年度のあなたの授業への平均出席率は何の程度ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

Q7 あなたは、現在受講している授業の内容をどの程度理解できていると思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

■ 全体



注1 出席率＝「ほとんど出席している」＋「8～9割程度出席している」

注2 授業理解度＝「ほぼすべての授業が理解できる」＋「だいたいの授業は理解できる」

■ 授業出席率別 授業理解度

		09年：%		05年との差
		05年	09年	
年度		05年	09年	09年
全体		409	209	51.7
出席率別の授業へ	ほとんど出席	208	116	56.1
	8～9割程度出席	124	63	49.2
	7割以下の出席	77	29	41.4

全体より10ポイント以上高い

全体より10ポイント以上低い

3-1. 授業出席率と授業理解度(学科別)

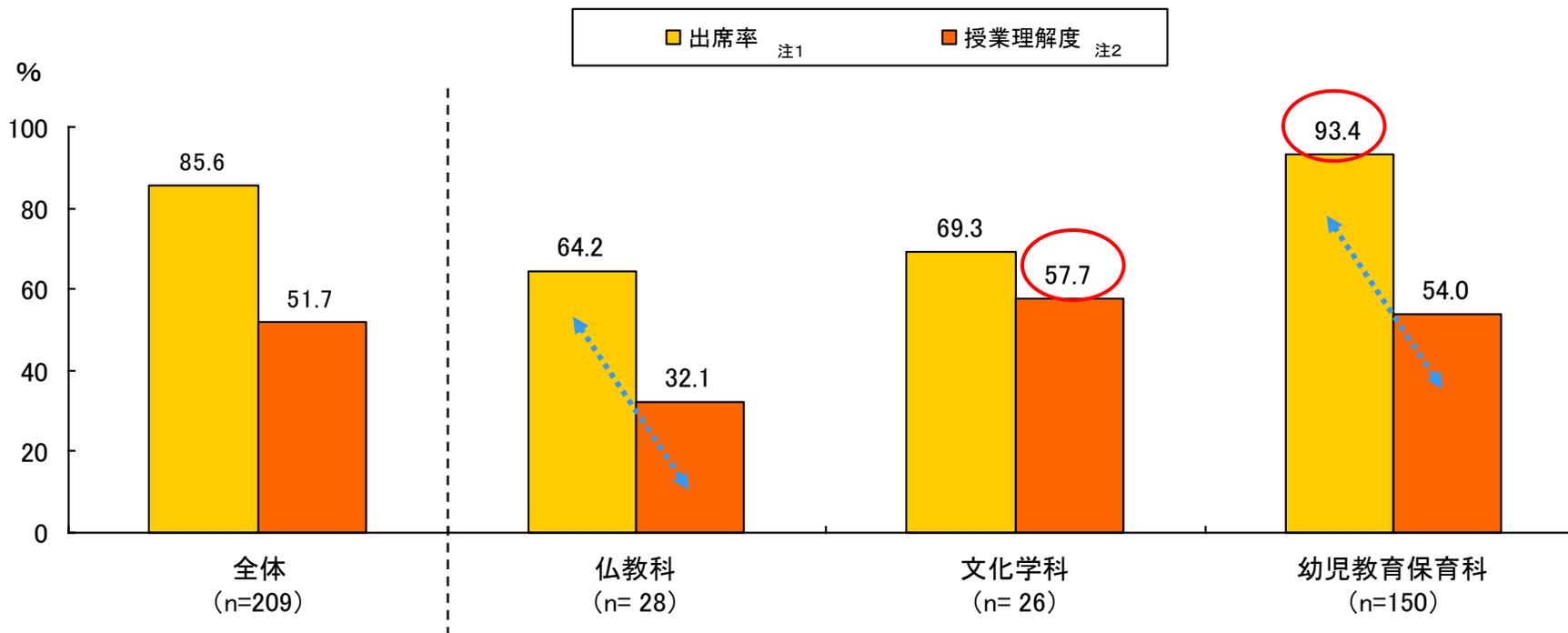
■学科別に授業出席率と授業理解度をみると、

- 幼児教育保育科: 授業出席率は9割を超え、他学科と比べて非常に高いが、授業理解度は54.0%で飛び抜けて高いとはいえない。
- 仏教科、文化学科: 授業出席率はどちらも6割台と相対的に低いですが、仏教科の授業理解度が32.1%と全体より20ポイント近く低いのに対して、文化学科の授業理解度は57.7%で3学科中最も高い。

Q5 今年度のあなたの授業への平均出席率はどの程度ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

Q7 あなたは、現在受講している授業の内容をどの程度理解できていると思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

■学科別(2009年)



注1 出席率=「ほとんど出席している」+「8~9割程度出席している」

注2 授業理解度=「ほぼすべての授業が理解できる」+「だいたい授業は理解できる」

3-2. 授業を欠席する理由

■出席率が上昇したためか、ほとんどの項目で数値は低下。

特に、「出席をとらないから」「授業内容に物足りなさを感じるから」「担当教員に不満があるから」「授業内容が理解できないから」など、『授業内容・方法』や『教員』への不満は、授業欠席理由としては減少傾向。

■学科別にみると、3学科とも「生活リズムが合わないから」がトップ。特に仏教科では46.4%と高い。

文化学科では「アルバイトを重視するから」が他学科と比べて高い。

Q6 あなたが、健康状態以外で授業を欠席する理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■全体／学科別

09年：%

	回答者数 (n)		生活リズムが合わないから		出席をとらないから		友人との付き合いを重視するから		授業内容に物足りなさを感じるから		担当教員に不満があるから		クラブ・サークル活動を重視するから		アルバイトを重視するから		授業内容が理解できないから		クラスメートの雰囲気		授業で発言の機会が少ないから		
	05年	09年	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	
全体	409	209	27.3	-2.3	21.5	-11.8	10.5	-1.5	10.0	-7.8	7.2	-5.8	7.2	-0.4	6.7	-1.1	5.3	-6.4	3.8	+1.6	1.0	+0.5	
学科別	仏教科	84	28	46.4	+9.5	14.3	-4.7	7.1	-3.6	10.7	+1.2	14.3	+2.4	10.7	-2.4	0.0	-6.0	3.6	-11.9	10.7	+9.5	3.6	+2.4
	文化学科	172	26	23.1	-8.3	7.7	-26.6	7.7	-7.4	15.4	-7.3	15.4	-0.9	7.7	-1.0	19.2	+7.6	7.7	-5.7	3.8	-0.9	3.8	+3.2
	幼児教育保育科	153	150	24.7	+1.2	24.0	-15.9	12.0	+2.8	8.7	-8.3	4.0	-5.8	6.7	+3.4	6.0	+1.4	5.3	-2.5	2.7	+2.7	0.0	+0.0

■ 全体より10ポイント以上高い

■ 全体より10ポイント以上低い

3-3. 授業が理解できない理由

- 授業が理解できない理由の上位3項目は「自分の意欲が不足しているから」「授業内容に興味がないから」「授業内容が専門的すぎるから」で、2005年から変化はなく、『意欲』や『興味・関心』のなさに加えて『授業内容の難しさ』が主な原因にあげられている。
- 学科別に授業が理解できない理由をみると、
 - 仏教科:「自分の意欲が不足しているから」「自分の予習や準備が不足しているから」が5割台と高く、授業が理解できないのは『自分に原因がある』と考えている学生が多い。
 - 文化学科:「授業内容に興味がないから」「授業内容が専門的すぎるから」が上位。授業を理解できない理由を『授業内容』に求める傾向が他学科よりもやや強いと推測される。

Q8 あなたが受講している授業を理解できない場合、その理由は何だと思えますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■ 全体／学科別

	回答者数 (n)	自分の意欲が不足しているから		授業内容に興味がないから		専門的すぎるから		自分の予習や準備が不足しているから		教員の指導や助言が十分でないから		授業の進み方が速すぎるから		履修すべき単位数が多すぎるから		高校で履修する必要のない知識があるから			
		05年	09年	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差	09年	05年との差		
全体	409	209	48.3	-0.1	41.1	-8.5	30.6	+0.0	28.2	-0.7	21.5	-4.9	12.0	+2.0	8.1	-2.4	7.7	-0.9	
学科別	仏教科	84	28	57.1	+3.5	21.4	-8.4	35.7	-3.6	50.0	+9.5	14.3	-3.6	3.6	-9.5	3.6	-2.4	14.3	+3.6
	文化学科	172	26	34.6	-14.8	57.7	-8.0	38.5	+10.6	15.4	-10.8	23.1	-8.3	19.2	+7.0	0.0	-7.0	7.7	-1.0
	幼児教育保育科	153	150	50.0	+5.6	41.3	-1.2	28.0	-0.8	26.7	+1.2	23.3	-2.2	12.7	+6.8	10.7	-6.3	6.7	-0.5

全体より10ポイント以上高い

全体より10ポイント以上低い

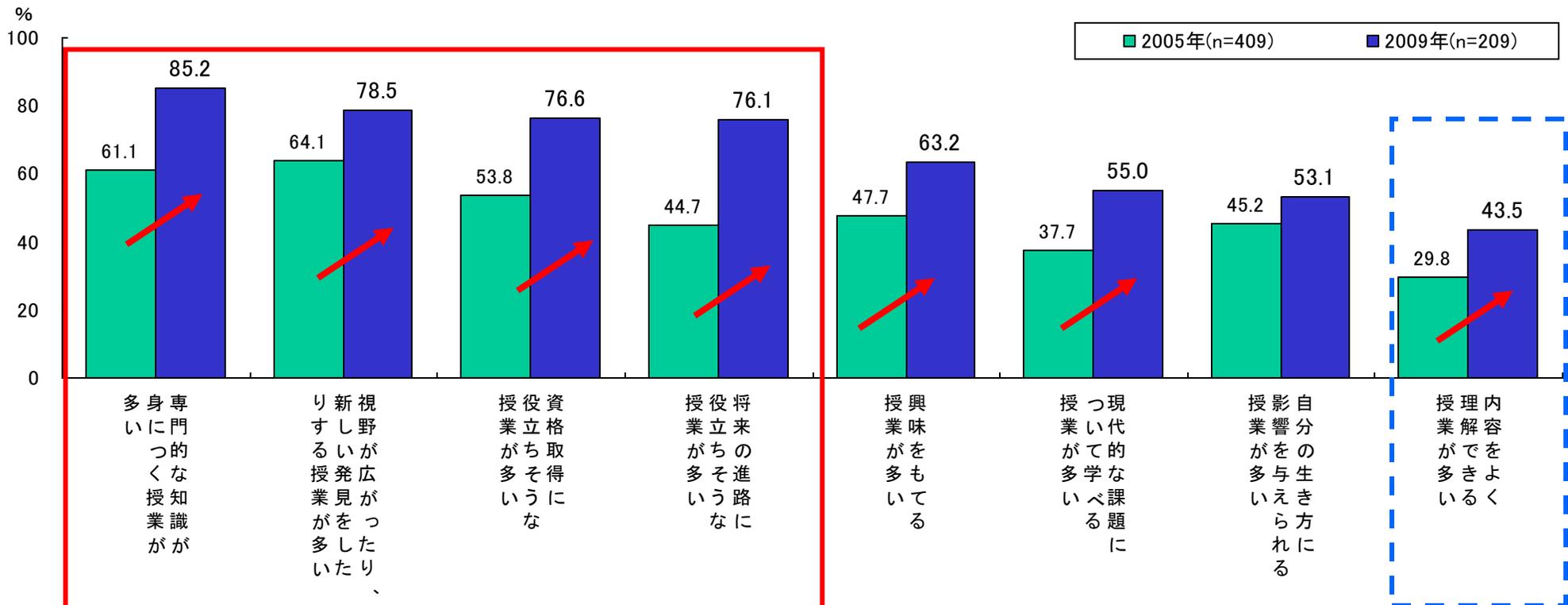
4. 各カテゴリーに対する評価

- 授業に関する8項目の中では、「専門的な知識が身につく授業が多い」が85.2%で最も高い。また「視野が広がったり、新しい発見をしたりする授業が多い」「資格取得に役立つ授業が多い」「将来の進路に役立つ授業が多い」に対する評価も7割を超えており、授業に対する評価は全体的に高い。
- 2005年と比べると、ほとんどの項目で評価は10ポイント以上大きく上昇。ただし、「内容をよく理解できる授業が多い」の評価は13.7ポイント上昇しているものの、5割未満にとどまっており、やや評価が低い。

Q9 大谷大学について、以下の項目に関して5段階で評価してください。それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

【A 大谷大学での授業について】

■ 全体

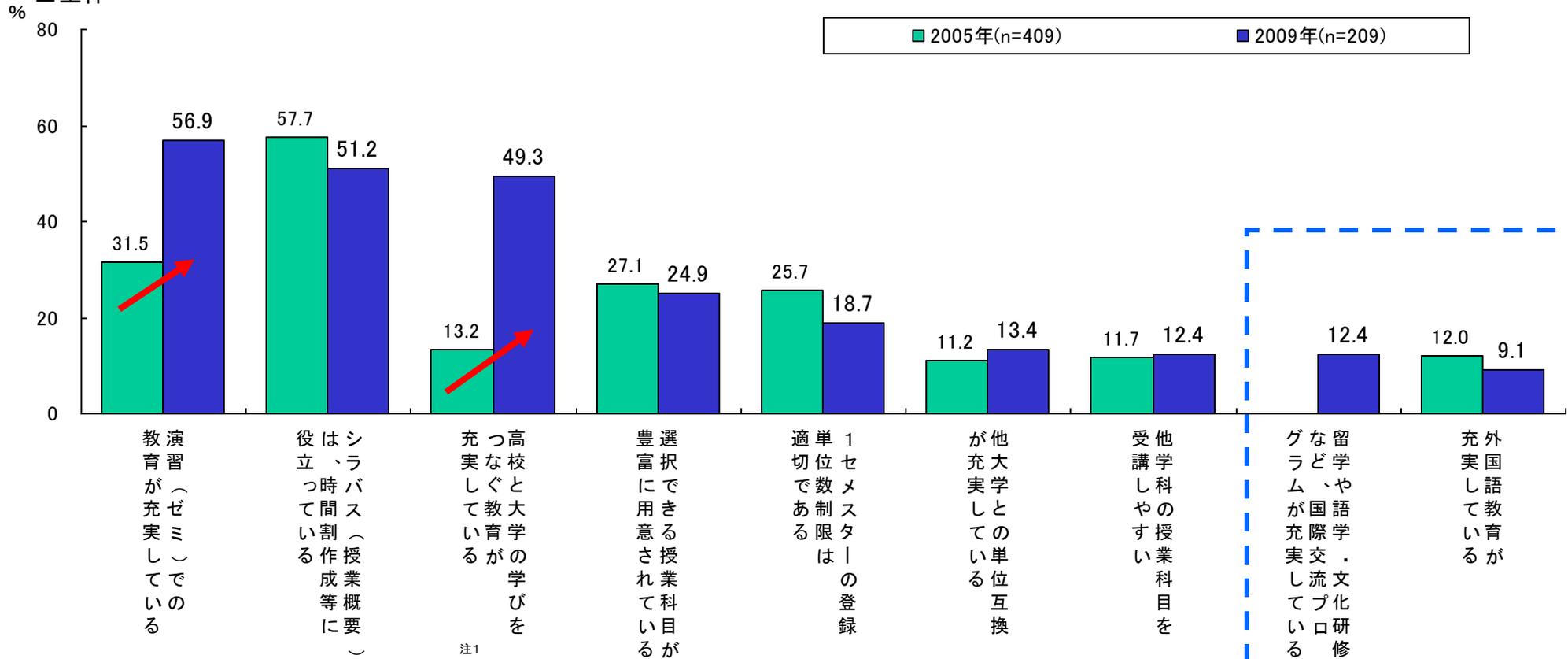


注) グラフの数値は各評価項目に対する「評価」を示す。評価とは「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の合計人数が回答者数(n)に占める割合である。
Q9は以下同様。

- 学びの環境に関する評価では、「演習(ゼミ)での教育が充実している」「シラバス(授業概要)は、時間割作成等に役立っている」「高校と大学の学びをつなぐ教育が充実している」の3項目で、5割前後と比較的高い評価を得ている。特に、「演習(ゼミ)での教育が充実している」と「高校と大学の学びをつなぐ教育が充実している」の評価は、2005年と比べて20ポイント以上昇している。
- 一方、これらの3項目以外の評価はすべて3割未満であり、特に外国語習得に関する項目への評価は低く、1割程度にとどまっている。

【B 大谷大学での学びの環境について】

■ 全体



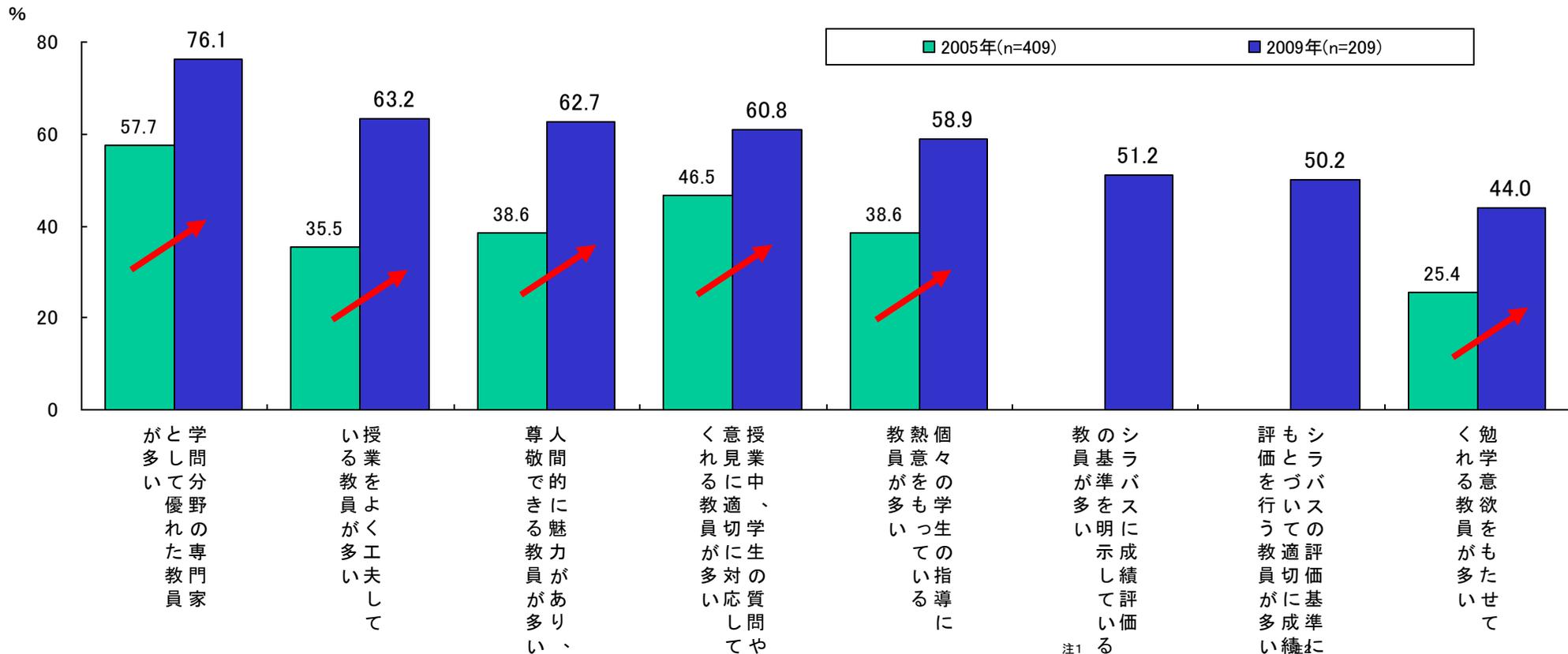
注1 2005年は「高校の勉強と大学の学びをスムーズにつなぐ教育が充実している」

注2は2009年に新しく追加された項目

- 教員に関する8項目の中では、「**「学問分野の専門家として優れた教員が多い」**の評価が76.1%で最も高いが、ほとんどの項目で評価は5割を超えており、教員に対する評価は全体的に高い。また、2005年と比較すると、すべての項目で評価が10ポイント以上上昇している。
- 『教員のシラバス活用状況』に関する2項目も、5割以上の評価を得ているが、順位の上では下位にとどまっている。

【C 大谷大学の教員について】

■ 全体



注1、注2は2009年に新しく追加された項目

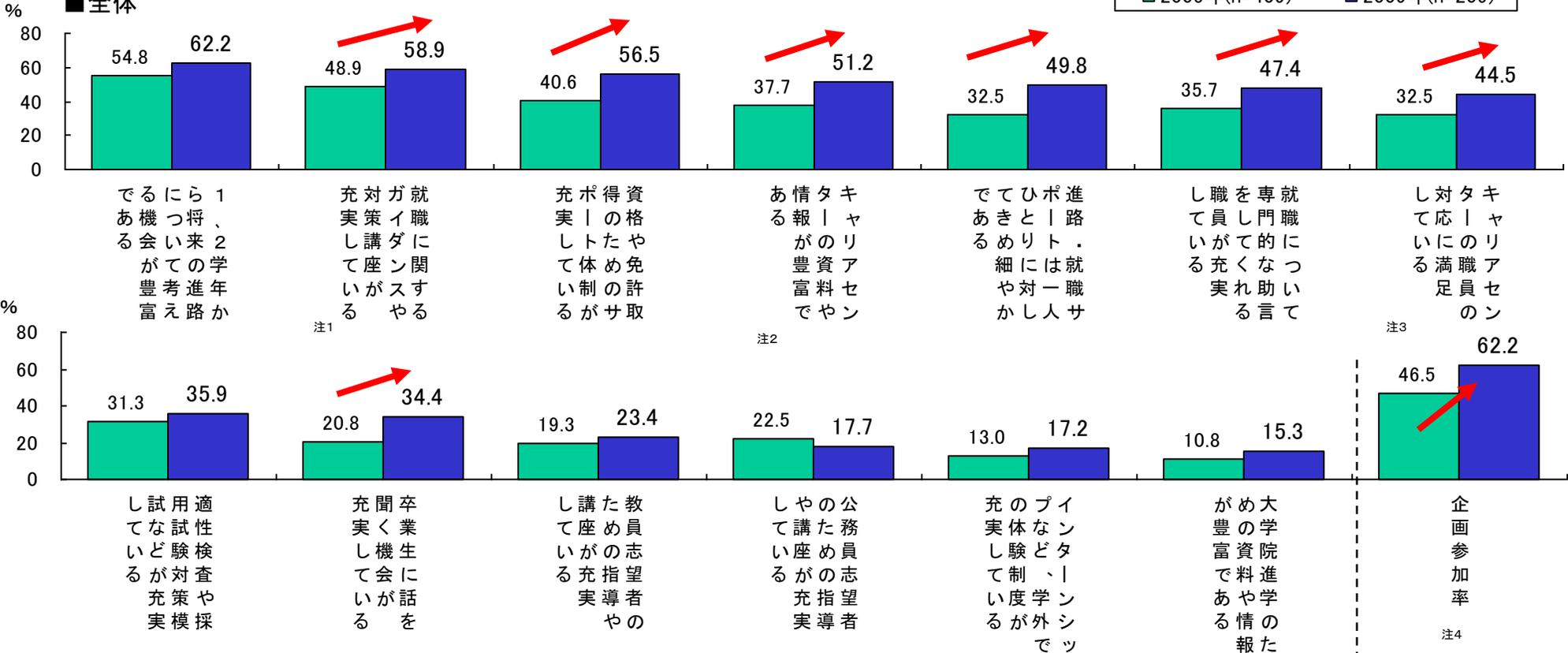
4-4. 進路・就職サポート体制の評価

- 進路・就職サポート体制について、最も評価の高かった項目は「1、2学年から将来の進路について考える機会が豊富である」の(62.2%)。また「就職に関するガイダンスや対策講座が充実している」「資格や免許取得のためのサポート体制が充実している」「キャリアセンターの資料や情報が豊富である」も評価が5割を超えている。
- 2005年と比較すると、13項目中7項目で10ポイント以上評価が上昇しており、進路・就職サポート体制に対する評価は、全体的に上昇傾向にある。
- 進路・就職サポート企画への参加率も大きく上昇(+15.7ポイント)。

【E 大谷大学の進路・就職サポート体制について】

■ 全体

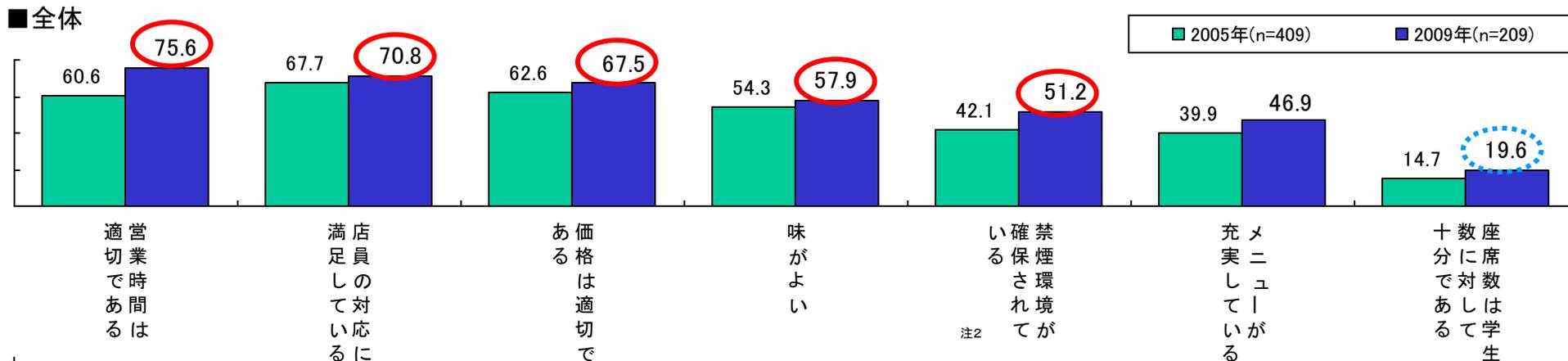
■ 2005年(n=409) ■ 2009年(n=209)



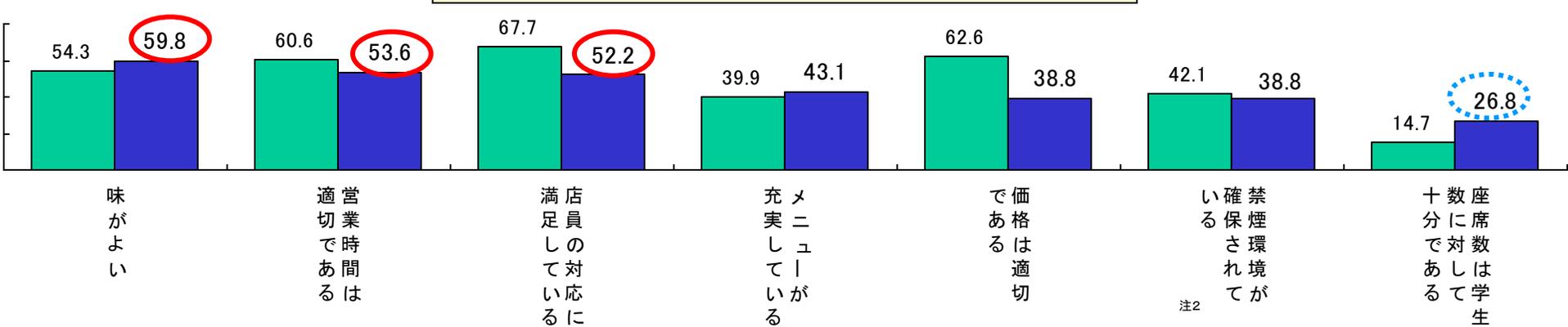
注1 2005年は「就職に関するガイダンスが充実している」
 注2 2005年は「進路就職センターの資料や情報が豊富である」
 注3 2005年は「進路就職センターの職員の対応に満足している」
 注4 企画参加率=進路・就職サポート企画に「ほとんど参加している」+「ある程度参加している」

4-5. 福利厚生施設・設備などの評価

- 各施設ごとの項目別評価の平均値を比較すると、最も評価の高い施設は《学内コンビニエンスストア》(平均67.9%)、2位《食堂》(平均55.6%)。反対に評価の低い施設は《談話室1号館1階》(平均32.9%)。
- 《食堂》については、ほとんどの項目で評価が5割を超えているが、「座席数」に対する評価は2割程度で非常に低い。
- 《ビッグバレー》は、「味」「営業時間」「店員の対応」への評価が5割を超えているが、「座席数」に対する評価は低い。



《食堂》 評価の平均値(05年:48.8%→09年:55.6%) 注1



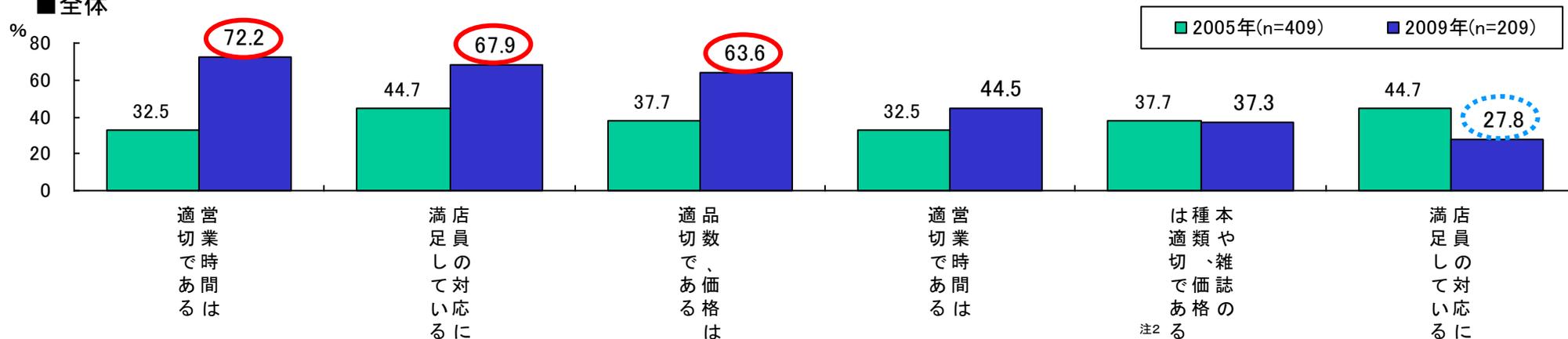
《ビッグバレー》 評価の平均値(05年:48.8%→09年:44.7%) 注1

注1 2005年は「食堂・ビッグバレー」を一つの項目として質問した。 注2 2005年は「禁煙スペースが確保されている」

4-5. 福利厚生施設・設備などの評価

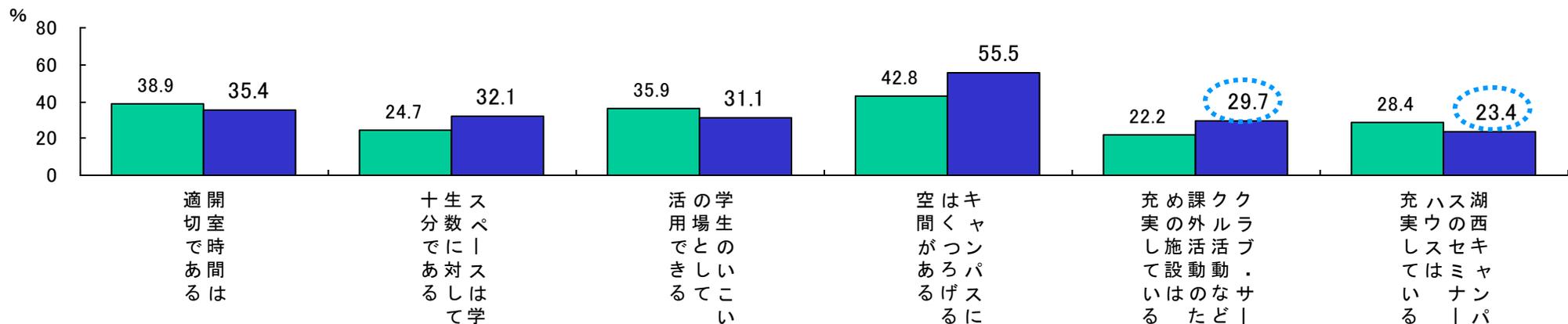
- 《学内書店》においては、「店員の対応」に対する評価が特に低い。
- 《談話室1号館1階》については、2005年と同様、どの項目も3割台の低い評価にとどまっている。
- また、「クラブ・サークル活動など課外活動のための施設は充実している」「湖西キャンパスのセミナーハウスは充実している」も評価は低い。

■全体



《学内コンビニエンスストア》 評価の平均値 (05年: 38.3% → 09年: 67.9%) 注1

《学内書店》 評価の平均値 (05年: 38.3% → 09年: 36.5%) 注1



《談話室1号館1階》 評価の平均値 (05年: 33.2% → 09年: 32.9%)

その他

注1 2005年は「購買部・書店」を一つの項目として質問した。

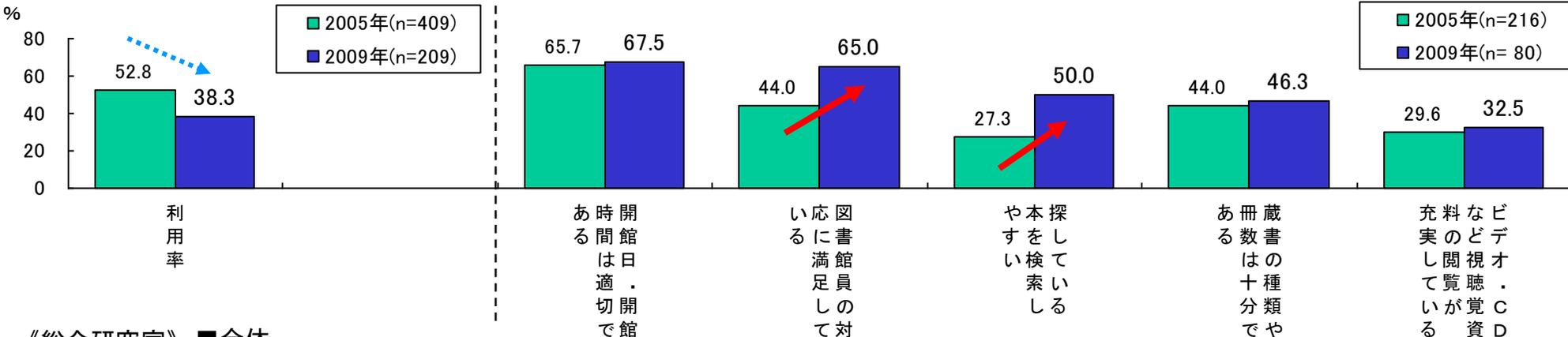
注2 2005年は「品数、価格は適切である」

4-6. 教育施設・設備などの評価

- 《図書館》の利用率は38.3%で、2005年(52.8%)に比べ、14.5ポイント低下している。ただし、利用者の評価はすべての項目で、2005年に比べ上昇。
 - 《総合研究室》の利用率は19.1%と、2005年(27.9%)より、8.8ポイント低下。しかし、利用者の評価でみると、すべての項目で評価は上昇している。
- また、『助教』関連項目も、4割前後の評価。

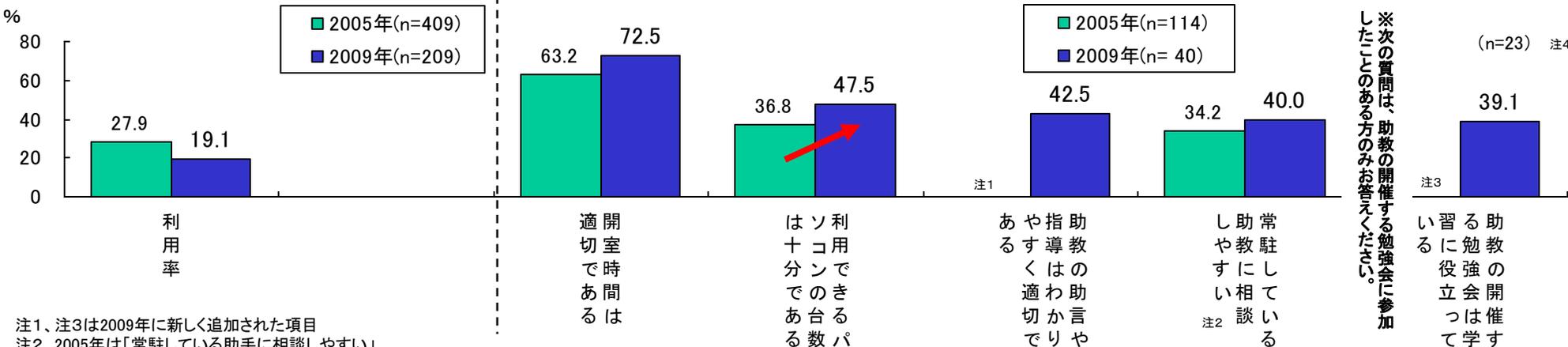
《図書館》 ■全体

問. あなたは《図書館》をよく利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。



《総合研究室》 ■全体

問. あなたは《総合研究室》をよく利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。



※次の質問は、助教の開催する勉強会に参加した方のみお答えください。

注1、注3は2009年に新しく追加された項目
 注2 2005年は「常駐している助手に相談しやすい」
 注4 「助教の開催する勉強会は学習に役立っている」については回答者ベースで満足度を算出

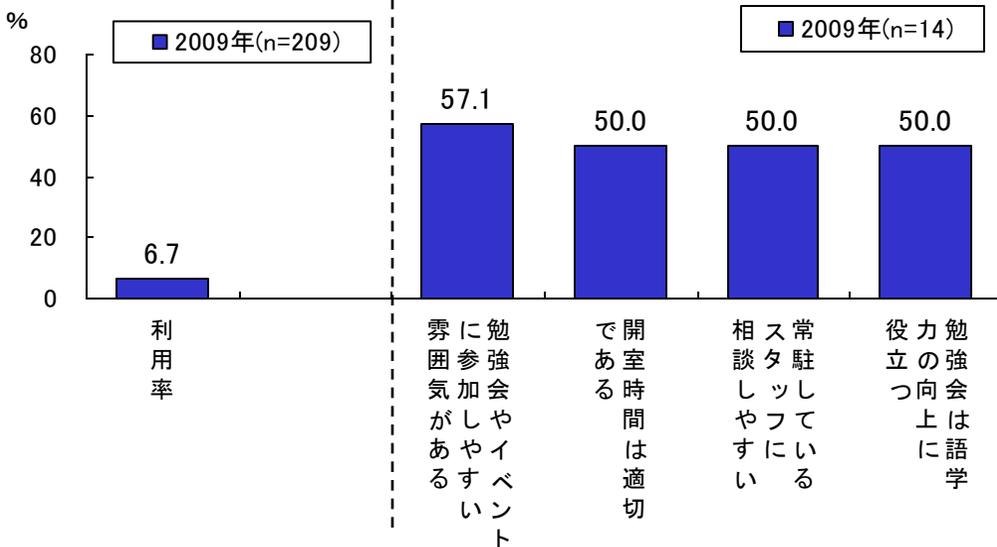
4-6. 教育施設・設備などの評価

- 《GLOBAL SQUARE》の利用率は非常に低く、6.7%。
自由記述から《GLOBAL SQUARE》を利用しない理由をみると、「施設の存在自体を知らない」という記述が多く、《GLOBAL SQUARE》を知らない学生が多数存在していると考えられる。
- 《教職支援センター》の利用率は低く、12.0%。ただし、利用者の評価は各項目とも6割前後と、比較的高い。

問. あなたは《GLOBAL SQUARE》をよく利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。 | 問. あなたは《教職支援センター》をよく利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

《GLOBAL SQUARE》

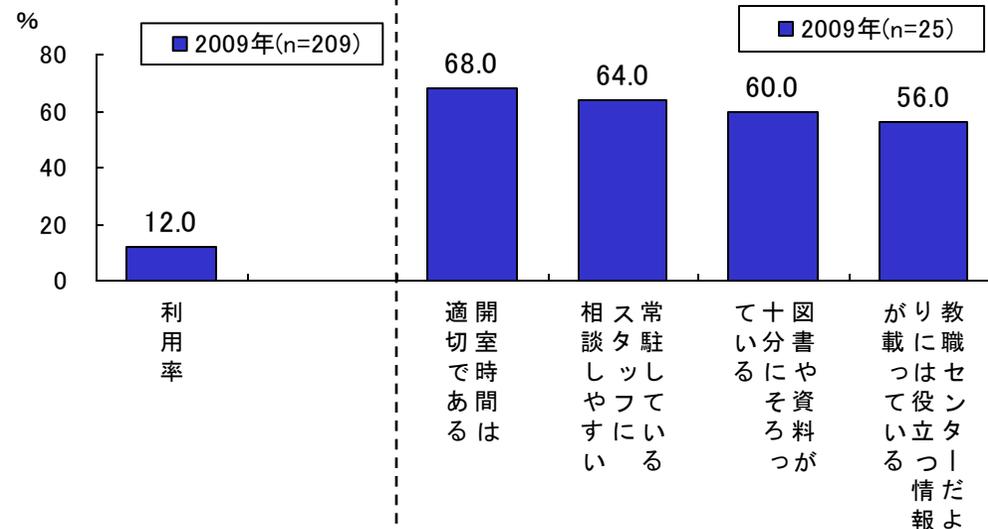
■全体



GLOBAL SQUAREを利用しない理由	件数
存在自体知らない・何に使うかわからない	61
行く機会がないから	14
興味がないから・関心がないから	10
利用する用事や目的がないから	9
どこにあるか知らないから	9

《教職支援センター》

■全体



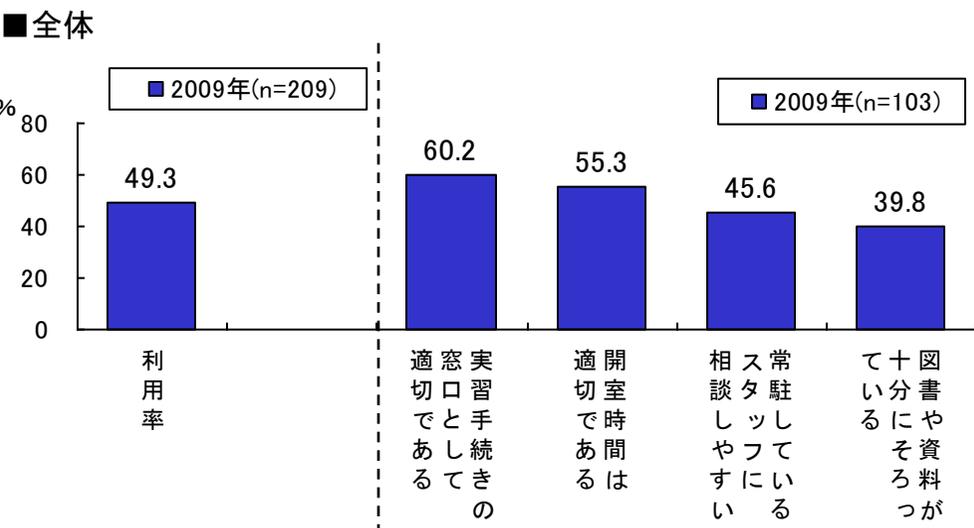
教職支援センターを利用しない理由	件数
存在自体知らない・何に使うかわからない	27
行く機会がないから	18
どこにあるか知らないから	11
興味がないから・関心がないから	9
行く用事や目的がないから	9
行かないから・行くことがないから	8

4-6. 教育施設・設備などの評価

- 《実習支援センター》の利用率は49.3%で、約半数の学生が利用している。利用者の評価をみると、項目によって評価に差がみられ、「常駐しているスタッフに相談しやすい」「図書や資料が十分にそろっている」の評価は5割未満でやや低い。
- 《一般研究室》の利用率は78.0%で、他の教育施設と比べ、利用率は非常に高い。また、2005年と比較しても、利用率は20ポイント近く上昇している。利用者の評価も比較的高く、2項目とも6割を上回っている。

問. あなたは《実習支援センター》をよく利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

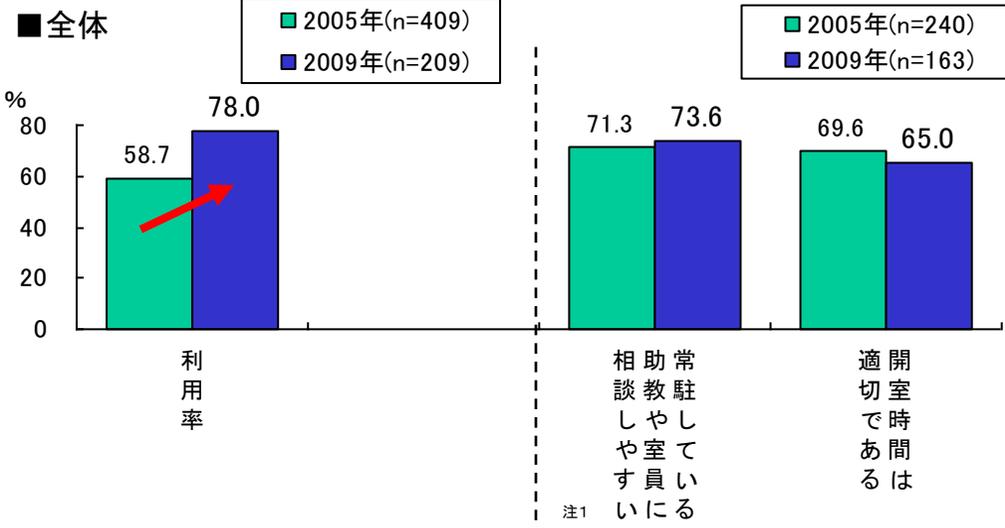
《実習支援センター》



実習支援センターを利用しない理由	件数
存在自体知らない・何に使うかわからない	13
行く機会がないから	10
行く用事や目的がないから	9
行く必要がないから	6
まだ実習がないから	4
来年から利用する	2
行かないから・よくは利用しないから	2
対応、態度が悪いから	2

問. あなたは、短期大学の《一般研究室》をよく利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

《一般研究室》



一般研究室を利用しない理由	件数
たまに行く・よくは行かない	5
せまいわりに人が多い	3
使う必要がなかったから	3
行く機会がないから	3
あまり短大の方に行かないから	2
行きにくい・雰囲気がいや	2

注1 2005年は「常駐している助手や室員に相談しやすい」

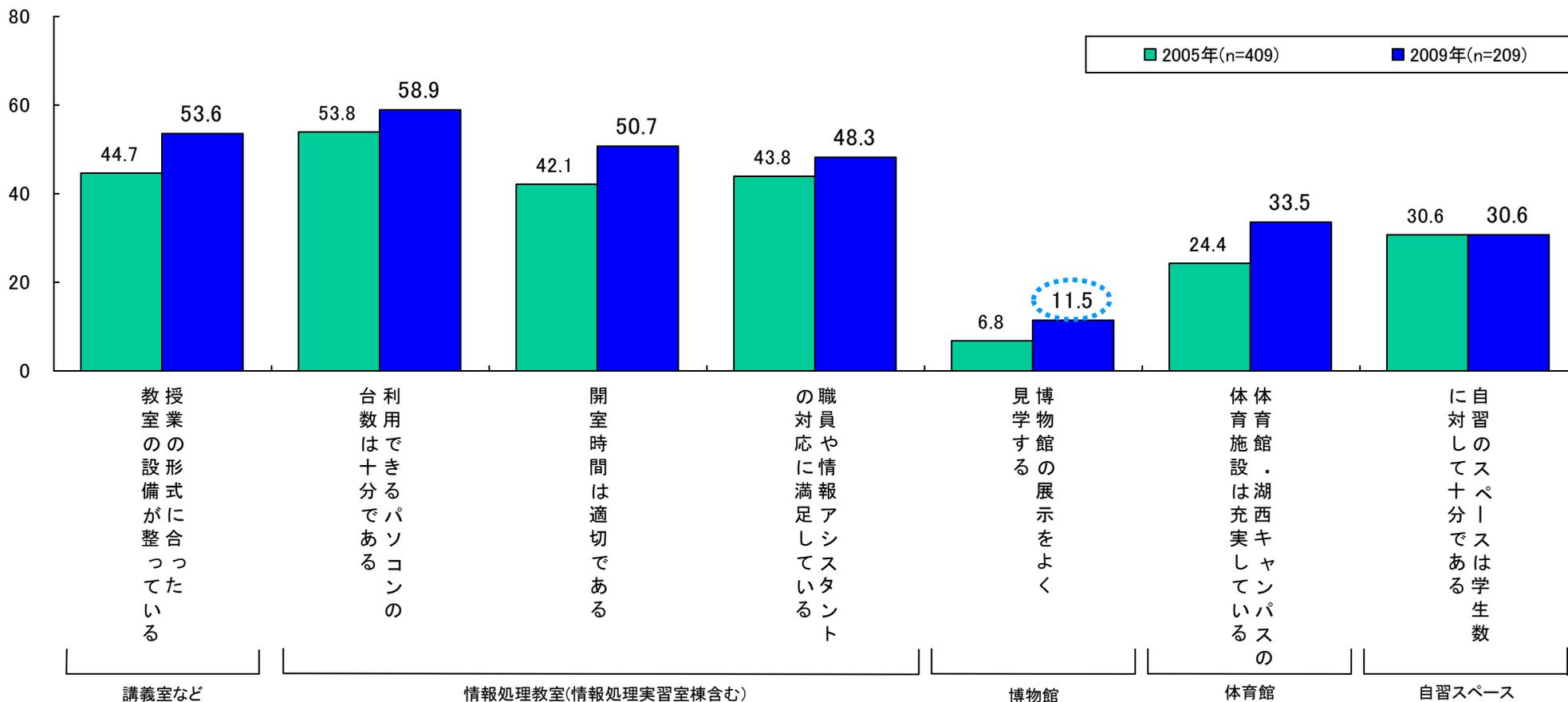
4-6. 教育施設・設備などの評価

- 教育施設・設備の中では、《講義室など》と《情報処理教室(情報処理実習室棟含む)》の評価が5割前後で比較的高い。
- 一方、《博物館》の評価は非常に低く、利用者が限定されている可能性がうかがわれる。

【G 大谷大学の教育施設・設備などについて】

■全体

%



4-7. 教育・学生生活のサポート体制の評価

<教育に関するサポート体制>

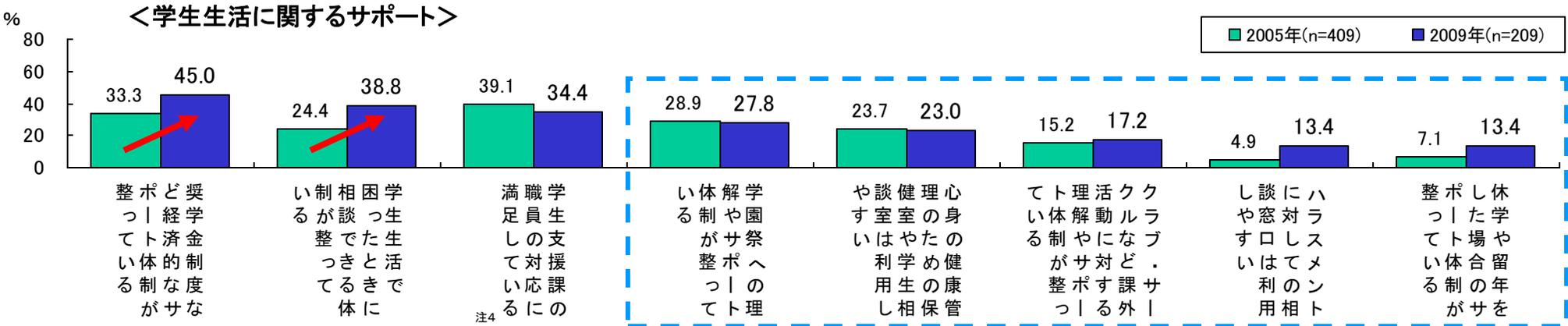
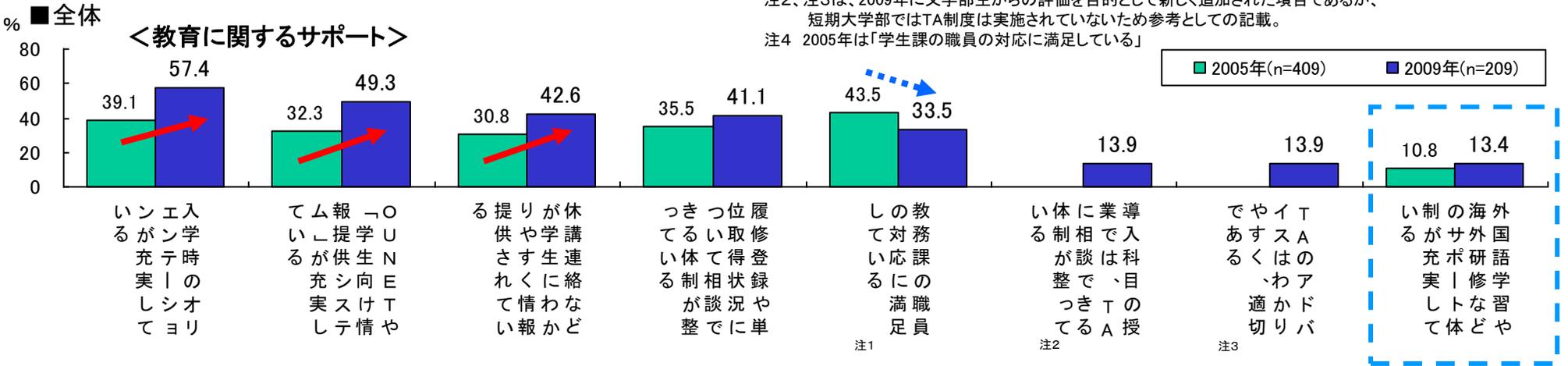
- 学生に対する情報提供に関連した項目が上位。一方、外国語習得サポートに関する項目は1割台の低い評価。
- 2005年と比較すると、ほとんどの項目で評価は上昇。ただし、「教務課の職員の対応に満足している」は、2005年に比べ、10ポイント評価が低下。

<学生生活に関するサポート体制>

- 最も評価の高かった項目は、「奨学金制度など経済的なサポート体制が整っている」の45.0%。8項目中5項目の評価が3割に届かず、学生生活のサポート体制に対する評価は全体的に低い。

【D 大谷大学の教育・学生生活のサポート体制について】

注1 2005年は「教務部の職員の対応に満足している」
 注2、注3は、2009年に文学部生からの評価を目的として新しく追加された項目であるが、短期大学部ではTA制度は実施されていないため参考としての記載。
 注4 2005年は「学生課の職員の対応に満足している」

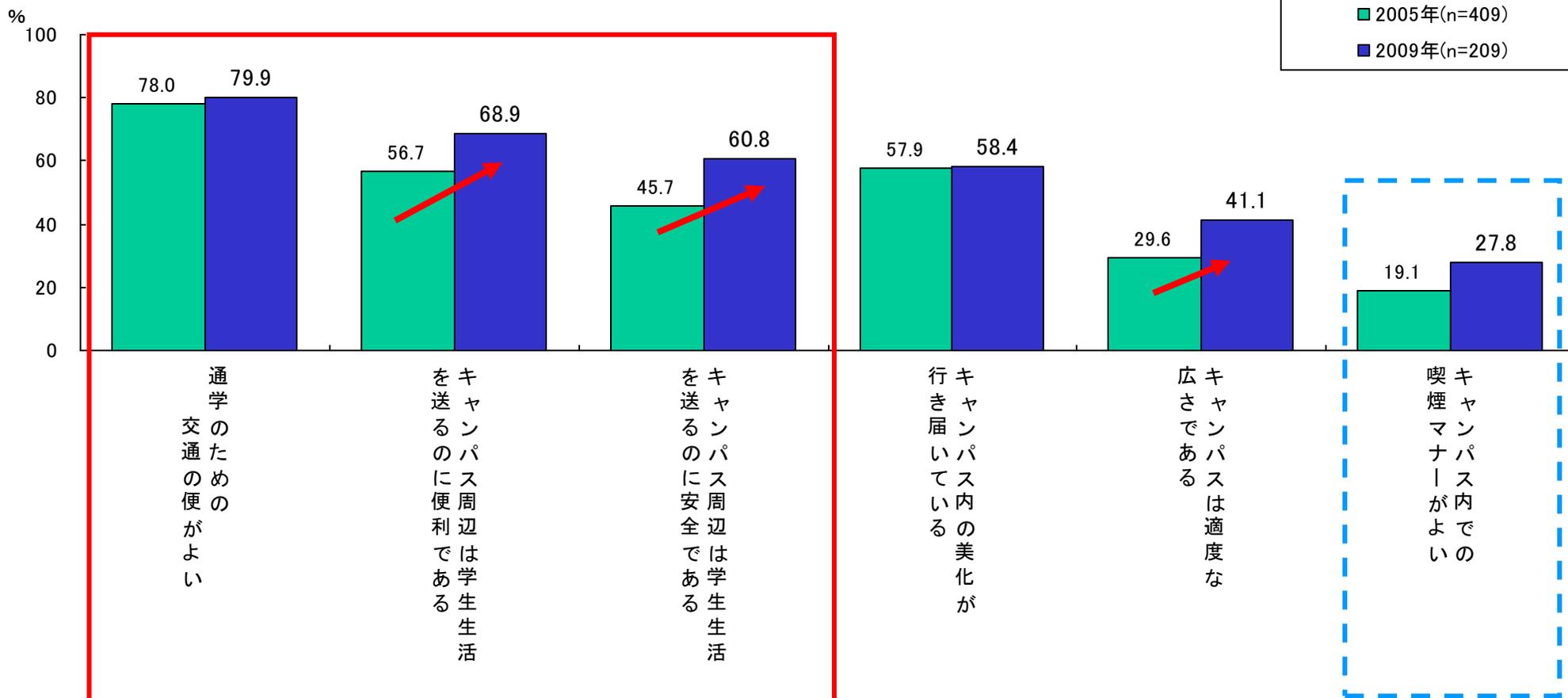


4-8. その他の評価

- 「通学のための交通の便がよい」の評価が最も高く、次いで「キャンパス周辺は学生生活を送るのに便利である」「キャンパス周辺は学生生活を送るのに安全である」と『大学の立地』に関連する項目が上位を占めている。
- 2005年と比較すると、すべての項目で評価は上昇しており、特にキャンパスの利便性、安全性に関する項目で、10ポイント以上評価が上昇。ただし、『喫煙マナー』に関しては、2005年に比べ、若干上昇してはいるものの、依然として2割台の低い評価にとどまっている。

【H その他】

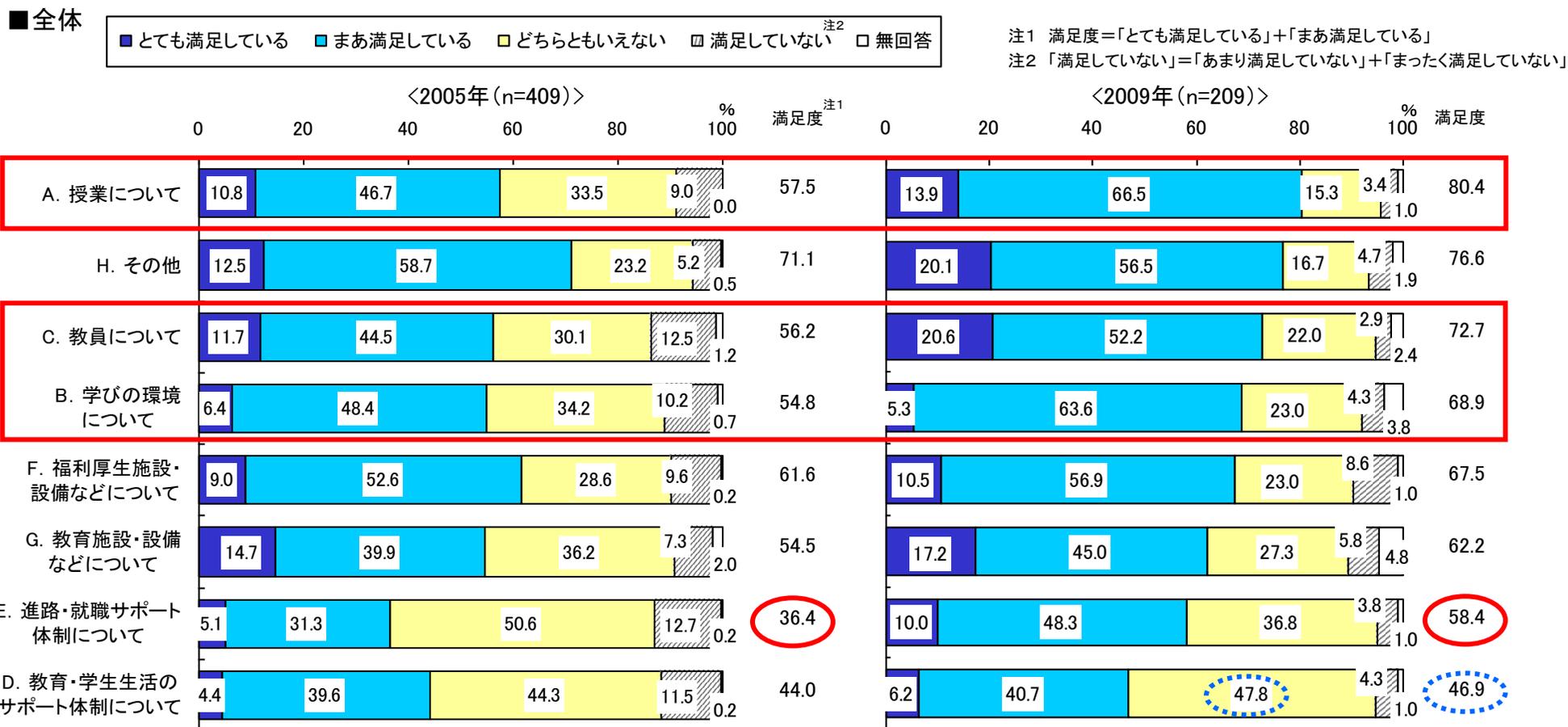
■全体



5. 大谷大学に対する満足度

5-1. 各カテゴリーの満足度

- すべてのカテゴリーで満足度は2005年より上昇。特に、「A. 授業」「C. 教員」「B. 学びの環境」の『学び』と関連したカテゴリーの満足度の向上が顕著。
- 「E. 進路・就職サポート体制」に対する満足度は充分とはいえないものの、2005年に比べると大きく上昇。
→資格志向の強い学生が増加し、進路・就職サポート企画への参加率が高まった(05年:46.5%⇒09年:62.2%)ことも影響している可能性。
- 「D. 教育・学生生活のサポート体制」に対する満足度は低く、5割以下。
→「どちらともいえない」が5割近くを占めていることから、各種サポート体制を利用したことがなく、評価自体ができない学生が多く存在している可能性も考えられる。



5-1. 各カテゴリーの満足度（学科別）

■学科別にみると

- 幼児教育保育科: すべてのカテゴリーについて全体より満足度が高い。特に『学び』と関連するカテゴリー（「A. 授業」「B. 学びの環境」「C. 教員」）の満足度は高く、7割を超えている。
- 文化学科: 全体的に満足度が低く、他の2学科では7割を超えている「A. 授業」「C. 教員」についての満足度も5割台にとどまっている。
- 仏教科: 「E. 進路・就職サポート体制」に対する満足度が際立って低い。

■学科別

%

		回答者数 (n)	A 授業について	H その他	C 教員について	B 学びの環境について	F に福利厚生施設・設備などについて	G に教育施設・設備などについて	E に進路・就職サポート体制について	D サポート・学生生活について
全体		209	80.4	76.6	72.7	68.9	67.5	62.2	58.4	46.9
学科別	仏教科	28	78.6	75.0	78.6	64.3	60.7	67.9	25.0	35.7
	文化学科	26	57.7	73.1	50.0	57.7	53.8	34.6	57.7	38.5
	幼児教育保育科	150	84.7	76.7	76.7	72.0	71.3	66.0	64.7	50.0

全体より10ポイント以上高い

全体より10ポイント以上低い

注) 表に記載されている数値は「満足度」を示す。

満足度とは「とても満足している」+「まあ満足している」の合計人数が回答者数(n)に占める割合である。

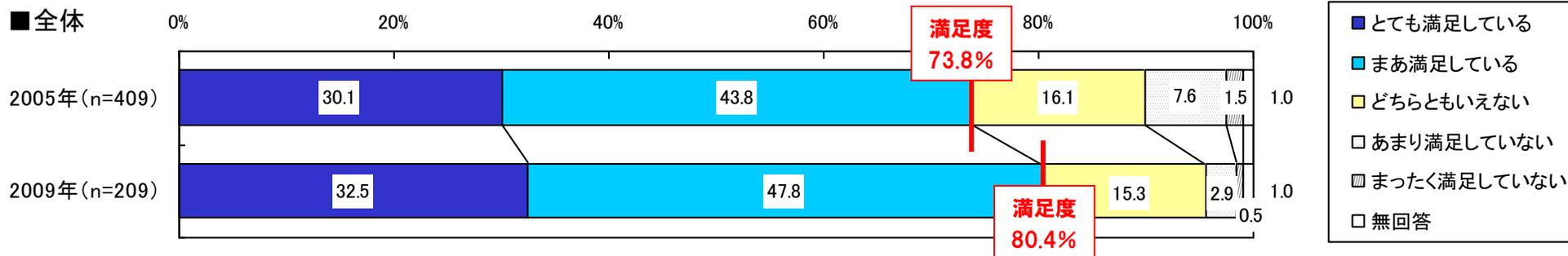
5-2. 現在の満足度

■大谷大学に対する現在の満足度は、2005年から6.6ポイント上昇し、80.4%。

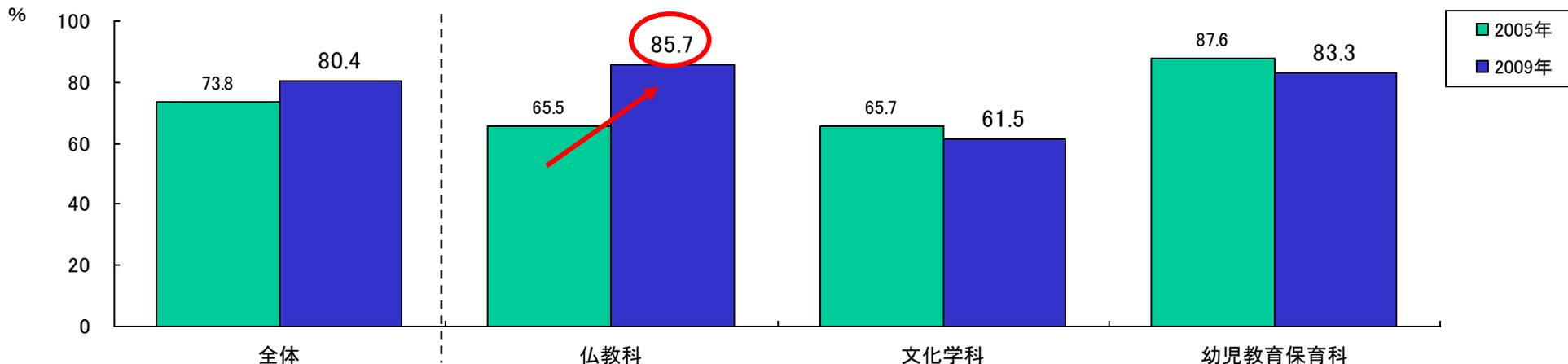
■学科別にみると、

- 仏教科：満足度は2005年より20.2ポイント上昇し、85.7%と、3学科中最も満足度が高い。
- 文化学科：満足度は61.5%と、他の2学科と比べて20ポイント程度低い。また、2005年と比べても約4ポイント低下している。
- 幼児教育保育科：満足度は8割を超え、高い水準にあるが、2005年と比べると約4ポイント低下。

Q11 あなたは大谷大学に入学してよかったと思いますか。次の中から、あなたの気持ちに最も近いもの1つに○をつけてください。



■学科別 現在の満足度の経年比較



5-3. 入学時の満足度と現在の満足度の比較

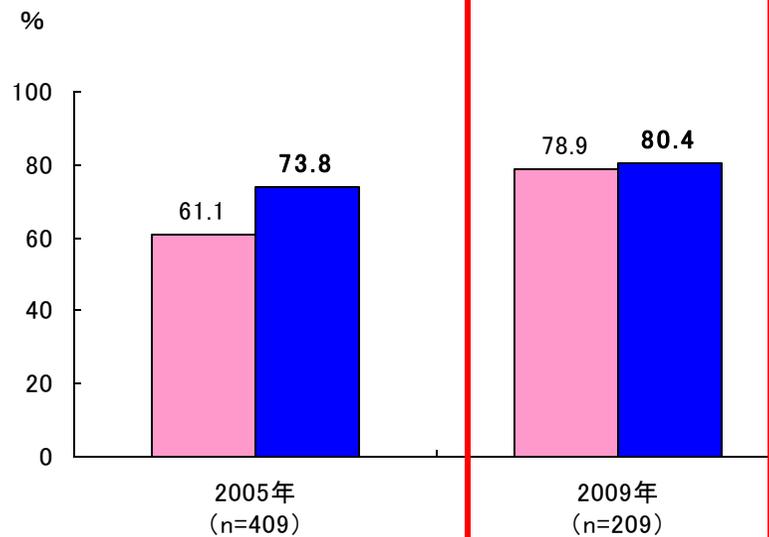
■ 入学時の満足度も2005年(61.1%)から大きく上昇して78.9%。入学時、現在ともに満足度は約8割と非常に高い。

■ 学科別にみると、

- 幼児教育保育科: 入学時の満足度、現在の満足度とも全体より高く、8割を超える。
- 文化学科: 入学時の満足度、現在の満足度とも他の2学科に比べ極端に低い。ただし、入学時の満足度と現在の満足度を比較すると、10ポイント以上の上昇がみられ、一定の満足度の向上が考えられる。
- 仏教科: 現在の満足度は85.7%で、3学科中最も高い。

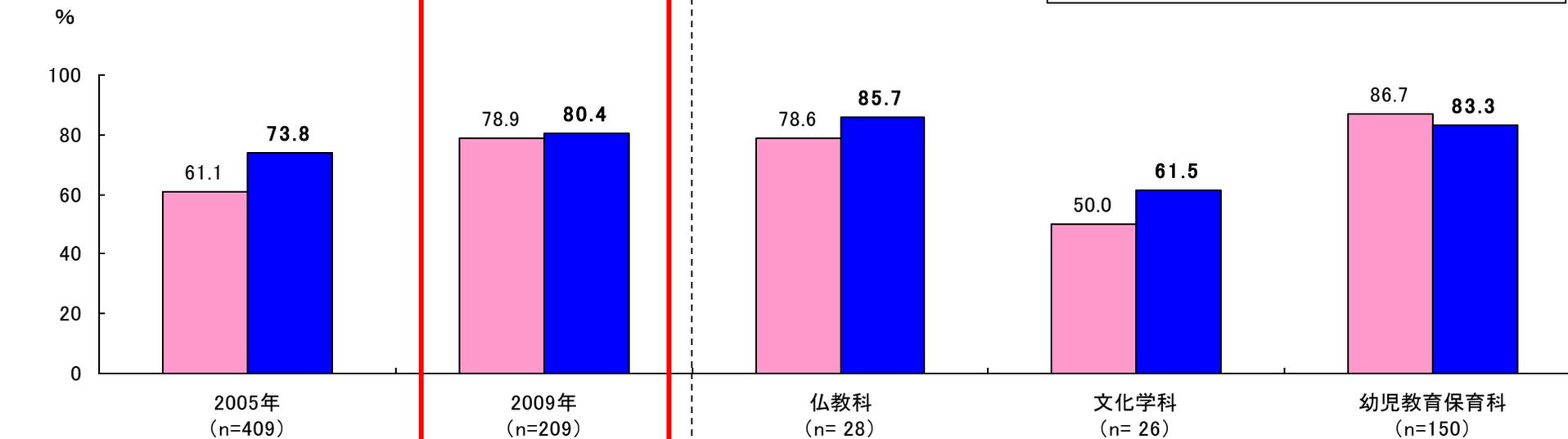
入学時の満足度と現在の満足度の比較

■ 全体



■ 学科別(2009年)

■ 入学時の満足度 注1 ■ 現在の満足度 注2



満足度の変化量 +12.7

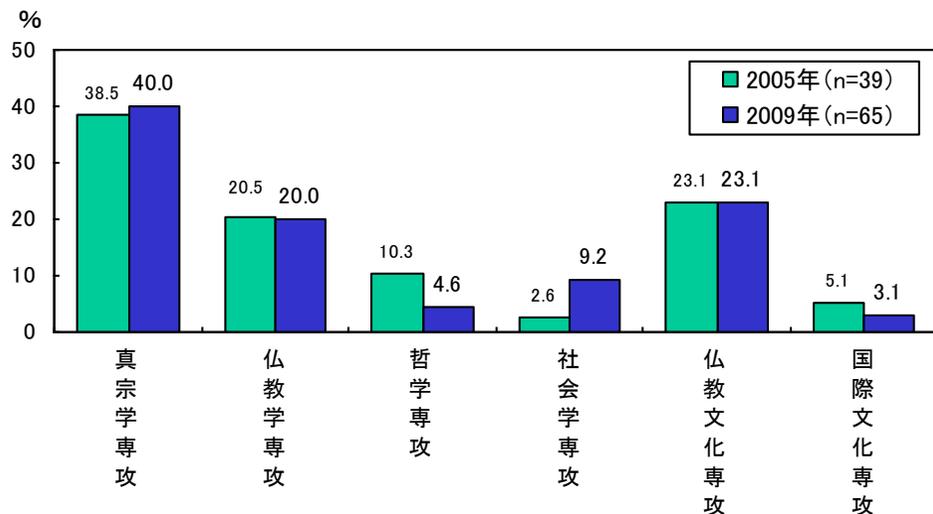
+1.5

注1 入学時の満足度=「ぜひ入学したいと思った」+「まあ満足して入学した」の合計値

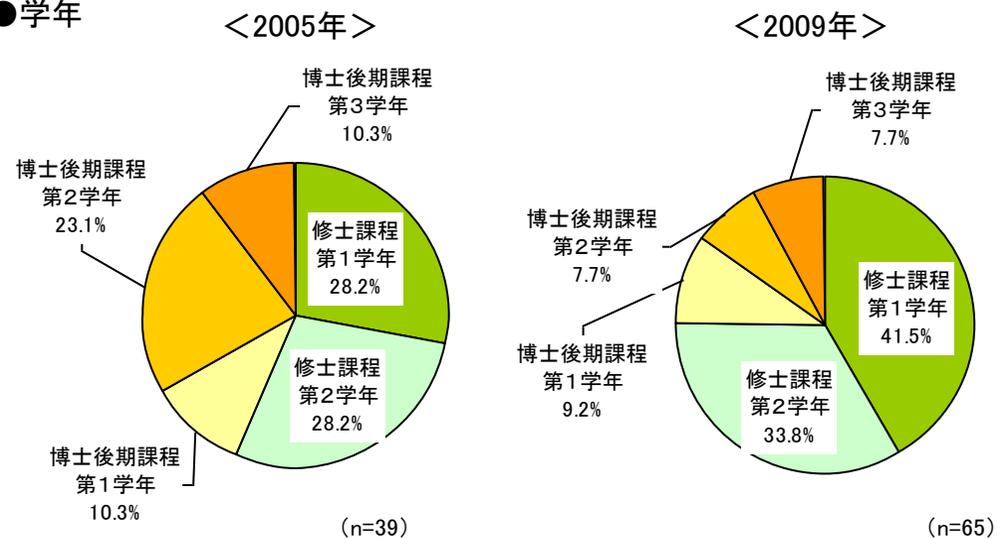
注2 現在の満足度=「とても満足している」+「まあ満足している」の合計値

【 大 学 院 編 】

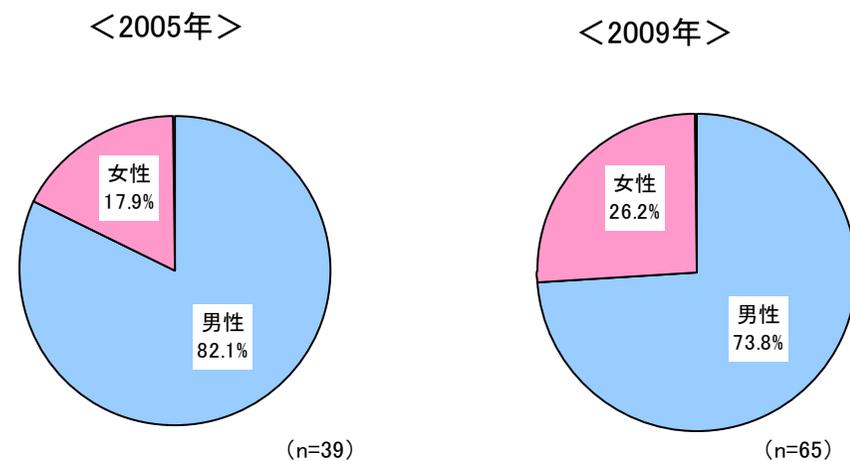
●所属研究科・専攻



●学年

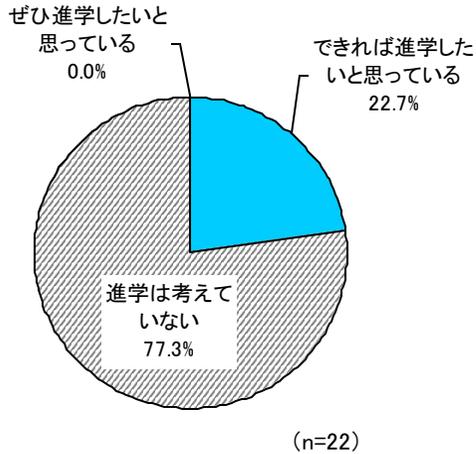


●性別

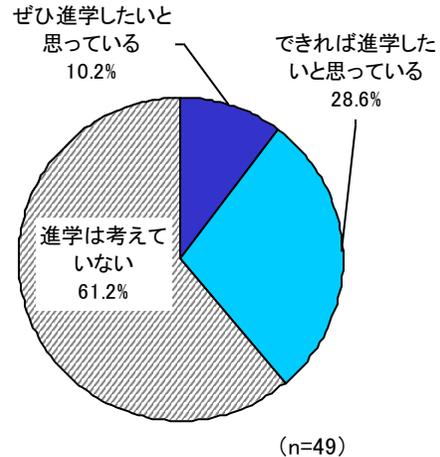


● 博士後期課程進学について（修士課程の方のみ回答）

<2005年>

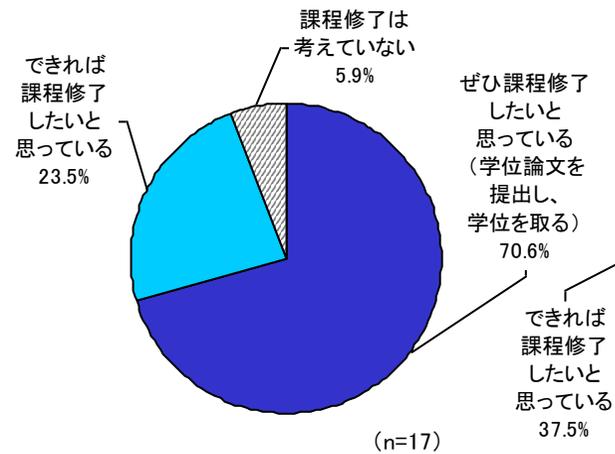


<2009年>

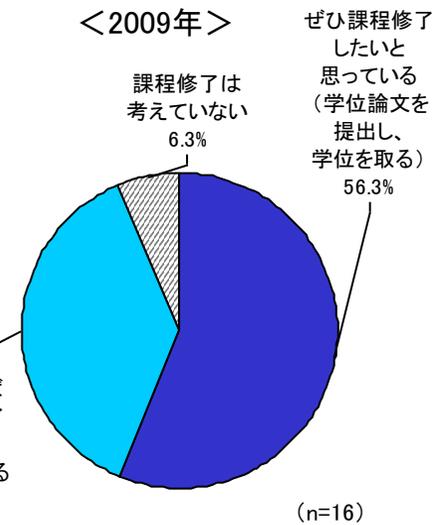


● 課程修了について（博士後期課程の方のみ回答）

<2005年>

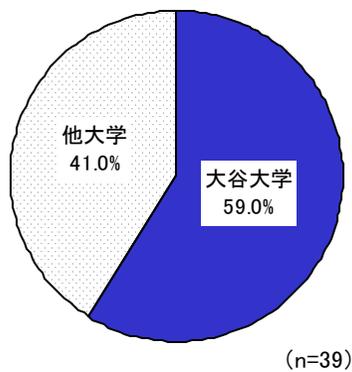


<2009年>

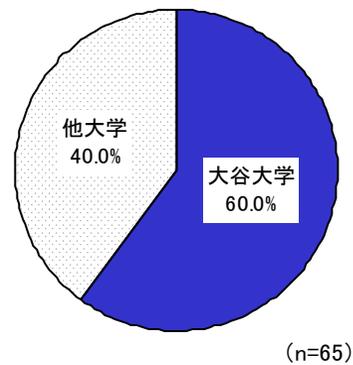


● 出身大学

<2005年>

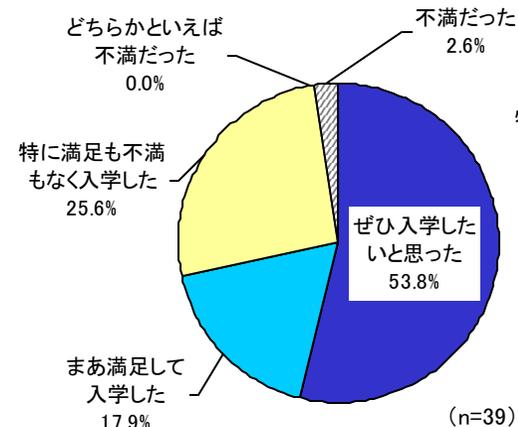


<2009年>

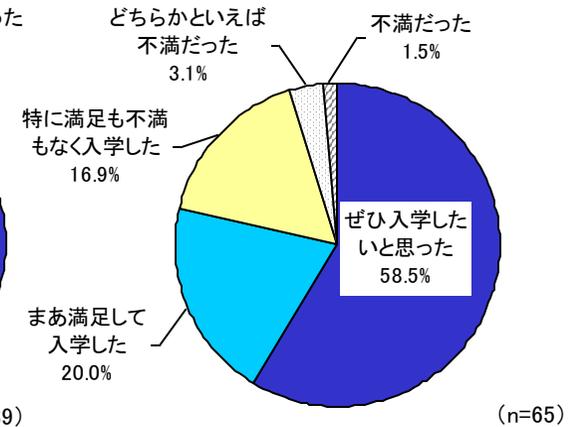


● 入学した時の気持ち

<2005年>



<2009年>



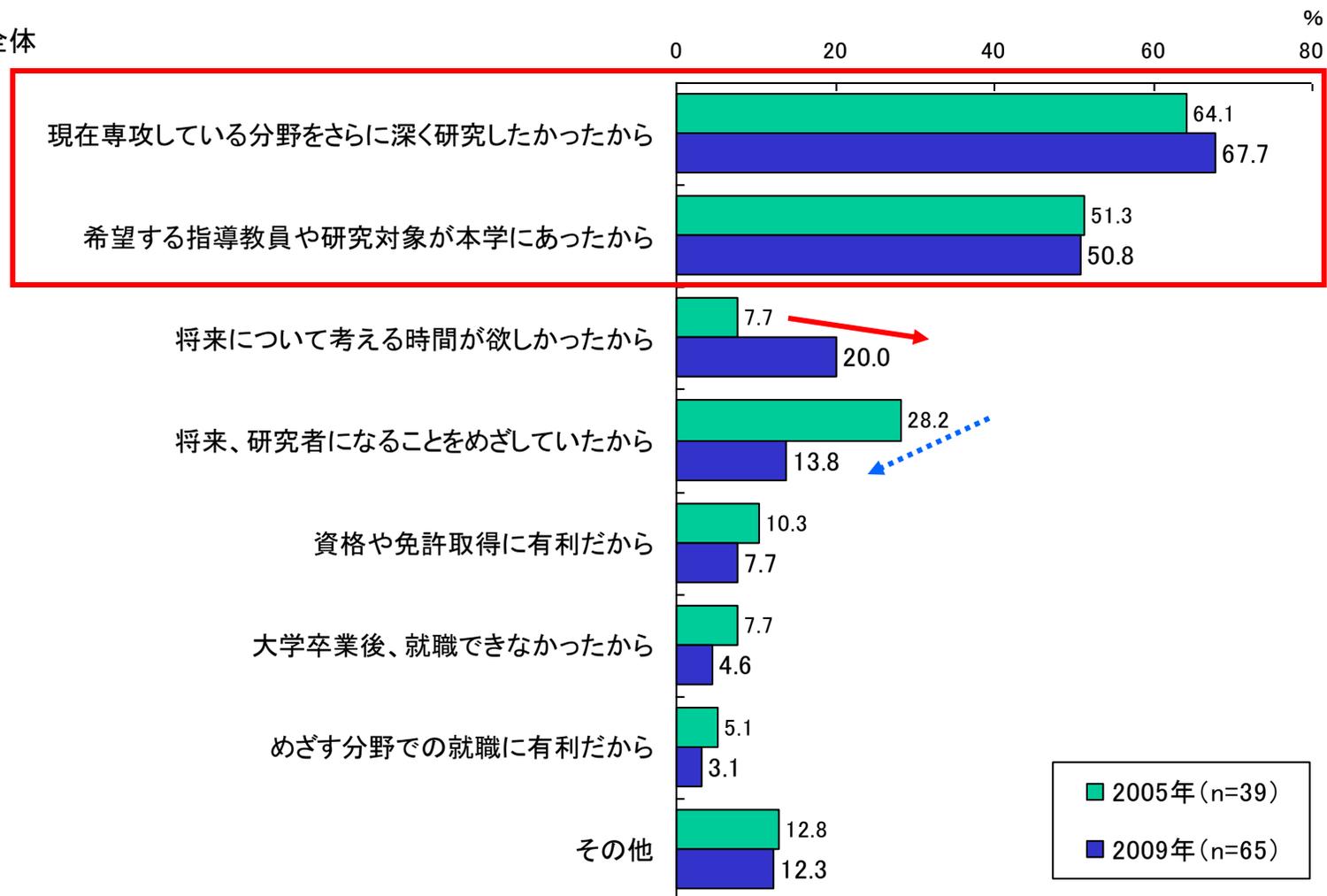
1. 大谷大学大学院への進学について

1. 大谷大学大学院への進学理由

- 大谷大学大学院への進学は、『研究の深化』が大きな目的。
- 「将来、研究者になることをめざしていたから」は減少し、「将来について考える時間が欲しかったから」が増加。
→明確な将来像・展望をもたずに大学院に進学する学生が増加している可能性。

Q1 あなたが大谷大学大学院に進学しようと思った理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■全体



2. 建学の理念に対する意識と大学院での取り組み

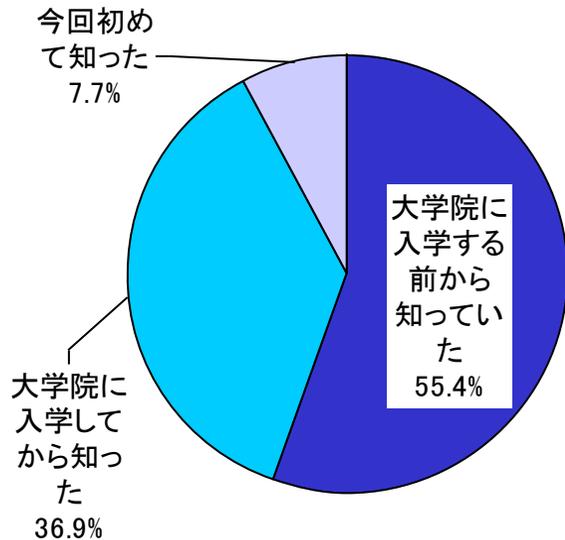
- 大学院生の建学の理念認知度は非常に高く、入学前と入学後を合わせると9割を超える。
- 建学の理念を感じる機会は1位:「演習(ゼミ)の授業」60.0%、2位:「各教員による個別指導」40.0%、3位:「各種講義」33.8%。
→ 専門領域の学びを深化させる過程の中で、自然に建学の理念に触れる機会を得ている様子が見える。

大谷大学には、【人間が大好きです。】というキャッチフレーズでうたわれるように、「仏教精神にもとづいた人間と人間の関係(自分との関係、他者との関係)を重視した教育を行い、仏教なし人間にかかわる諸学問の研究成果を広く社会に公開する」という建学の理念があります。これについて、以下の設問に教えてください。

Q6-1 あなたは、上記のような建学の理念について知っていましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

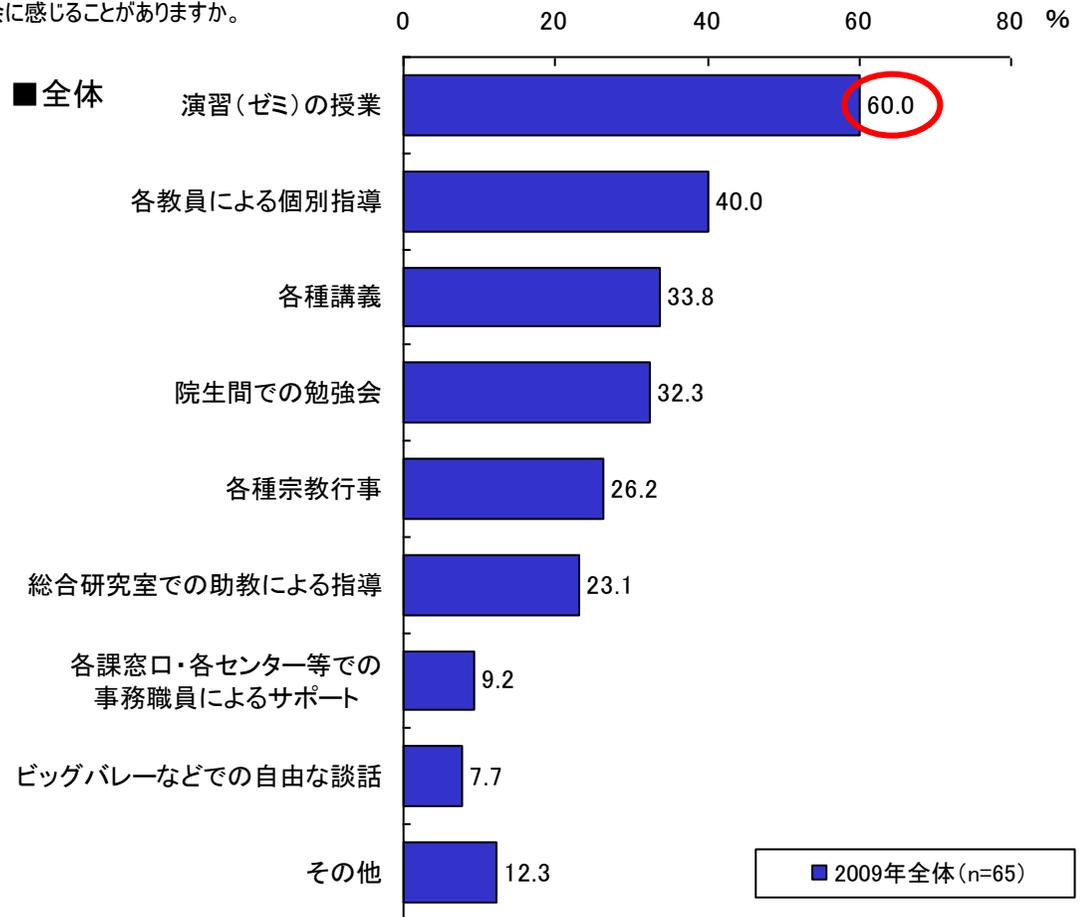
Q6-2 あなたは、建学の理念で言われる本学の人間関係重視の姿勢を、どのような機会に感じることがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

■ 全体



(n=65)

■ 全体



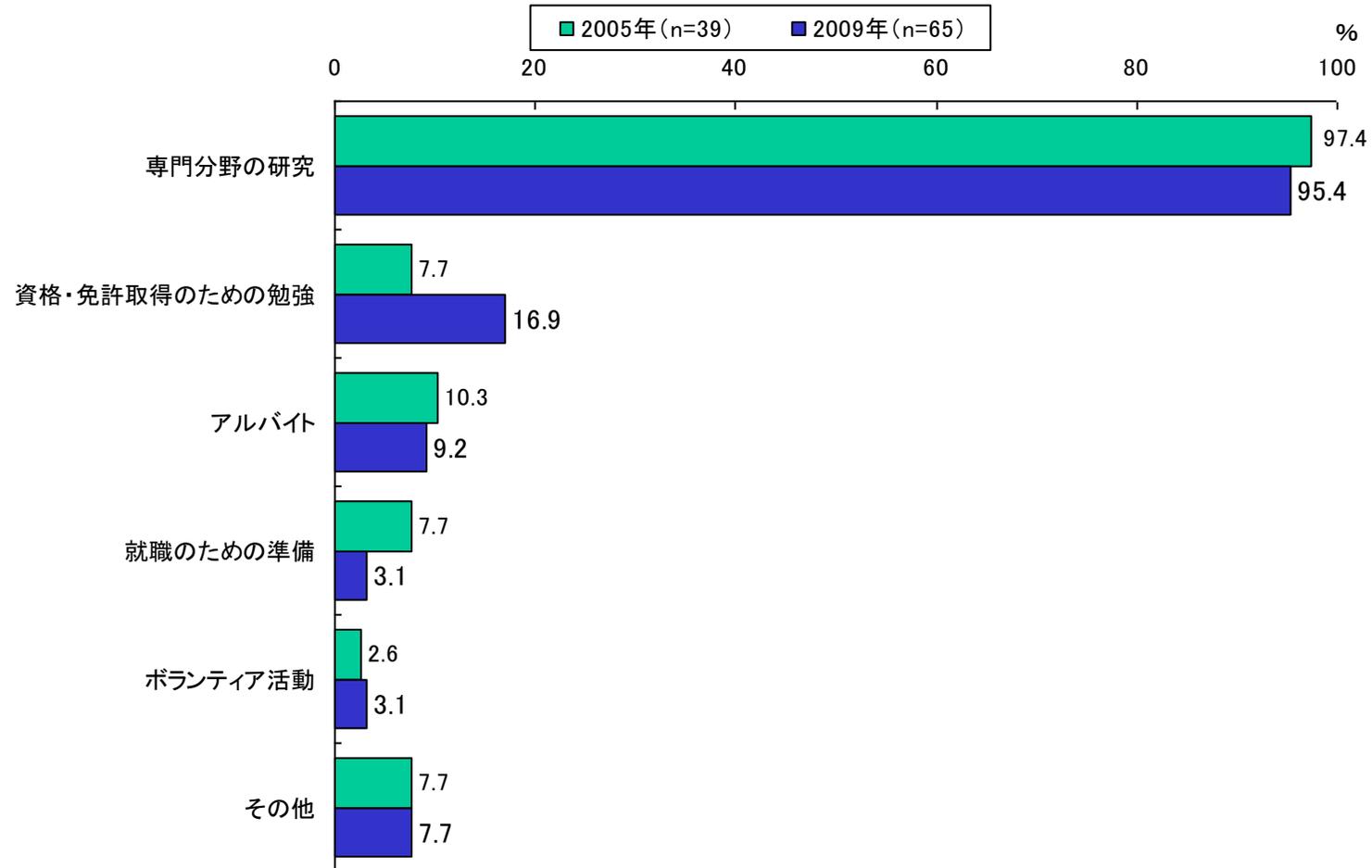
■ 2009年全体 (n=65)

2-3. 大学院で取り組んでいること

- ほとんど全員に近い大学院生が、意欲的に取り組んでいることとして、「専門分野の研究」をあげている。
- 2005年と比較すると、「資格・免許取得のための勉強」は9.2ポイント増加。
→専門的な研究に加えて、より実践的な能力・知識を合わせて習得しようとする意識が強くなっているものと推測される。

Q2 あなたが、大谷大学大学院で意欲的に取組んでいることは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

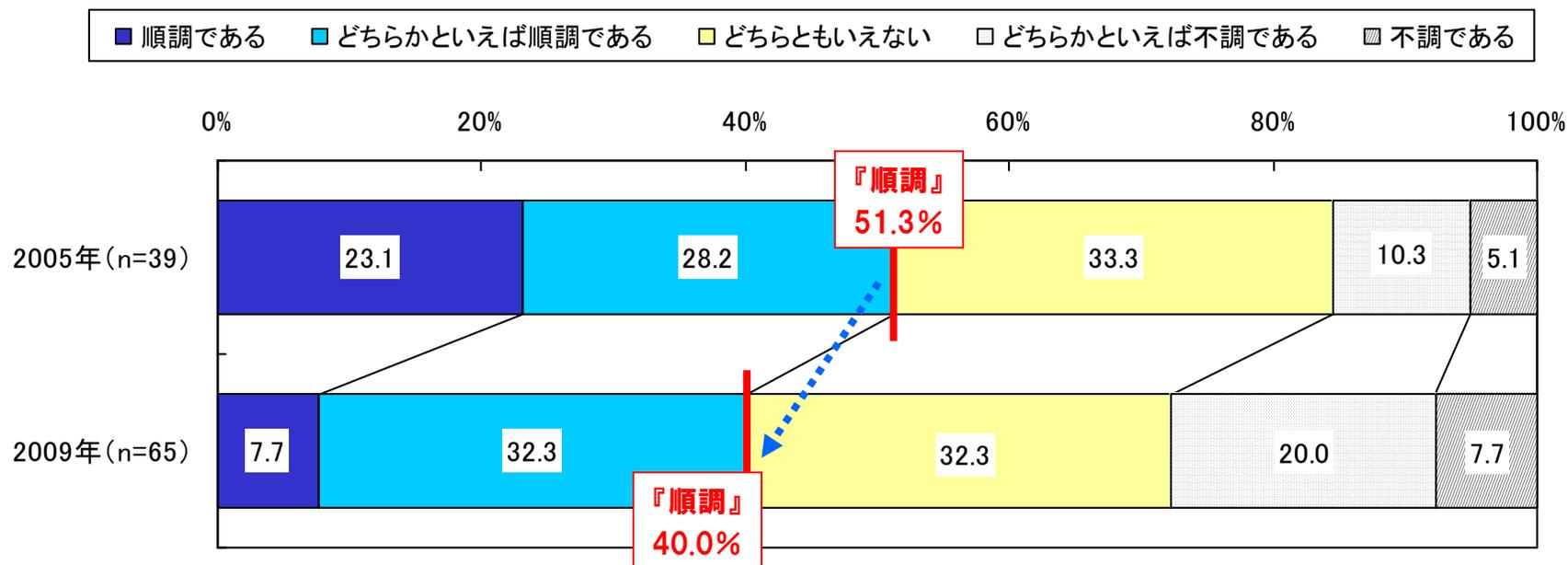
■全体



- 専門研究の進行状況について、『順調』(「順調である」+「どちらかといえば順調である」と考える学生は4割にとどまっており、評価が高いとはいえない。また、2005年と比べても専門研究の進行状況に対する評価は低下。
→大学院生の研究活動に対して、より手厚いサポートが必要とされている可能性。

Q3 あなたが、現在取り組んでいる専門研究の進行状況はどの程度ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

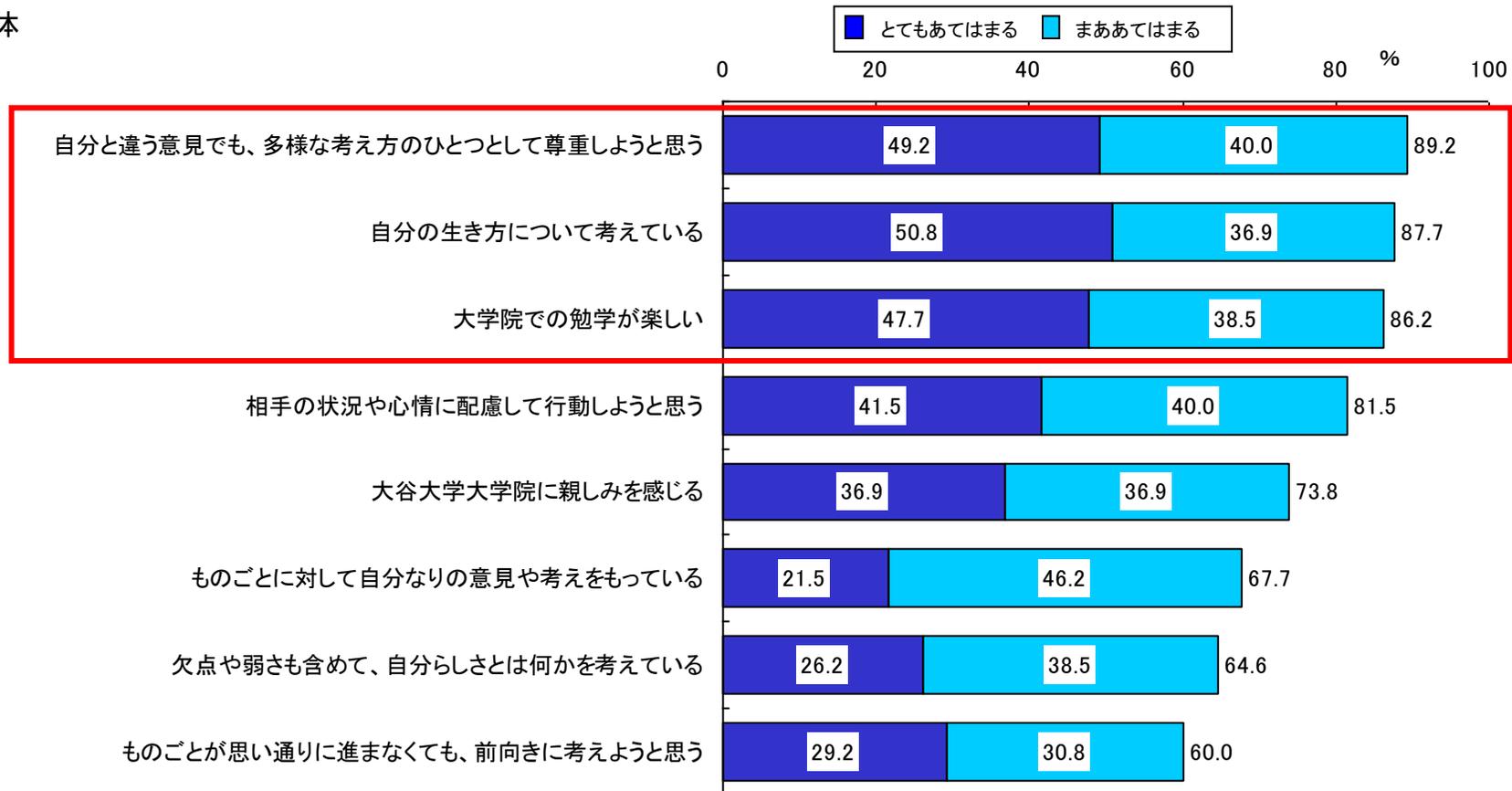
■全体



- すべての項目において、肯定的評価が6割を超えている。特に上位3項目については、9割に近い大学院生が肯定的にとらえている。
- 専門研究の進行状況に対する自己評価はあまり高くないが、「大学院での勉強が楽しい」が9割弱と高い評価を得ていることから、専門研究の進行に多少の困難を感じてはいるものの、その困難も含めて、大学院での学びを前向きにとらえている大学院生が多いと考えられる。

Q4 大谷大学大学院に入学してからこれまでの間において、あなたは以下の項目についてどの程度自分にあてはまると感じますか。
 それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

■全体



(n=65)

注) グラフの右側に記載されている数値は、各項目に対する「評価」
 (「評価」=「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の合計値)を示す。

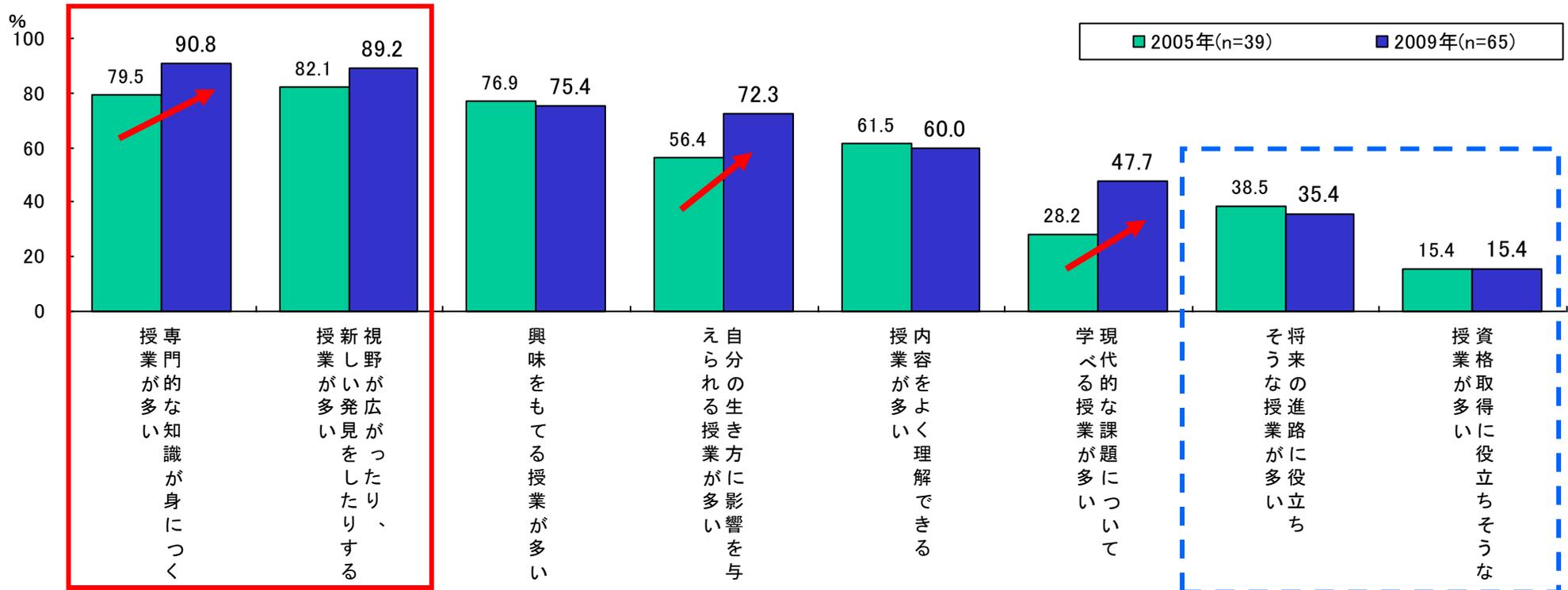
3. 各カテゴリーに対する評価

- 授業に関する8項目では、「専門的な知識が身につく授業が多い」「視野が広がったり、新しい発見をしたりする授業が多い」の2項目が、9割前後の高い評価を得ている。
- 2005年と比較すると、「現代的な課題について学べる授業が多い」「自分の生き方に影響を与えられる授業が多い」「専門的な知識が身につく授業が多い」に対する評価は10ポイント以上上昇。一方、将来の進路や資格取得に関連する項目の評価は依然として低い。

Q5 大谷大学大学院について、以下の項目に関して5段階で評価してください。それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

【A 授業について】

■ 全体



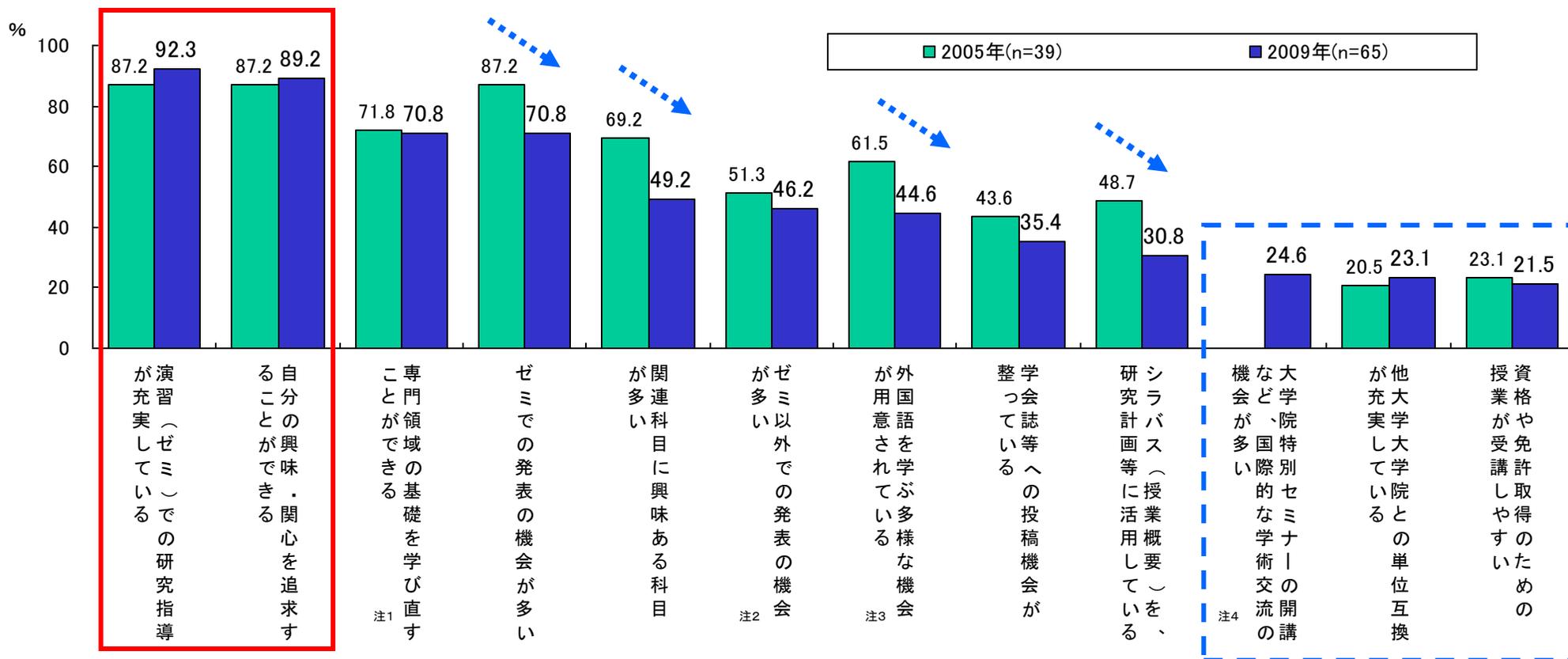
注) グラフの数値は各評価項目に対する「評価」を示す。評価とは「とてもあてはまる」+「まああてはまる」の合計人数が回答者数(n)に占める割合である。
Q5は以下同様。

3-2. 学びの環境の評価

- 学びの環境に関する12項目では、「演習(ゼミ)での研究指導が充実している」と「自分の興味・関心を追求することができる」に対する評価が9割前後と高い。
- 一方、12項目中8項目の評価は5割を切っており、項目間で評価に差がみられる。
- 2005年と比較すると、「ゼミでの発表の機会が多い」「関連科目に興味ある科目が多い」「外国語を学ぶ多様な機会が用意されている」「シラバス(授業概要)を研究計画等に活用している」の4項目に対する評価は、10ポイント以上低下。

【B 学びの環境について】

■ 全体



注1 2005年は「専門領域の基礎を学び直すことができる」

注2 2005年は「ゼミ以外の発表の機会が多い」

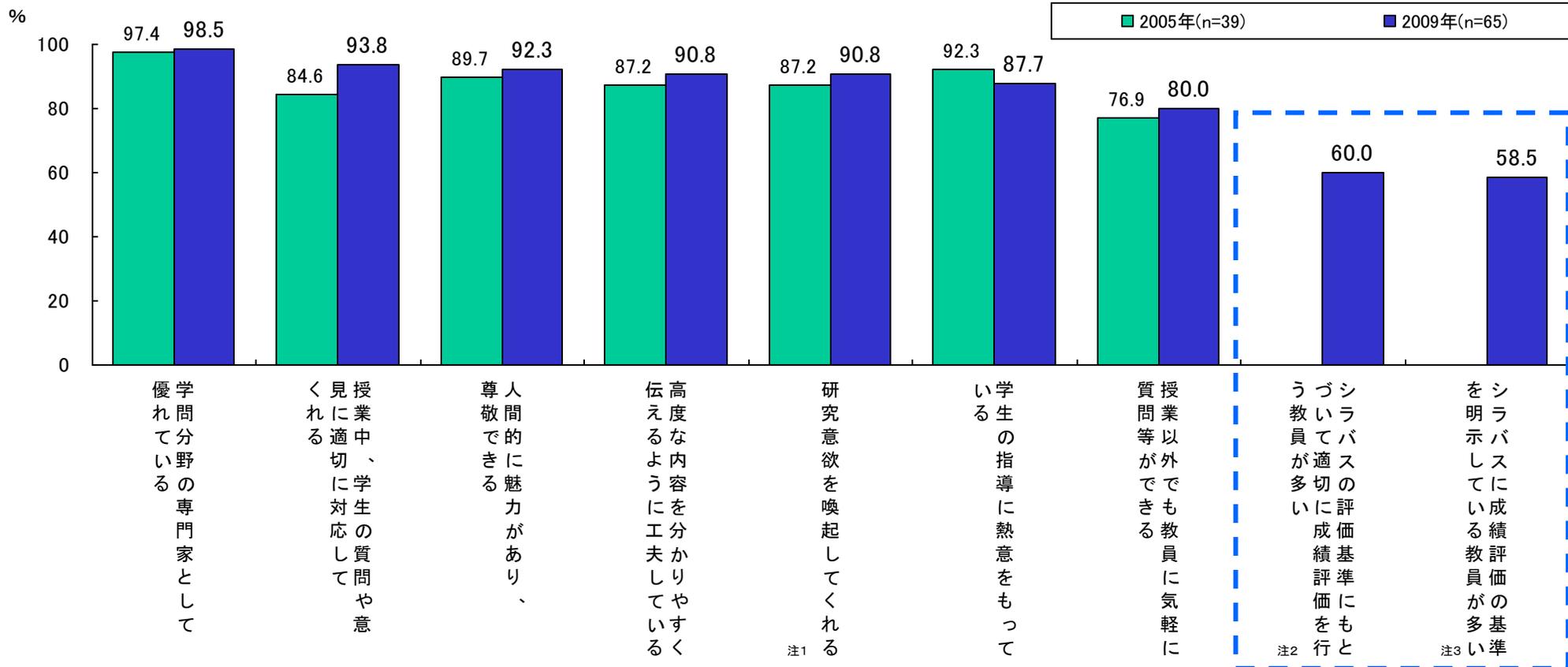
注3 2005年は「外国語を学ぶ機会が用意されている」

注4は2009年に新しく追加された項目

- 教員に関する9項目中5項目の評価が9割を超えており、教員に対する評価は非常に高い。ただし、シラバス関連の2項目の評価は他の項目に比べるとやや低く、6割前後にとどまっている。
- 2005年と比較すると、各項目とも大きな変化はみられないが、ほとんどの項目で評価が上昇している。

【C 教員について】

■ 全体



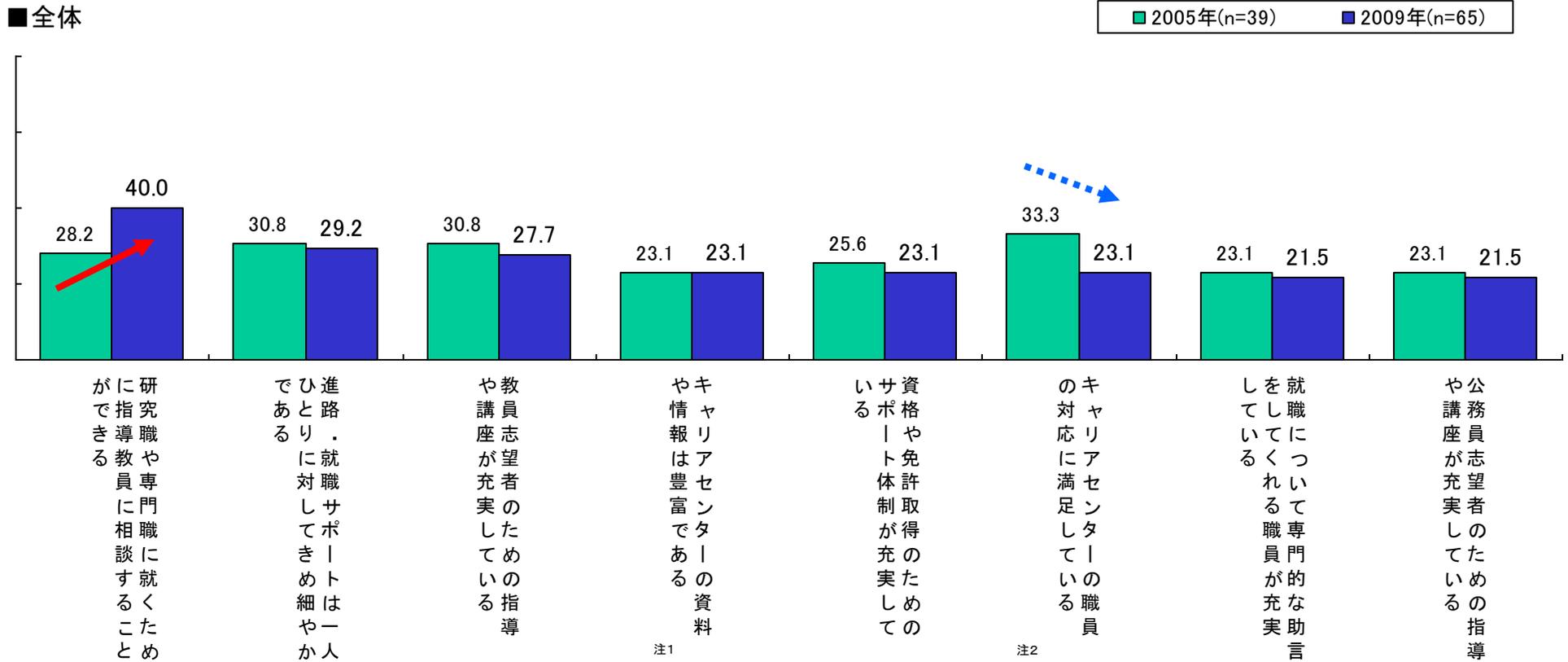
注1 2005年は「勉強意欲を喚起してくれる」

注2、注3は2009年に新しく追加された項目

3-4. 進路・就職サポート体制の評価

- 評価が5割を超える項目はみられず、大学院生の進路・就職サポート体制に対する評価は全体的に低い。
- 2005年と比較すると、「研究職や専門職に就くために指導教員に相談することができる」以外は、ほとんどの項目で評価が低下。特に、「キャリアセンターの職員の対応に満足している」に対する評価は10.2ポイント低下している。

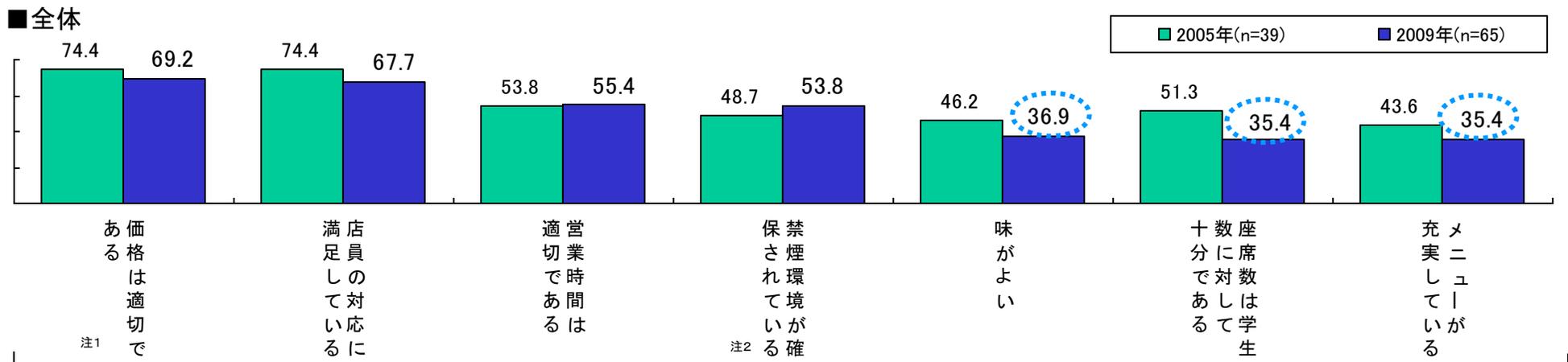
【E 進路・就職サポート体制について】



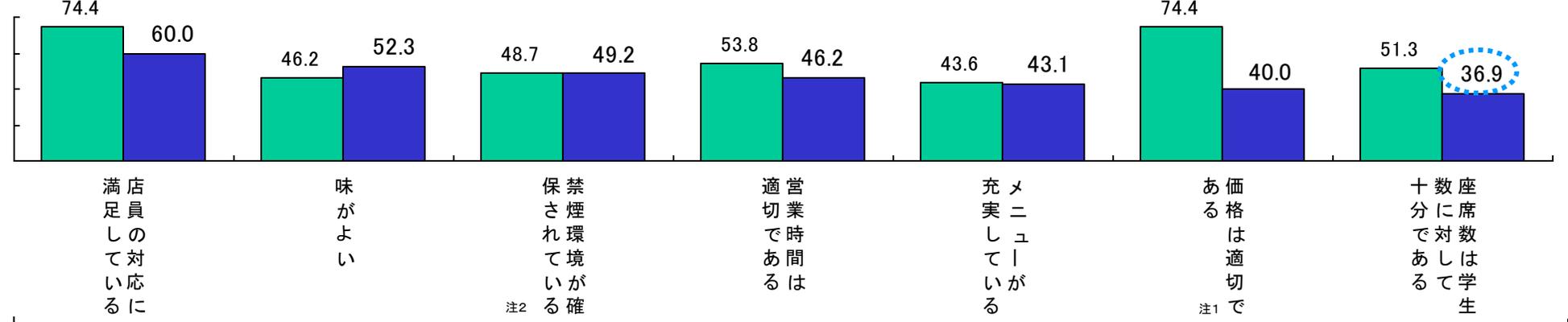
注1 2005年は「進路就職センターの資料や情報は豊富である」
 注2 2005年は「進路就職センターの職員の対応に満足している」

3-5. 福利厚生施設・設備などの評価

- 各施設ごとの項目別評価の平均値を比較すると、最も評価の高い施設は、《学内コンビニエンスストア》(平均62.6%)、2位は《食堂》(平均50.5%)。反対に評価の低い施設は、《談話室1号館1階》(平均38.4%)。
- 《食堂》については、「価格」「店員の対応」に対する評価が6割を超えているが、「味」「座席数」「メニュー」に対する評価は3割程度と比較的低い。
- 《ビッグバレー》については、「店員の対応」への評価が6割を超えているが、「座席数」に対する評価は《食堂》同様に3割程度と低い。



《食堂》 評価の平均値(05年:56.1%→09年:50.5%) 注3

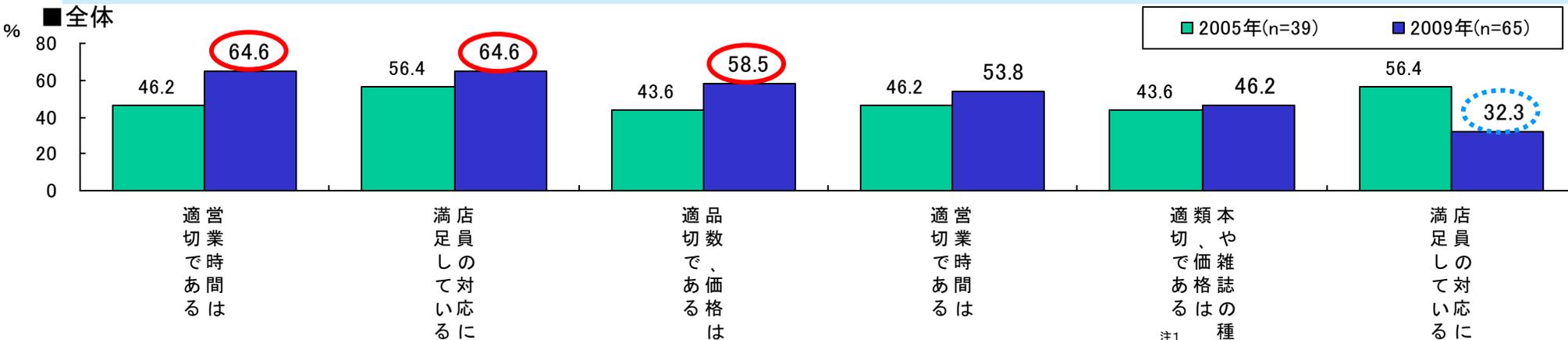


《ビッグバレー》 評価の平均値(05年:56.1%→09年:46.8%) 注3

注1 2005年は「価格が適切である」
 注2 2005年は「禁煙スペースが確保されている」
 注3 2005年は「食堂・ビッグバレー」を一つの項目として質問した

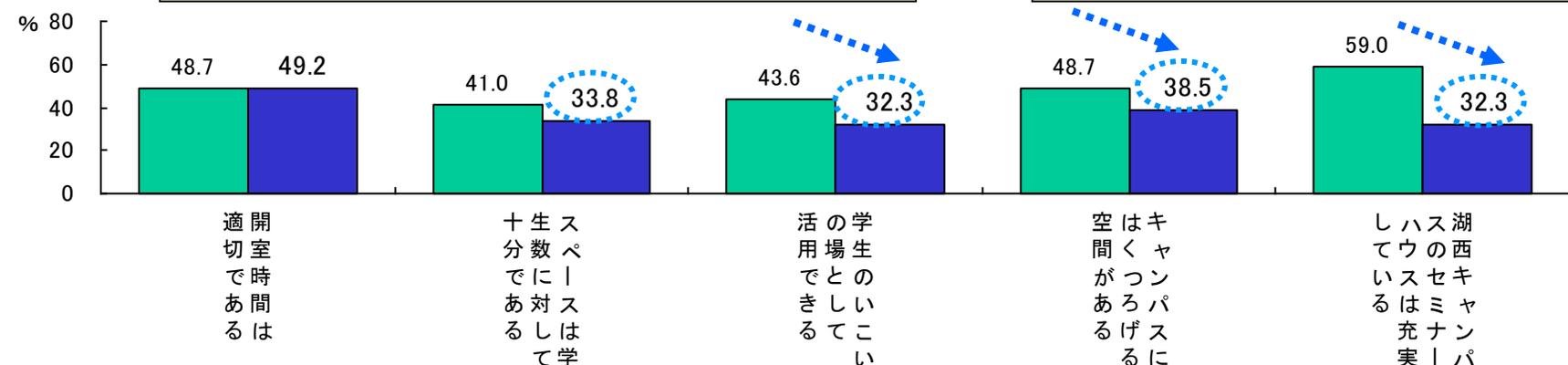
3-5. 福利厚生施設・設備などの評価

- 《学内コンビニエンスストア》に対する評価は3項目とも6割前後と比較的高い。
- 《学内書店》については、「店員の対応」に対する評価が特に低い。
- 《談話室1号館1階》では、特に、「スペースは学生数に対して十分である」「学生のいこいの場として活用できる」の評価が低い。
- また、「キャンパスにはくつろげる空間がある」「湖西キャンパスのセミナーハウスは充実している」も評価が低い。



《学内コンビニエンスストア》 評価の平均値(05年:48.7%→09年:62.6%)^{注2}

《学内書店》 評価の平均値(05年:48.7%→09年:44.1%)^{注2}



《談話室1号館1階》 評価の平均値(05年:44.4%→09年:38.4%)

その他

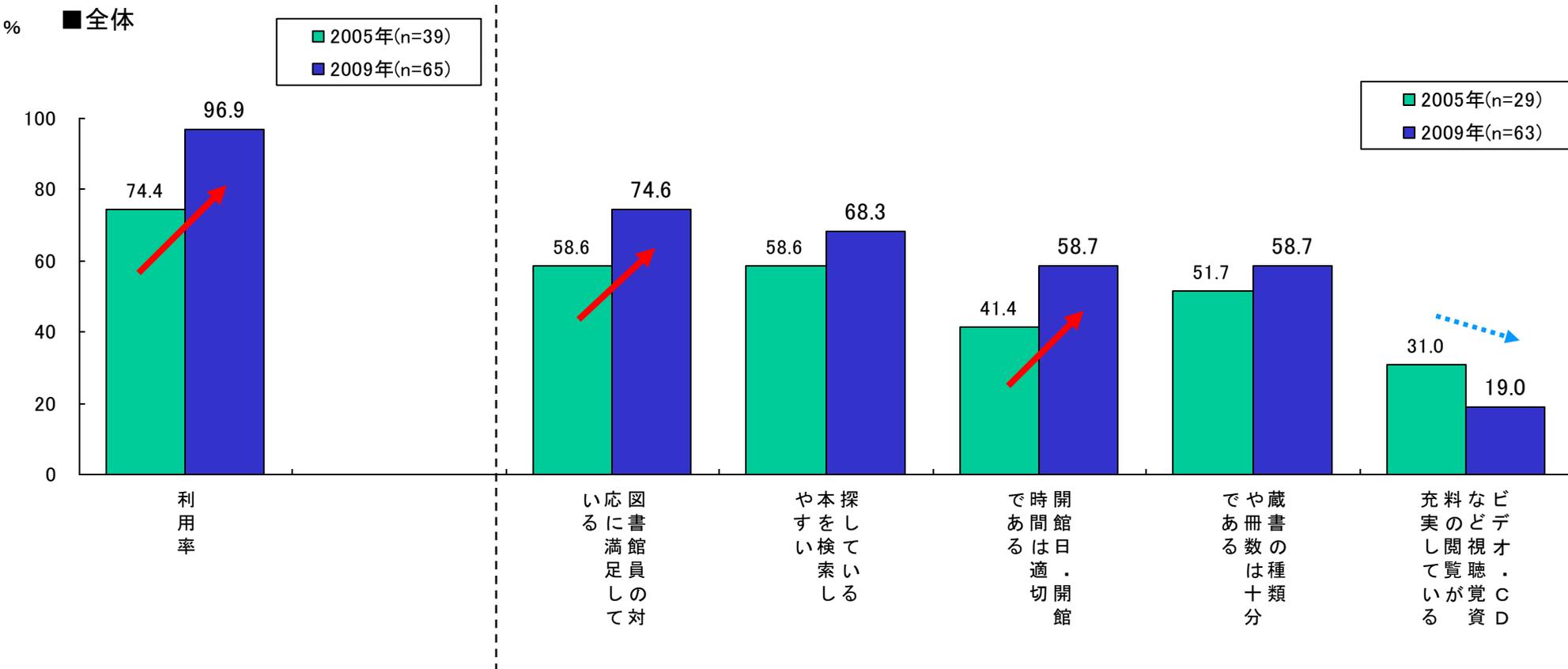
注1 2005年は「品数、価格は適切である」

注2 2005年は「購買部・書店」を一つの項目として質問した

3-6. 教育施設・設備などの評価

■《図書館》の利用率は96.9%と非常に高く、2005年(74.4%)に比べ、22.5ポイント上昇。
また、利用者の評価も全体的に上昇している。ただし、「ビデオ・CDなど視聴覚資料の閲覧が充実している」の評価は12.0ポイント低下。

《図書館》 問. あなたは《図書館》をよく利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの問に回答してください。



■《総合研究室》の利用率は2005年(59.0%)から24.1ポイント上昇して、83.1%と高い。

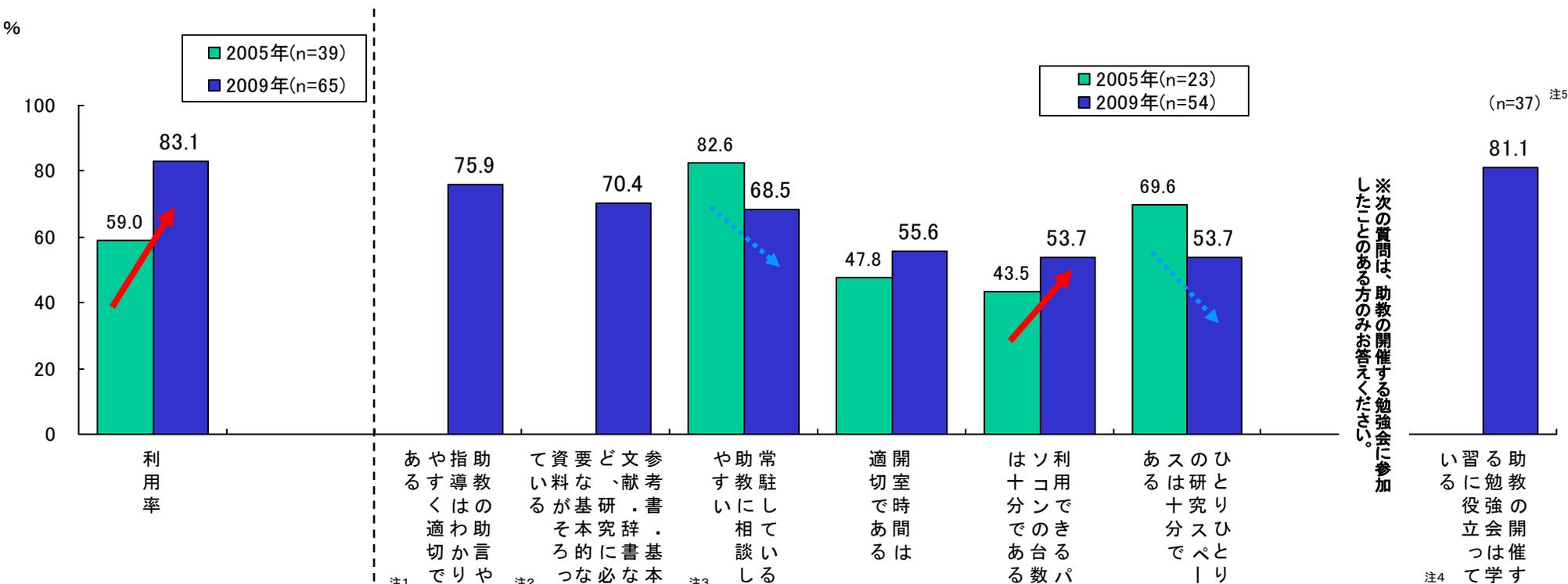
全体的に利用者の評価も高いが、「ひとりひとりの研究スペースは十分である」の評価は、2005年に比べ、15.9ポイント低下している。

また、助教に関連する項目では、「常駐している助教に相談しやすい」の評価は2005年より14.1ポイント低下しているが、「助教の助言や指導はわかりやすく適切である」「助教の開催する勉強会は学習に役立っている」については7割以上が肯定的な評価をしている。

→実際に助教の指導を受けた大学院生からは、助教の活動は高く評価されているものと推測される。

《総合研究室》

■全体 問. あなたは《総合研究室》をよく利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。



※次の質問は、助教の開催する勉強会に参加したことのある方のみお答えください。

注1、注2、注4は2009年に新しく追加された項目

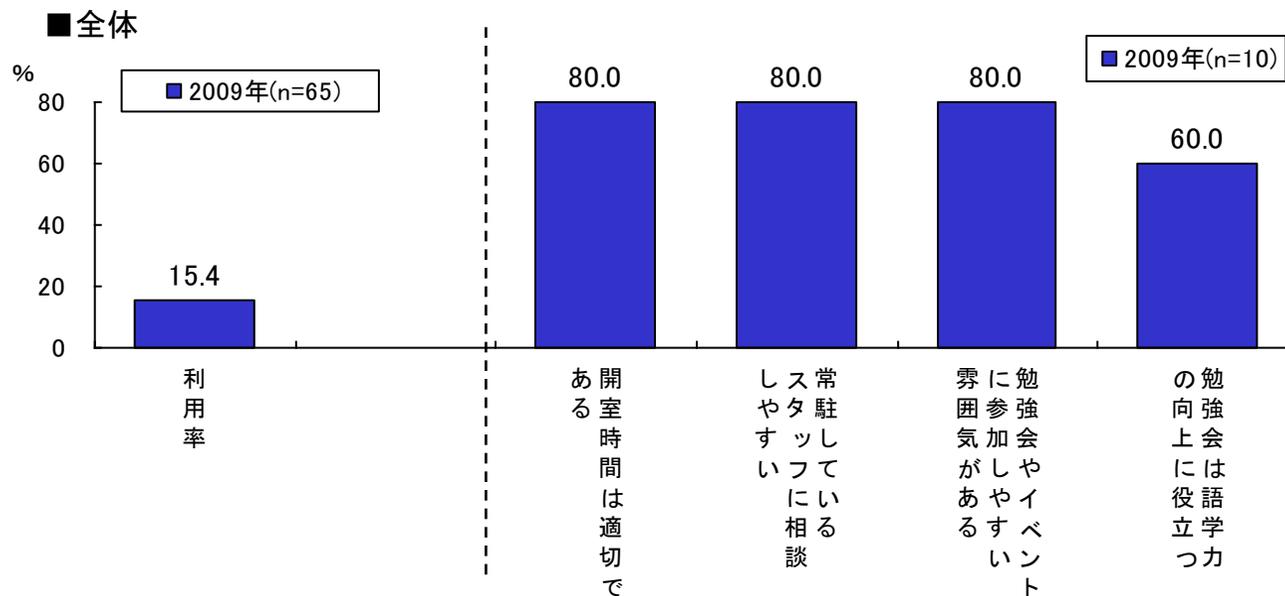
注3 2005年は「常駐している助手に相談しやすい」

注5 「助教の開催する勉強会は学習に役立っている」については回答者ベースで満足度を算出

- 《GLOBAL SQUARE》の利用率は15.4%と低い。
- 利用しない理由としては、「(語学に)興味がない」の他に、「GLOBAL SQUAREの存在自体を知らない」という記述がみられた。
→人数は少ないものの、利用者の評価は高いことから、《GLOBAL SQUARE》については、まず大学院生の認知度を高める取り組みが重要と考えられる。

問. あなたは《GLOBAL SQUARE》をよく利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

《GLOBAL SQUARE》

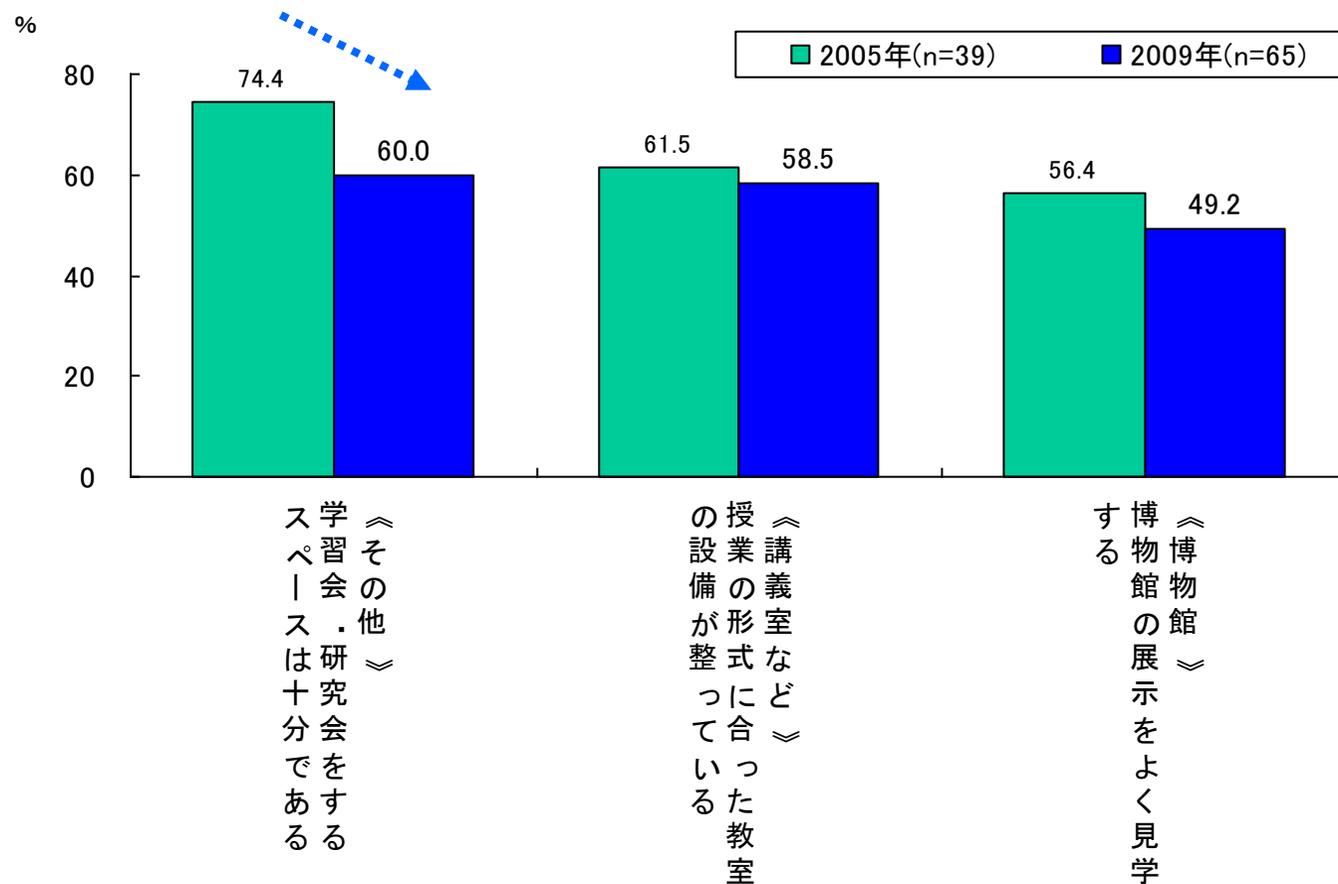


GLOBAL SQUAREを利用しない理由
GLOBAL SQUAREが何か知りません。(修士)(博士)
特に今は利用する必要がないので。(修士)(博士)
今まで、行ききっかけがなかったから。(修士)(博士)
以前行ったが自分に必要な情報はなかった。(修士)
特に用事がないため。(修士)
気軽に利用しても良いのかわからない。(海外についての資料をみってみるなど)(修士)
外国語を履修していないため。(修士)
特にない、興味がないから。(修士)(博士)
留学等を考えていないから。(博士)

■教育施設・設備などの評価は、2005年と比べると、3項目とも評価は低下。特に、「学習会・研究会をするスペースは十分である」の評価は、2005年に比べ、14.4ポイント低下している。

【F 教育施設・設備などについて】

■全体



3-7. 教育・学生生活のサポート体制の評価

<教育に関するサポート体制>

- 学生に対する情報提供に関する項目が上位にあげられている。
- 2005年と比較すると、「海外研修や留学などのサポート体制が充実している」の評価は13.9ポイント低下。

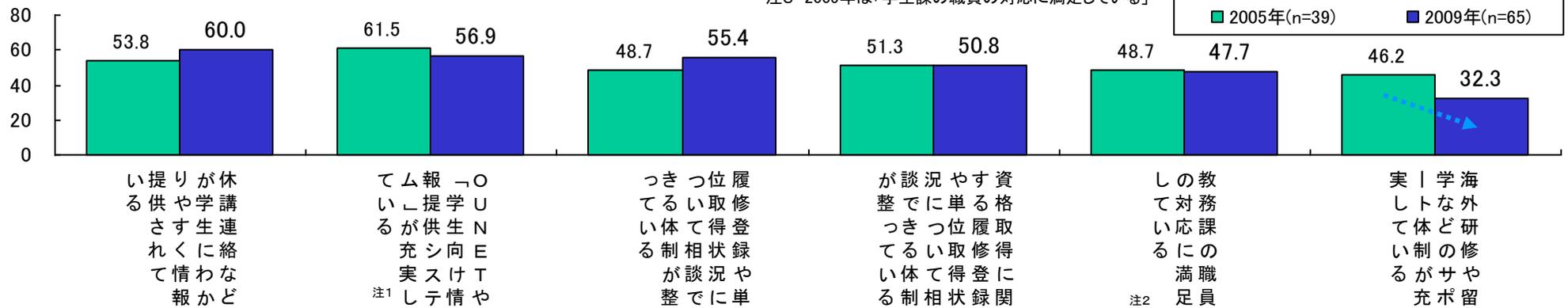
<学生生活に関するサポート体制>

- 「奨学金制度など経済的なサポート体制が整っている」の評価が5割を超えているが、他の4項目はいずれも5割未満で、学生生活に関するサポート体制に対する評価は全体的に低い。また、2005年と比較すると、全項目で評価は低下。

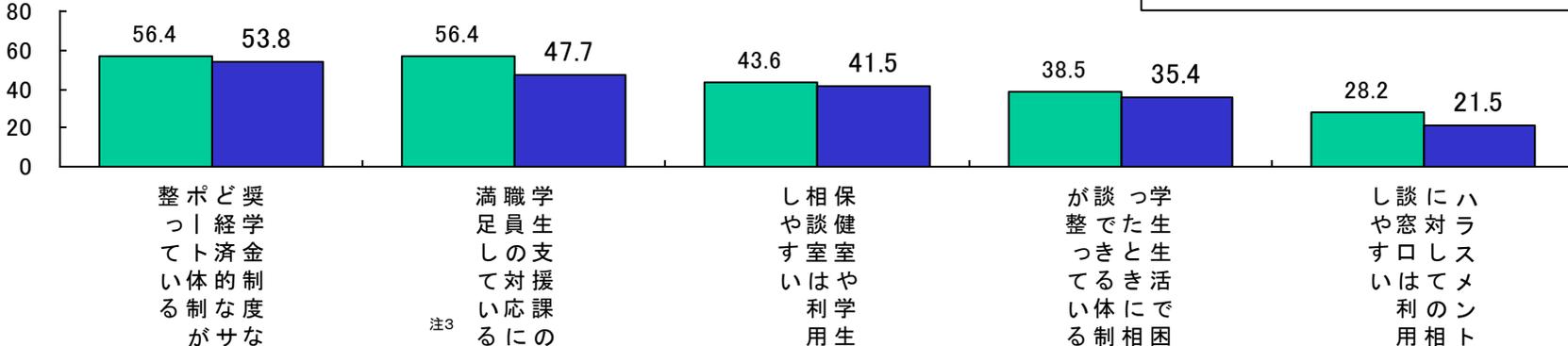
■ 全体 【D 教育・学生生活のサポート体制について】

<教育に関するサポート>

注1 2005年は「OUNETによる『学生向け情報提供システム』が充実している」
 注2 2005年は「教務部の職員の対応に満足している」
 注3 2005年は「学生課の職員の対応に満足している」



<学生生活に関するサポート>

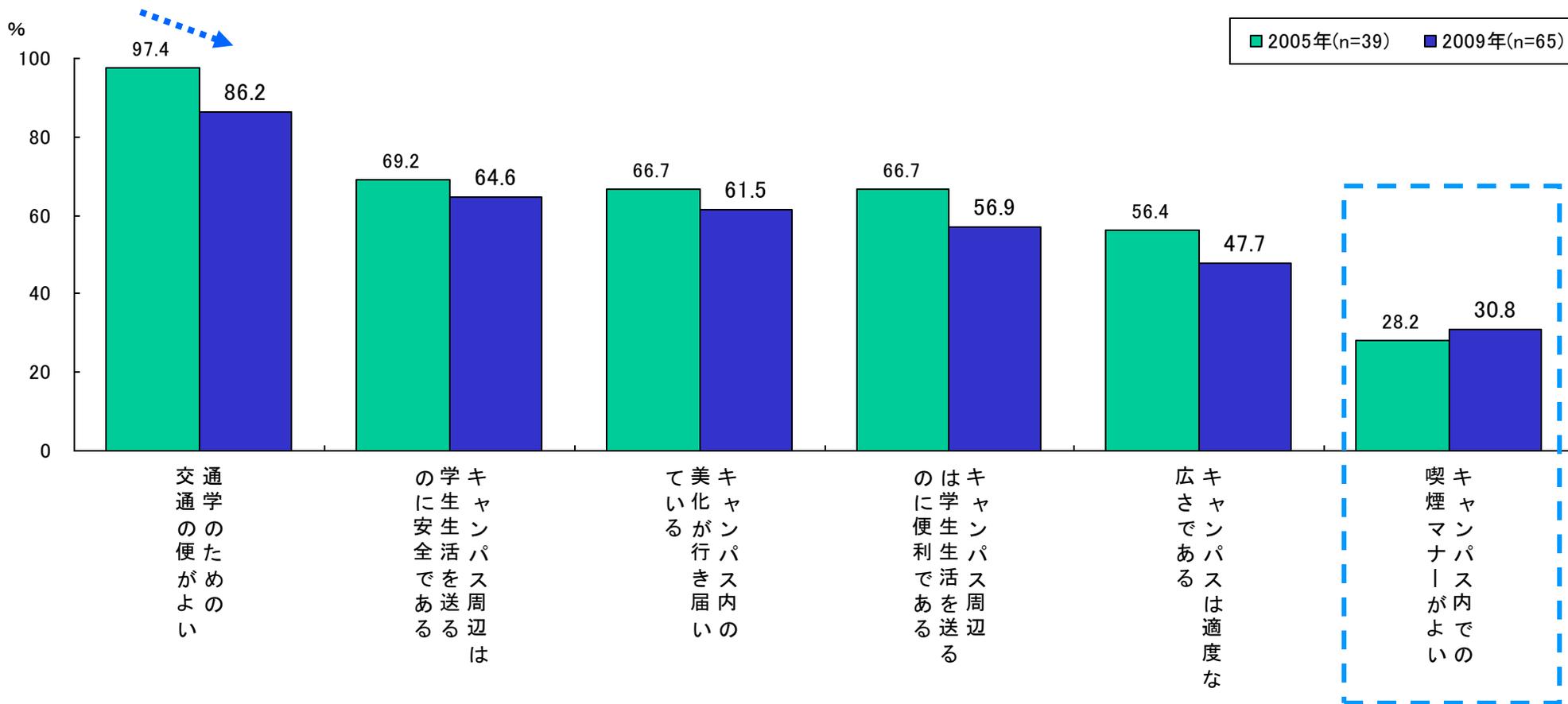


3-8. その他の評価

- その他については、「通学のための交通の便がよい」の評価が突出して高い。またキャンパスの環境や立地（『安全性』『美化』『利便性』）に対する評価も5割を超えている。反対に、「キャンパス内での喫煙マナーがよい」の評価は3割程度と低い。
- 2005年と比較すると、ほとんどの項目で評価は低下、特に、「通学のための交通の便がよい」は、11.2ポイント低下。

【H その他】

■全体



4. 大谷大学大学院に対する満足度

4-1. 各カテゴリーの満足度

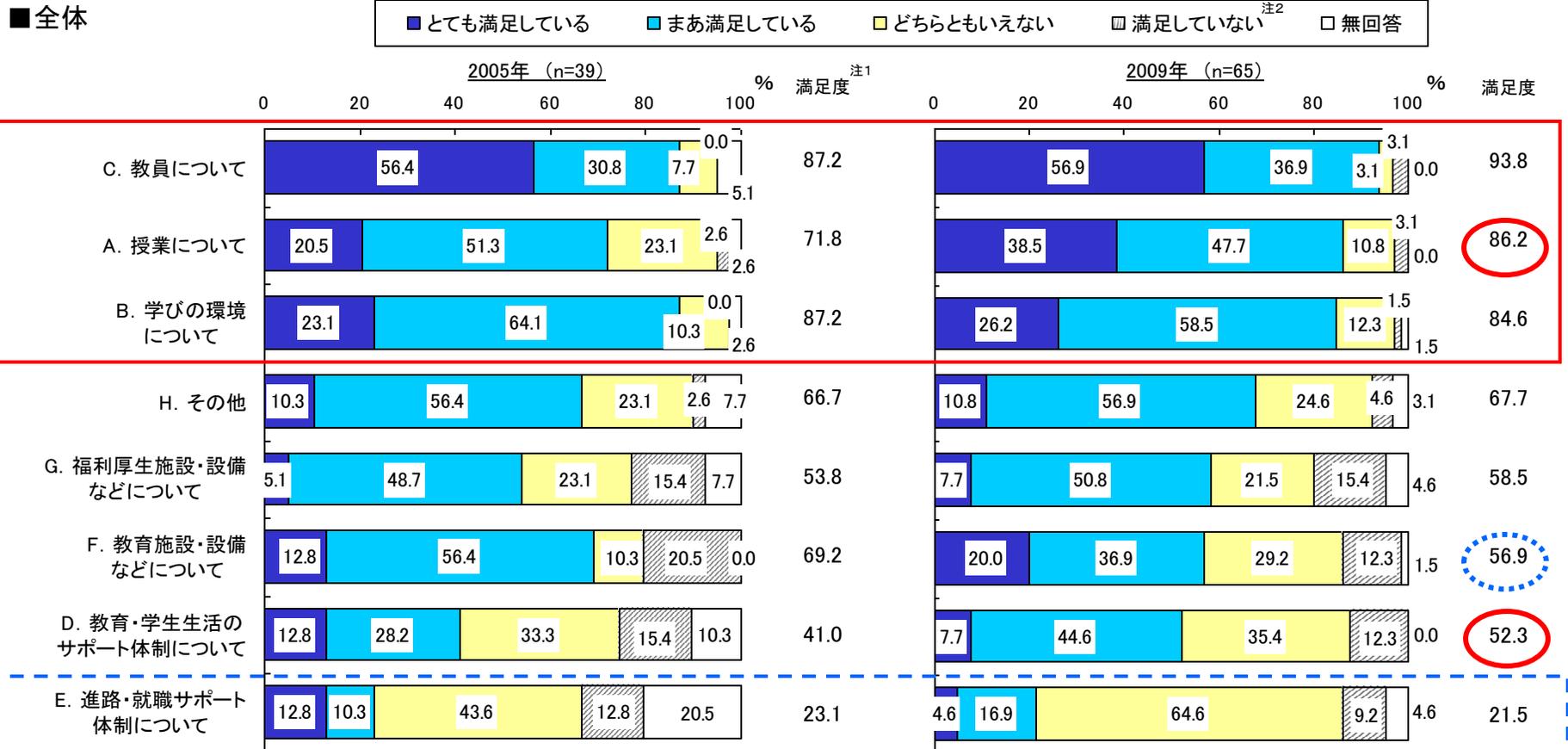
■ 満足度の高さでは、「C.教員」「A.授業」「B.学びの環境」が上位を占め、8割を超える。

→大学院進学の大きな目的となっている『研究の深化』とかかわりの強いカテゴリーで満足度が高い。

■ 「E.進路・就職サポート体制」に対する満足度は低く、2割台にとどまっている。

→大学院生の進路希望にあわせた、よりきめ細かい進路・就職サポートが必要。

■ 2005年と比較すると、「A.授業」「D.教育・学生生活のサポート体制」の満足度は大きく上昇。反対に、「F.教育施設・設備など」に対する満足度は低下。



注1 満足度＝「とても満足している」＋「まあ満足している」

注2 「満足していない」＝「あまり満足していない」＋「まったく満足していない」

4-2. 現在の満足度

■大谷大学大学院に対する現在の満足度は92.3%で、非常に高い。

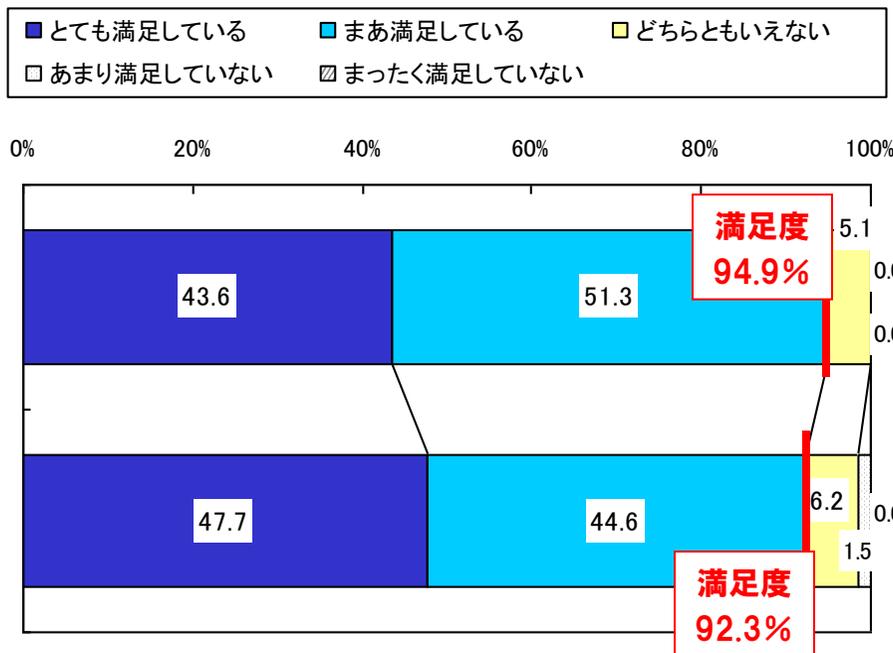
また、2005年と比べても満足度はほとんど変わらず、高い水準を維持している。

■入学時の満足度と比べると、現在の満足度は13.8ポイント上昇。

→入学時の満足度自体も78.5%と高いことから、多くの大学院生は一定の満足感をもって入学し、在学中もその高い満足度を維持、もしくは向上させているものと考えられる。

Q7 あなたは大谷大学大学院に入学してよかったと思いますか。
次の中から、あなたの気持ちに最も近いもの1つに○をつけてください。

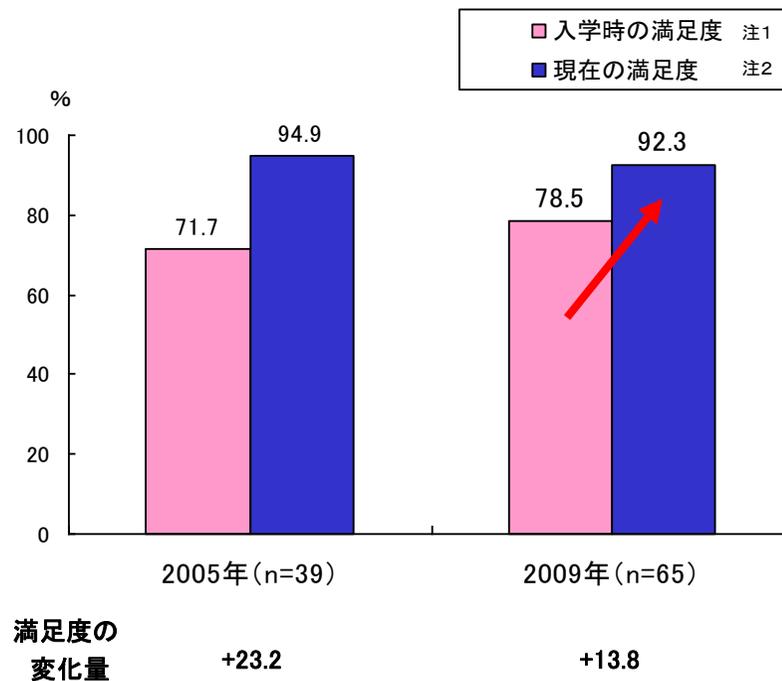
■全体



注) 満足度 = 「とても満足している」 + 「まあ満足している」の合計値

入学時の満足度と現在の満足度の比較

■全体



注1) 入学時の満足度 = 「ぜひ入学したいと思った」 + 「まあ満足して入学した」の合計値
注2) 現在の満足度 = 「とても満足している」 + 「まあ満足している」の合計値

より良い学びの場をめざして

大谷大学 在学生満足度アンケート

2009年11月

大谷大学自己点検・評価委員会

このたび、大谷大学では、学びの場としての本学をより充実させるために文学部・短期大学部に対する学生のみなさんの満足度調査を実施することになりました。
ご記入いただいた内容は調査の集計と分析のみに利用し、回答内容から個人を特定するようなことは一切ありませんので、安心して、思ったことを率直に書いてください。
また、必ず最後の質問まで回答して下さるようお願いいたします。

《注意事項》

- ①アンケートは無記名で、自由な意見を記入してください。
- ②記入は授業時間内で終了するようにし、記入後は教卓に提出してください。
- ③自分が該当しない項目についても、友人・先輩の話など周囲からの情報も判断材料にして評価を記入してください。
- ④記入後、調査票を提出した方から帰っていただいて結構です。
調査票は持ち帰らず、必ず提出して帰ってください。

まず、あなた自身についてお伺いします。下記の質問について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

所属学部・学科 (1つに○)	【文学部】 1. 真宗学科 2. 仏教学科 3. 哲学科 4. 社会学科 5. 歴史学科 6. 文学科 7. 国際文化学科 8. 人文情報学科 9. 教育・心理学科 【短期大学部】 10. 仏教科 11. 文化学科 12. 幼児教育保育科
学 年 (1つに○)	1. 第1学年 2. 第2学年 3. 第3学年 4. 第4学年
性 別 (1つに○)	1. 男性 2. 女性
本学へ入学した際の 入試の種類 (1つに○)	1. 公募制推薦入試 A方式 小論文型 2. 公募制推薦入試 B方式 1教科型 3. 一般入試 第1期 3教科型 4. 一般入試 第1期 2教科型 5. 一般入試 第2期 1教科型 6. 一般入試 大学入試センター試験利用入試 7. 指定校制推薦入学制度 8. 自己推薦入試 9. 文学部第3学年編入試 (推薦編入試・社会人編入試含む)
受験時の本学の 志望順位 (1つに○)	1. 第1志望 2. 第2志望 3. 第3志望以下
本学へ入学した時の あなたの気持ち (最も近いもの 1つに○)	1. ぜひ入学したいと思った 2. まあ満足して入学した 3. 特に満足も不満もなく入学した 4. どちらかといえば不満だった 5. 不満だった
現在の居住形態 (1つに○)	1. 自宅 2. アパート・マンションなど 3. 学生寮
アルバイトについて (1つに○)	1. したことがない 2. 以前していたが、現在はしていない 3. 長期休暇のときのみする 4. 現在しており、週1～2日程度 5. 現在しており、週3～4日程度 6. 現在しており、週5日以上
クラブ・サークル 活動について (1つに○)	1. 学内のクラブ・サークルに加入している 2. 学外のクラブ・サークルに加入している 3. 学内・学外のクラブ・サークル両方に加入している 4. クラブ・サークルには加入していない
あなたの学費は誰が 負担していますか (1つに○)	1. 全額家庭から 2. 大部分を家庭から、一部をアルバイト収入や奨学金から 3. 大部分をアルバイト収入や奨学金から 4. 他からの援助・借入れから 5. その他 ()

I あなたの大谷大学進学について

Q 1 あなたが大学に進学しようと思った理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 学問的知識や専門的技術を身につけたいから | 7. 新たな出会いや友だちがほしいから |
| 2. 幅広い教養を身につけたいから | 8. 学生生活を楽しまたいから |
| 3. 取得したい資格や免許があるから | 9. 周囲の友だちが進学するから |
| 4. 就職するときに有利だから | 10. 家族、先生、先輩などが進学を勧めるから |
| 5. 社会に出たとき、学歴が必要だから | 11. 特に目的はない |
| 6. 将来の進路をよく考える時間がほしいから | 12. その他 () |

Q 2-1 あなたが大谷大学を志願した理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 学びたい学科・分野があるから | 15. 留学や海外研修の制度が充実しているから |
| 2. 興味をもてそうな授業が多いから | 16. 就職率が高いから |
| 3. 外国語教育が充実しているから | 17. 学費が安いから |
| 4. 指導を受けたい教員がいるから | 18. 奨学金制度が充実しているから |
| 5. 施設や設備が充実しているから | 19. 歴史や伝統がある大学だから |
| 6. キャンパスや校舎がきれいだから | 20. 社会的に知名度が高いから |
| 7. キャンパスの周囲の環境がよいから | 21. 高校の先生に勧められたから |
| 8. 交通の便がよいから | 22. 予備校・塾の先生に勧められたから |
| 9. クラブ・サークル活動が活発だから | 23. 家族に勧められたから |
| 10. 学生生活を楽めそうな雰囲気があるから | 24. 志望していた大学に合格しなかったから |
| 11. 仏教系の大学だから | 25. 卒業生が社会で活躍しているから |
| 12. 建学の理念(人間重視)に共感したから | 26. 大学の規模が自分に合っていたから |
| 13. 京都にある大学だから | 27. 入試難易度が自分に合っていたから |
| 14. 資格や免許が取得できるから | 28. その他 () |

Q 2-2 上記Q 2-1の1~28の中で○をつけた項目のうち、あなたが大谷大学に入学を決める際に、特に重視した項目はどれですか。あてはまるものを上位から順に3つ選んでください。

第1位 第2位 第3位

II あなたの大谷大学での取り組みについて

Q 3 あなたは、以下の能力や知識・技能について、大谷大学に入学してからこれまでの間にどの程度身につけてきたと思いますか。それぞれの項目について、1~5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

5=十分身につけてきた 4=ある程度身につけてきた 3=どちらともいえない 2=あまり身につけていない 1=まったく身につけていない

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1. 学科やコースで身につけられる専門的な知識や能力 | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 2. 幅広い分野の教養的知識 | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 3. パソコン操作や情報処理技能 | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 4. 外国語の運用能力 | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 5. コミュニケーション能力 | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 6. プレゼンテーション能力 | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 7. 社会人として必要な一般常識やマナー | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 8. 広い視野や考え方 | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 9. 柔軟な発想力 | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 10. 問題解決能力 | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |

Q 4 大谷大学に入学してからこれまでの間において、あなたは以下の項目についてどの程度自分にあてはまると感じますか。それぞれの項目について、1~5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

- | | |
|------------------------------------|-------------------|
| 1. 大学に来ることが楽しい | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 2. 大谷大学に親しみを感じる | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 3. 欠点や弱さも含めて、自分らしさとは何かを考えている | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 4. 自分の生き方について考えている | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 5. ものごとが思い通りに進まなくても、前向きに考えようと思う | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 6. ものごとに対して自分なりの意見や考えをもっている | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 7. 自分と違う意見でも、多様な考え方のひとつとして尊重しようと思う | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |
| 8. 相手の状況や心情に配慮して行動しようと思う | 5 - 4 - 3 - 2 - 1 |

Ⅲ 大谷大学での学業について

Q5 今年度のあなたの授業への平均出席率はどの程度ですか。あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. ほとんど出席している
2. 8～9割程度出席している
3. 6～7割程度出席している
4. 半分程度出席している
5. 出席は半分以下である

Q6 あなたが、健康状態以外で授業を欠席する理由は何ですか。あてはまる番号 すべて に○をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 授業内容が理解できないから | 7. アルバイトを重視するから |
| 2. 授業内容に物足りなさを感じるから | 8. 出席をとらないから |
| 3. 授業で発言の機会が少ないから | 9. クラスの雰囲気になじめないから |
| 4. 担当教員に不満があるから | 10. 生活リズムが合わないから |
| 5. 友人との付き合いを重視するから | 11. その他 () |
| 6. クラブ・サークル活動を重視するから | |

Q7 あなたは、現在受講している授業の内容をどの程度理解できていると思いますか。
あてはまる番号 1つ に○をつけてください。

1. ほぼすべての授業が理解できる
2. だいたいの授業は理解できる
3. 半分くらいの授業は理解できる
4. 理解できない授業が多い
5. ほとんどの授業が理解できない

Q8 あなたが受講している授業を理解できない場合、その理由は何だと思えますか。
あてはまる番号 すべて に○をつけてください。

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 授業内容が専門的すぎるから | 6. 高校で履修しなかった科目の知識が必要だから |
| 2. 授業の進み方が速すぎるから | 7. 自分の予習や準備が不足しているから |
| 3. 授業内容に興味を持ってないから | 8. 自分の意欲が不足しているから |
| 4. 履修すべき単位数が多すぎるから | 9. その他 () |
| 5. 教員の指導や助言が十分でないから | |

Ⅳ 大谷大学に対する評価や満足度について

Q9 大谷大学について、以下の項目に関して5段階で評価してください。
それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号 1つ に○をつけてください。

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【A 大谷大学での授業について】

1. 本学での授業に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- | | | | | | |
|------------------------------|---|---|---|---|---|
| 1) 専門的な知識が身につく授業が多い | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2) 視野が広がったり、新しい発見をしたりする授業が多い | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3) 興味をもてる授業が多い | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4) 内容をよく理解できる授業が多い | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5) 資格取得に役立つような授業が多い | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6) 将来の進路に役立つような授業が多い | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 7) 現代的な課題について学べる授業が多い | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 8) 自分の生き方に影響を与えられる授業が多い | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

2. 本学での授業を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近いもの 1つ に○をつけてください。

1. とても満足している
2. まあ満足している
3. どちらともいえない
4. あまり満足していない
5. まったく満足していない

「4. あまり満足していない」または「5. まったく満足していない」に○をつけた方にお聞きします。あなたがそう考えた具体的な理由を聞かせてください。

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【B 大谷大学での学びの環境について】

1. 本学での学びの環境に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- 1) 高校と大学の学びをつなぐ教育(「学びの発見」など)が充実している… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 2) 演習(ゼミ)での教育が充実している …………… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 3) 外国語教育が充実している …………… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 4) 選択できる授業科目が豊富に用意されている …………… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 5) 他学科の授業科目を受講しやすい …………… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 6) 1セメスターの登録単位数制限は適切である …………… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 7) 他大学との単位互換が充実している …………… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 8) シラバス(授業概要)は、時間制作成等に役立っている …………… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 9) 留学や語学・文化研修など、国際交流プログラムが充実している …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1

2. 本学での学びの環境を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近いもの1つに○をつけてください。

1. とても満足している
2. まあ満足している
3. どちらともいえない
4. あまり満足していない
5. まったく満足していない

【C 大谷大学の教員について】

1. 本学の教員に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- 1) 授業をよく工夫している教員が多い …………… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 2) 個々の学生の指導に熱意をもっている教員が多い …………… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 3) 勉学意欲をもたせてくれる教員が多い …………… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 4) 学問分野の専門家として優れた教員が多い …………… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 5) 人間的に魅力があり、尊敬できる教員が多い …………… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 6) 授業中、学生の質問や意見に適切に対応してくれる教員が多い …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 7) シラバスに成績評価の基準を明示している教員が多い …………… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 8) シラバスの評価基準にもとづいて適切に成績評価を行う教員が多い …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1

2. 本学の教員を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近いもの1つに○をつけてください。

1. とても満足している
2. まあ満足している
3. どちらともいえない
4. あまり満足していない
5. まったく満足していない

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【D 大谷大学の教育・学生生活のサポート体制について】

1. 本学の教育・学生生活のサポート体制に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

<教育に関するサポート>

- 1) 入学時のオリエンテーションが充実している …………… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 2) 履修登録や単位取得状況について相談できる体制が整っている …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 3) 休講連絡などが学生にわかりやすく情報提供されている …………… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 4) OUNETや「学生向け情報提供システム」が充実している …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 5) 外国語学習や海外研修などのサポート体制が充実している …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 6) 教務課の職員の対応に満足している …………… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 7) 導入科目の授業では、TA(ティーチングアシスタント)に相談できる体制が整っている …………… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 8) TAのアドバイスはわかりやすく、適切である …………… 5 - 4 - 3 - 2 - 1

<学生生活に関するサポート>

- 9) 奨学金制度など経済的なサポート体制が整っている …………… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 10) 学生生活で困ったときに相談できる体制が整っている …………… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 11) 心身の健康管理のための保健室や学生相談室は利用しやすい …… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 12) ハラスメントに対する相談窓口は利用しやすい …………… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 13) 休学や留年をした場合のサポート体制が整っている …………… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 14) クラブ・サークルなど課外活動に対する理解やサポート体制(助成金など)が整っている …………… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 15) 学園祭(黎明祭)への理解やサポート体制が整っている …………… 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 16) 学生支援課の職員の対応に満足している …………… 5 - 4 - 3 - 2 - 1

2. 本学の教育・学生生活のサポート体制を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近いもの1つに○をつけてください。

1. とても満足している
2. まあ満足している
3. どちらともいえない
4. あまり満足していない
5. まったく満足していない

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【E 大谷大学の進路・就職サポート体制について】

1. 本学の進路・就職サポート体制に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- 1) 1、2学年から将来の進路について考える機会が豊富である 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 2) 進路・就職サポートは一人ひとりに対してきめ細やかである 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 3) キャリアセンターの資料や情報が豊富である 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 4) 就職について専門的な助言をしてくれる職員が充実している
(企業での職業体験をもつキャリアアドバイザーなど) 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 5) 就職に関するガイダンスや対策講座が充実している 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 6) 適性検査や採用試験対策模試などが充実している 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 7) インターンシップなど、学外での体験制度が充実している 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 8) 公務員志望者のための指導や講座が充実している 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 9) 教員志望者のための指導や講座が充実している 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 10) 資格や免許取得のためのサポート体制が充実している 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 11) 大学院進学のための資料や情報が豊富である 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 12) 卒業生 (OB・OG) に話を聞く機会が充実している 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 13) キャリアセンターの職員の対応に満足している 5 - 4 - 3 - 2 - 1

2. あなたは、本学の進路・就職サポート企画 (ガイダンス、セミナー等) に参加したことがありますか。
あてはまる番号 1 つに○をつけてください。
なお、進路・就職サポート企画について知らなかった人は「5」に○をしてください。

1. ほとんど参加している
2. ある程度参加している
3. あまり参加していない
4. まったく参加していない
5. 企画について知らなかった

3. 本学の進路・就職サポート体制を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近いもの 1 つに○をつけてください。

1. とても満足している
2. まあ満足している
3. どちらともいえない
4. あまり満足していない
5. まったく満足していない

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【F 大谷大学の福利厚生施設・設備などについて】

1. 本学の福利厚生施設・設備に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>《食堂》</p> <p>《ビッグバレー》</p> <p>《談話室 1号館1階》</p> <p>《学内コンビニエンスストア》</p> <p>《学内書店》</p> <p>《その他》</p> | <p>1) 営業時間は適切である 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> <p>2) 座席数は学生数に対して十分である 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> <p>3) メニューが充実している 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> <p>4) 価格は適切である 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> <p>5) 味がよい 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> <p>6) 禁煙環境が確保されている 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> <p>7) 店員の対応に満足している 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> <p>8) 営業時間は適切である 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> <p>9) 座席数は学生数に対して十分である 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> <p>10) メニューが充実している 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> <p>11) 価格は適切である 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> <p>12) 味がよい 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> <p>13) 禁煙環境が確保されている 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> <p>14) 店員の対応に満足している 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> <p>15) 開室時間は適切である 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> <p>16) スペースは学生数に対して十分である 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> <p>17) 学生のいこいの場として活用できる 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> <p>18) 営業時間は適切である 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> <p>19) 品数、価格は適切である 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> <p>20) 店員の対応に満足している 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> <p>21) 営業時間は適切である 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> <p>22) 本や雑誌の種類、価格は適切である 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> <p>23) 店員の対応に満足している 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> <p>24) キャンパスにはくつろげる空間がある 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> <p>25) クラブ・サークル活動など課外活動のための施設は充実している 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> <p>26) 湖西キャンパスのセミナーハウス (研修施設) は充実している 5 - 4 - 3 - 2 - 1</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

2. 上記にあげたような本学の福利厚生施設・設備を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近いもの 1 つに○をつけてください。

1. とても満足している
2. まあ満足している
3. どちらともいえない
4. あまり満足していない
5. まったく満足していない

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【G 大谷大学の教育施設・設備などについて】

1. 本学の教育施設・設備に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

《講義室など》	1) 授業の形式に合った教室の設備が整っている	5	4	3	2	1
《情報処理教室》	2) 開室時間は適切である	5	4	3	2	1
(情報処理実習室を含む)	3) 利用できるパソコンの台数は十分である	5	4	3	2	1
	4) 職員や情報アシスタントの対応に満足している	5	4	3	2	1
《博物館》	5) 博物館の展示をよく見学する	5	4	3	2	1
《体育館》	6) 体育館・湖西キャンパスの体育施設は充実している	5	4	3	2	1
《自習スペース》	7) 自習のスペースは学生数に対して十分である	5	4	3	2	1

2. あなたは《図書館》をよく利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい → 「1. はい」に○をつけた方は、a)～e)の質問に回答してください。
2. いいえ
- | | | | | | |
|----------------------------|---|---|---|---|---|
| a) 開館日・開館時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| b) 探している本を検索しやすい | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| c) 蔵書の種類や冊数は十分である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| d) ビデオ・CDなど視聴覚資料の閲覧が充実している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| e) 図書館員の対応に満足している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

「2. いいえ」に○をつけた方は、図書館を利用しない理由を聞かせてください。

3. あなたは《総合研究室》をよく利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい → 「1. はい」に○をつけた方は、a)～e)の質問に回答してください。
2. いいえ
- | | | | | | |
|-------------------------|---|---|---|---|---|
| a) 開室時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| b) 利用できるパソコンの台数は十分である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| c) 常駐している助教に相談しやすい | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| d) 助教の助言や指導はわかりやすく適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
- ※次の質問は、助教の開催する勉強会に参加したことのある方のみお答えください。
- | | | | | | |
|-------------------------|---|---|---|---|---|
| e) 助教の開催する勉強会は学習に役立っている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|-------------------------|---|---|---|---|---|

「2. いいえ」に○をつけた方は、総合研究室を利用しない理由を聞かせてください。

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【G 大谷大学の教育施設・設備などについて 続き】

4. あなたは《GLOBAL SQUARE》をよく利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい → 「1. はい」に○をつけた方は、a)～d)の質問に回答してください。
2. いいえ
- | | | | | | |
|--------------------------|---|---|---|---|---|
| a) 開室時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| b) 常駐しているスタッフに相談しやすい | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| c) 勉強会やイベントに参加しやすい雰囲気がある | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| d) 勉強会は語学力の向上に役立つ | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

「2. いいえ」に○をつけた方は、GLOBAL SQUAREを利用しない理由を聞かせてください。

5. あなたは《教職支援センター》をよく利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい → 「1. はい」に○をつけた方は、a)～d)の質問に回答してください。
2. いいえ
- | | | | | | |
|---------------------------|---|---|---|---|---|
| a) 開室時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| b) 常駐しているスタッフに相談しやすい | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| c) 図書や資料が十分にそろっている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| d) 教職センターだよりには役立つ情報が載っている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

「2. いいえ」に○をつけた方は、教職支援センターを利用しない理由を聞かせてください。

6. あなたは《実習支援センター》をよく利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい → 「1. はい」に○をつけた方は、a)～d)の質問に回答してください。
2. いいえ
- | | | | | | |
|----------------------|---|---|---|---|---|
| a) 開室時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| b) 常駐しているスタッフに相談しやすい | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| c) 図書や資料が十分にそろっている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| d) 実習手続きの窓口として適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

「2. いいえ」に○をつけた方は、実習支援センターを利用しない理由を聞かせてください。

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【G 大谷大学の教育施設・設備などについて 続き】

7. あなたは、短期大学部の《一般研究室》をよく利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい → 「1. はい」に○をつけた方は、a)、b)の質問に教えてください。
2. いいえ
- a) 開室時間は適切である 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- b) 常駐している助教や室員に相談しやすい 5 - 4 - 3 - 2 - 1

「2. いいえ」に○をつけた方は、一般研究室を利用しない理由を聞かせてください。

8. 上記にあげたような本学の教育施設・設備 (10~11ページも含めて) を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近いもの1つに○をつけてください。

1. とても満足している
2. まあ満足している
3. どちらともいえない
4. あまり満足していない
5. まったく満足していない

【H その他】

1. 下記の項目について、5段階で評価してください。

- 1) キャンパス内の美化が行き届いている 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 2) キャンパス内での喫煙マナーがよい 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 3) キャンパスは適度な広さである 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 4) 通学のための交通の便がよい 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 5) キャンパス周辺は学生生活を送るのに便利である 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 6) キャンパス周辺は学生生活を送るのに安全である 5 - 4 - 3 - 2 - 1

2. 上記にあげたような項目を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近いもの1つに○をつけてください。

1. とても満足している
2. まあ満足している
3. どちらともいえない
4. あまり満足していない
5. まったく満足していない

V 大谷大学の建学の理念 (教育機関として果たすべき目標) について

大谷大学には、【人間が大好きです。】というキャッチフレーズでうたわれるように、「仏教精神にもとづいた人間と人間の関係 (自分との関係、他者との関係) を重視した教育を行い、仏教ないし人間にかかわる諸学問の研究成果を広く社会に公開する」という建学の理念があります。これについて、以下の設問に答えてください。

Q10-1 あなたは、上記のような建学の理念について知っていましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 大学に入学する前から知っていた
2. 大学に入学してから知った
3. 今回初めて知った

Q10-2 あなたは、建学の理念で言われる本学の人間関係重視の姿勢を、どのような機会に感じることがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 「人間学」や「仏教と人間」の授業
2. 導入科目 (「学びの発見」) の授業
3. 演習 (ゼミ) の授業
4. 各種講義
5. 各教員による個別指導
6. 総合研究室での助教による指導
7. 各課窓口・各センター等での事務職員によるサポート
8. クラブ・サークル等の課外活動
9. 資格取得のための各種実習
10. インターンシップ
11. ビッグバレーなどでの自由な談話
12. 各種宗教行事
13. その他 ()

Ⅵ 大谷大学に対する満足度について

Q11 あなたは大谷大学に入学してよかったと思いますか。次の中から、あなたの気持ちに最も近いもの1つに○をつけてください。

1. とても満足している
2. まあ満足している
3. どちらともいえない
4. あまり満足していない
5. まったく満足していない

Q12 大谷大学に満足している点、満足していない点、あるいは入学前と入学後で大きく印象が変わった点について自由にお書きください（記述スペース不足のばあいは、次ページの余白をご利用ください）。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

より良い学びの場をめざして 大谷大学大学院 在学生満足度アンケート

2009年11月
大谷大学自己点検・評価委員会

このたび、大谷大学では、学びの場としての本学をより充実させるために大学院に
対する学生のみなさんの満足度調査を実施することになりました。
ご記入いただいた内容は調査の集計と分析のみに利用し、回答内容から個人を特定する
ようなことは一切ありませんので、安心して、思ったことを率直に書いてください。
また、必ず最後の質問まで回答して下さるようお願いいたします。

《注意事項》

- ①授業時間中に回答は行いません。各自持ち帰って回答したものを、
2009年11月20日(金)までに企画課(博綜館1階)に備え付けられた
回収ボックスに投函してください。
- ②アンケートは無記名で、自由な意見を記入してください。
- ③自分が該当しない項目についても、友人・先輩の話など周囲からの情報も判断材料に
して評価を記入してください。
- ④自由記述について記述スペースが不足する場合は、ページの余白を利用してください。

まず、あなた自身についてお伺いします。下記の質問について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

所属研究科・専攻 (1つに○)	【文学研究科】 1. 真宗学専攻 2. 仏教学専攻 3. 哲学専攻 4. 社会学専攻 5. 仏教文化専攻 6. 国際文化専攻
学 年 (1つに○)	1. 修士課程第1学年 2. 修士課程第2学年 3. 博士後期課程第1学年 4. 博士後期課程第2学年 5. 博士後期課程第3学年
性 別 (1つに○)	1. 男性 2. 女性
修士課程の方に、 博士後期課程進学に ついてお聞きします (1つに○)	1. ぜひ進学したいと思っている 2. できれば進学したいと思っている 3. 進学は考えていない
博士後期課程の方に、 課程修了について お聞きします (1つに○)	1. ぜひ課程修了したいと思っている(学位論文を提出し、学位を取る) 2. できれば課程修了したいと思っている 3. 課程修了は考えていない
出身大学 (1つに○)	1. 大谷大学 2. 他大学
本学へ入学した時の あなたの気持ち (最も近いもの 1つに○)	1. ぜひ入学したいと思った 2. まあ満足して入学した 3. 特に満足も不満もなく入学した 4. どちらかといえば不満だった 5. 不満だった

I あなたの大学院での学業・取り組みについて

Q1 あなたが大学院に進学しようと思った理由は何ですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 現在専攻している分野をさらに深く研究したかったから
2. 希望する指導教員や研究対象が本学にあったから
3. 将来、研究者になることをめざしていたから
4. 資格や免許取得に有利だから
5. めざす分野での就職に有利だから
6. 将来について考える時間が欲しかったから
7. 大学卒業後、就職できなかったから
8. その他(具体的に: _____)

Q2 あなたが、大学院で意欲的に取り組んでいることは何ですか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 専門分野の研究
2. 資格・免許取得のための勉強
3. 就職のための準備
4. ボランティア活動
5. アルバイト
6. その他(具体的に: _____)

Q3 あなたが、現在取り組んでいる専門研究の進行状況はどの程度ですか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 順調である
2. どちらかといえば順調である
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば不調である
5. 不調である

Q4 大谷大学大学院に入学してからこれまでの間において、あなたは以下の項目についてどの程度自分に
あてはまると感じますか。
それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

1. 大学院での勉学が楽しい 5 - 4 - 3 - 2 - 1
2. 大谷大学大学院に親しみを感じる 5 - 4 - 3 - 2 - 1
3. 欠点や弱さも含めて、自分らしさとは何かを考えている 5 - 4 - 3 - 2 - 1
4. 自分の生き方について考えている 5 - 4 - 3 - 2 - 1
5. ものごとが思い通りに進まなくても、前向きに考えようと思う 5 - 4 - 3 - 2 - 1
6. ものごとに対して自分なりの意見や考えをもっている 5 - 4 - 3 - 2 - 1
7. 自分と違う意見でも、多様な考え方のひとつとして尊重しようと思う ... 5 - 4 - 3 - 2 - 1
8. 相手の状況や心情に配慮して行動しようと思う 5 - 4 - 3 - 2 - 1

II 大谷大学大学院に対する評価や満足度について

Q5 大谷大学大学院について、以下の項目に関して5段階で評価してください。
それぞれの項目について、1～5のあてはまる番号1つに○をつけてください。

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【A 授業について】

1. 授業に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- 1) 専門的な知識が身につく授業が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 2) 視野が広がったり、新しい発見をしたりする授業が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 3) 興味をもてる授業が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 4) 内容をよく理解できる授業が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 5) 資格取得に役立つような授業が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 6) 将来の進路に役立つような授業が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 7) 現代的な課題について学べる授業が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 8) 自分の生き方に影響を与えられる授業が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1

2. 授業を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近いもの1つに○をつけてください。
また、その理由をご記入ください。

1. とても満足している
2. まあ満足している
3. どちらともいえない
4. あまり満足していない
5. まったく満足していない

理由

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【B 学びの環境について】

1. 学びの環境に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- 1) 演習(ゼミ)での研究指導が充実している 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 2) 外国語を学ぶ多様な機会が用意されている 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 3) 関連科目に興味ある科目が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 4) 資格や免許取得のための授業が受講しやすい 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 5) 他大学大学院との単位互換が充実している 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 6) シラバス(授業概要)を、研究計画等に活用している 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 7) 専門領域の基礎を学び直すことができる 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 8) 自分の興味・関心を追求することができる 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 9) ゼミでの発表の機会が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 10) ゼミ以外での発表の機会が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 11) 学会誌等への投稿機会が整っている 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 12) 大学院特別セミナーの開講など、国際的な学術交流の機会が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 13) 教えることを体験する機会としてのTA、情報アシスタント等に参加することについて、あなたはどのように思いますか。自由にお書きください。

2. 学びの環境を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近いもの1つに○をつけてください。また、その理由をご記入ください。

- 1. とても満足している
- 2. まあ満足している
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり満足していない
- 5. まったく満足していない

理由

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【C 教員について】

1. 教員に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- 1) 高度な内容を分かりやすく伝えるように工夫している 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 2) 学生の指導に熱意をもって 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 3) 研究意欲を喚起してくれる 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 4) 学問分野の専門家として優れている 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 5) 人間的に魅力があり、尊敬できる 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 6) 授業中、学生の質問や意見に適切に対応してくれる 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 7) 授業以外でも教員に気軽に質問等ができる 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 8) シラバスに成績評価の基準を明示している教員が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 9) シラバスの評価基準にもとづいて適切に成績評価を行う教員が多い 5 - 4 - 3 - 2 - 1

2. 教員を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近いもの1つに○をつけてください。また、その理由をご記入ください。

- 1. とても満足している
- 2. まあ満足している
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり満足していない
- 5. まったく満足していない

理由

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【D 教育・学生生活のサポート体制について】

1. 教育・学生生活のサポート体制に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

<教育に関するサポート>

- 1) 履修登録や単位取得状況について相談できる体制が整っている 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 2) 資格取得に関する履修登録や単位取得状況について相談できる体制が整っている 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 3) 休講連絡などが学生にわかりやすく情報提供されている 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 4) OUNETや「学生向け情報提供システム」が充実している 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 5) 海外研修や留学などのサポート体制が充実している 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 6) 教務課の職員の対応に満足している 5 - 4 - 3 - 2 - 1

<学生生活に関するサポート>

- 7) 奨学金制度など経済的なサポート体制が整っている 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 8) 学生生活で困ったときに相談できる体制が整っている 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 9) 保健室や学生相談室は利用しやすい 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 10) ハラスメントに対する相談窓口は利用しやすい 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 11) 学生支援課の職員の対応に満足している 5 - 4 - 3 - 2 - 1

2. 教育・学生生活のサポート体制を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近いもの1つに○をつけてください。また、その理由をご記入ください。

- 1. とても満足している
- 2. まあ満足している
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり満足していない
- 5. まったく満足していない

理由

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【E 進路・就職サポート体制について】

1. 進路・就職サポートに関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- 1) 進路・就職サポートは一人ひとりに対してきめ細やかである 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 2) キャリアセンターの資料や情報は豊富である 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 3) 就職について専門的な助言をしてくれる職員が充実している
(企業での職業体験をもつキャリアアドバイザーなど) 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 4) 研究職や専門職に就くために指導教員に相談することができる 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 5) 公務員志望者のための指導や講座が充実している 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 6) 教員志望者のための指導や講座が充実している 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 7) 資格や免許取得のためのサポート体制が充実している 5 - 4 - 3 - 2 - 1
- 8) キャリアセンターの職員の対応に満足している 5 - 4 - 3 - 2 - 1

2. 進路・就職サポート体制を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近いもの1つに○をつけてください。また、その理由をご記入ください。

- 1. とても満足している
- 2. まあ満足している
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり満足していない
- 5. まったく満足していない

理由

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【F 教育施設・設備などについて】

1. 教育施設・設備に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

《講義室など》	1) 授業の形式に合った教室の設備が整っている	5	4	3	2	1
《博物館》	2) 博物館の展示をよく見学する	5	4	3	2	1
《その他》	3) 学習会・研究会をするスペースは十分である	5	4	3	2	1

2. あなたは《図書館》をよく利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい → 「1. はい」に○をつけた方は、a)～e)の質問に答えてください。
2. いいえ
- | | | | | | |
|----------------------------|---|---|---|---|---|
| a) 開館日・開館時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| b) 探している本を検索しやすい | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| c) 蔵書の種類や冊数は十分である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| d) ビデオ・CDなど視聴覚資料の閲覧が充実している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| e) 図書館員の対応に満足している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

「2. いいえ」に○をつけた方は、図書館を利用しない理由を聞かせてください。

3. あなたは《総合研究室》をよく利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい → 「1. はい」に○をつけた方は、a)～g)の質問に答えてください。
2. いいえ
- | | | | | | |
|--------------------------------------|---|---|---|---|---|
| a) 開室時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| b) 利用できるパソコンの台数は十分である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| c) 参考書・基本文献・辞書など、研究に必要な基本的な資料がそろっている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| d) ひとりひとりの研究スペースは十分である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| e) 常駐している助教に相談しやすい | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| f) 助教の助言や指導はわかりやすく適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
- ※次の質問は、助教の開催する勉強会に参加したことのある方のみお答えください。
- | | | | | | |
|-------------------------|---|---|---|---|---|
| g) 助教の開催する勉強会は学習に役立っている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|-------------------------|---|---|---|---|---|

「2. いいえ」に○をつけた方は、総合研究室を利用しない理由を聞かせてください。

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【F 教育施設・設備などについて 続き】

4. あなたは《GLOBAL SQUARE》をよく利用しますか。いずれか1つに○をし、それぞれの間に回答してください。

1. はい → 「1. はい」に○をつけた方は、a)～d)の質問に答えてください。
2. いいえ
- | | | | | | |
|--------------------------|---|---|---|---|---|
| a) 開室時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| b) 常駐しているスタッフに相談しやすい | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| c) 勉強会やイベントに参加しやすい雰囲気がある | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| d) 勉強会は語学力の向上に役立つ | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

「2. いいえ」に○をつけた方は、GLOBAL SQUAREを利用しない理由を聞かせてください。

5. 上記にあげたような教育施設・設備（前ページも含めて）を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近いもの1つに○をつけてください。また、その理由をご記入ください。

- とても満足している
- まあ満足している
- どちらともいえない
- あまり満足していない
- まったく満足していない

理由

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【G 福利厚生施設・設備などについて】

1. 福利厚生施設・設備に関する下記の項目について、5段階で評価してください。

- | | | | | | | |
|----------------|----------------------------------|---|---|---|---|---|
| 《食堂》 | 1) 営業時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 2) 座席数は学生数に対して十分である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 3) メニューが充実している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 4) 価格は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 5) 味がよい | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 6) 禁煙環境が確保されている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 7) 店員の対応に満足している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 《ビッグバレー》 | 8) 営業時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 9) 座席数は学生数に対して十分である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 10) メニューが充実している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 11) 価格は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 12) 味がよい | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 13) 禁煙環境が確保されている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 14) 店員の対応に満足している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 《談話室 1号館1階》 | 15) 開室時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 16) スペースは学生数に対して十分である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 17) 学生のいこいの場として活用できる | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 《学内コンビニエンスストア》 | 18) 営業時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 19) 品数、価格は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 20) 店員の対応に満足している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 《学内書店》 | 21) 営業時間は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 22) 本や雑誌の種類、価格は適切である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 23) 店員の対応に満足している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 《その他》 | 24) キャンパスにはくつろげる空間がある | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | 25) 湖西キャンパスのセミナーハウス(研修施設)は充実している | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

2. 上記にあげたような福利厚生施設・設備を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近いもの1つに○をつけてください。また、その理由をご記入ください。

1. とても満足している
2. まあ満足している
3. どちらともいえない
4. あまり満足していない
5. まったく満足していない

理由

5=とてもあてはまる 4=まああてはまる 3=どちらともいえない 2=あまりあてはまらない 1=まったくあてはまらない

【H その他】

1. 下記の項目について、5段階で評価してください。

- | | | | | | |
|---------------------------|---|---|---|---|---|
| 1) キャンパス内の美化が行き届いている | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 2) キャンパス内での喫煙マナーがよい | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 3) キャンパスは適度な広さである | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 4) 通学のための交通の便がよい | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 5) キャンパス周辺は学生生活を送るのに便利である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 6) キャンパス周辺は学生生活を送るのに安全である | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

2. 上記にあげたような項目を全般的にみて、あなたの気持ちに最も近いもの1つに○をつけてください。また、その理由をご記入ください。

1. とても満足している
2. まあ満足している
3. どちらともいえない
4. あまり満足していない
5. まったく満足していない

理由

Ⅲ 大谷大学の建学の理念(教育機関として果たすべき目標)について

大谷大学には、【人間が大好きです。】というキャッチフレーズでうたわれるように、「仏教精神にもとづいた人間と人間の関係(自分との関係、他者との関係)を重視した教育を行い、仏教なし人間にかかわる諸学問の研究成果を広く社会に公開する」という建学の理念があります。これについて、以下の設問に答えてください。

Q6-1 あなたは、上記のような建学の理念について知っていましたか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 大学院に入学する前から知っていた
2. 大学院に入学してから知った
3. 今回初めて知った

Q6-2 あなたは、建学の理念で言われる本学の人間関係重視の姿勢を、どのような機会に感じるがありますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-----------------------------|
| 1. 演習(ゼミ)の授業 | 6. 各課窓口・各センター等での事務職員によるサポート |
| 2. 各種講義 | 7. ビッグバレーなどでの自由な談話 |
| 3. 各教員による個別指導 | 8. 各種宗教行事 |
| 4. 総合研究室での助教による指導 | 9. その他 () |
| 5. 院生間での勉強会 | |

IV 大谷大学大学院に対する満足度について

Q7 あなたは大谷大学大学院に入学してよかったと思いますか。次の中から、あなたの気持ちに最も近いもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. とても満足している | 4. あまり満足していない |
| 2. まあ満足している | 5. まったく満足していない |
| 3. どちらともいえない | |

Q8 大谷大学大学院に満足している点、満足していない点、あるいは入学前と入学後で大きく印象が変わった点について自由にお書きください（記述スペース不足の場合は、次ページの余白をご利用ください）。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。